

第七十四回帝國議會  
衆議院

# 米穀配給統制法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案  
米穀配給統制法案(政府提出)

## 會議

昭和十四年三月十日(金曜日)午前十時二十  
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事古田喜三太君

理事田中 好君 理事三善 信房君

理事馬岡 次郎君 理事窪井 義道君

理事杉山元治郎君

三好榮次郎君 原 玉重君

高田 耘平君 山田 六郎君

今成留之助君 信太儀右衛門君

山本 条吉君 福田關次郎君

勝田 永吉君 小野 寅吉君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

小平 重吉君 小山田義孝君

牧野 良三君 西川 貞一君

國光 五郎君 伊東 岩男君

石坂 繁君 北 勝太郎君

平野 力三君 三宅 正一君

佐竹 晴記君 小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林省米穀局長 周東 英雄君

商工省商務局長兼  
商工省統制局長 新倉 利廣君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如  
シ

農林技師 松本 友助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス、  
昨日ニ引續イテ西川君ノ御質問ヲ願ヒマス

○西川委員 昨日材料ヲ御出シニナルコト  
ニナツテ居ツタノデアリマスガ、マダ戴イ

テ居リマセヌガ、成ルベク時間ヲ短ク、能  
率ヲ舉ゲル爲ニ御質問ヲ致シマス、此ノ法

律ノ精神ト致シマシテ、又將來ノ運用ニ於  
キマシテ、生産消費兩方面ノ負擔ヲ成ベク

輕カラシムル爲ニ、出來得ルダケ中間ノ經  
費ヲ省ク、特ニ中間ニ於テ不勞所得ニ類ス

ルガ如キ利得ヲ取ルト云フヤウナコトハ、  
極力之ヲ矯正致シマシテ、生産消費兩方面

ノ負擔ノ輕減ニ努力サレル御方針デアラウ  
ト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ對シマシ

テ此ノ法案ノ根本目的ノ一ツニ關スルノデ

アリマスガ、其ノ點ヲ農林大臣カラ一寸御  
示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 間ニ色々手數料其ノ他  
ノ無駄ナ費用ノ出ルヤウニ致シタクナイコ

トハ勿論デアリマシテ、出來得ルダケ御趣  
旨ノヤウナ風ニ取計ツテ行キタイト思ツテ

居リマス

○西川委員 事務當局カラ口頭デ宜シウゴ  
ザイマスガ、會社ノ主タル收入、詰リ市場

ノ手數料トシテノ收入ガ幾ラデアツテ、ソ  
レガ全體ノ何割デアツテ、又其ノ他ノ收入

ガ何ト何ガアツテ、ソレガ金額何程デ全體  
ノ何割デアアルカラ一寸御示願ヒタイト思ヒ

マス

○周東政府委員 御答致シマス、目論見ニ  
依リマル會社ノ收入ノ總額ハ、三百二十九

万六千三百六十五圓ト云フコトニナツテ居  
リマス、ソレカラ其ノ中米穀市場業務收入

ガ百四十六万一千二百圓、ソレカラ米穀取  
扱業務收入ガ百七十六万五千七百圓、雜收

入ガ六万九千四百六十五圓、以上デアリマ  
ス

○西川委員 此ノ米穀取扱收入ト申シマス  
ノハ臺灣米ノ賣却、政府米ノ賣却、賣渡若

クハ買入等ニ依ツテ得ル收入ノ全部デアリ  
マスカ、又市場收入ノ中ニ臺灣米關係、政

府米關係ガ入ツテ居ルノデアリマスカ

○周東政府委員 臺灣米ノ受託賣却手數料  
及ビ政府ノ買入又ハ賣却ノ受託手數料ト云

フモノハ、前ノ米穀市場業務收入ノ中ニ入  
レテ居リマス

○西川委員 日本米穀株式會社ノ主タル業  
務デアアル内地米ノ市場ノ經營ニ依ツテ生ズ

ル收入ト、附隨スル業務デアアル臺灣米ノ賣  
渡、政府米ノ取扱ニ依ツテ生ズル收入トノ

區別ハ、ドウナツテ居リマスカ

○周東委員 內譯ヲ申上ゲマス、米穀市場  
業務收入ノ中、實物取引トシテ市場ニ於テ賣

買セラレル數量ニ付テノ賣買手數料ハ、一石  
ニ付キマシテ四厘、年五万八千四百圓、ソ

レカラ未著物取引トシテ賣買セラレル數量  
ニ付テノ手數料ガ、一石ニ付キマシテ四厘、

是ハ賣方及ビ買方各々カラ取ルノデアリマ  
スガ、是ガ年九万一千二百圓、ソレカラ延

取引トシテ賣買セラレル數量ニ付テノ手數  
料見込ハ、一石ニ付キマシテ八厘、賣買雙

方カラ取リマシテ年二十万一千六百圓、是  
ダケノ合計ガ市場ノ手數料ノ總額デアリマ

ス、臺灣米ノ受託賣却手數料ト云フモノニ付テハ、石十五錢年七十二萬圓、政府米ノ買入賣却ニ關シマス受託取扱手數料、石十九錢五厘、年三十九萬圓、斯ウ云フ豫定デアリマス、臺灣米、政府米共ニ手數料ノ率ハ販賣高ノ千分ノ六デアリマス

○西川委員 極メテ簡單デ宜シウゴザイマスガ、米穀ノ取扱ニ依ル收入ト云フモノハ、大體主ナモノハドウ云フモノデゴザイマスカ

○周東政府委員 一ツハ所有倉庫カラノ收入デゴザイマシテ、是ガ保管料ト致シマシテ四十四萬二千三百六十八圓、ソレニ荷役賃ガ入りマシテ二十七萬三千三十六圓、合計七十一萬二千七百圓、モウ一ツハ荷扱元請ノ關係デアリマス、消費地ノ市場地域ニ於テ賣買サレルモノニ付キマシテノ運賃ノ立替、爲替ノ立替ト云フヤウナコトヲ致シマシテ、其ノ金利トカ手數料ニ付キマシテ受クル收入ノ合計ガ、百五萬三千圓ト云フコトニナツテ居リマス

○西川委員 先刻大臣ノ御示ニナリマシタヤウニ、中間ノ經費ハ極力省略致シマシテ、生産、消費兩方面ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フコトハ、此ノ法律ノ目的デアリマスカラ、此ノ百七十六萬圓ノ收入ハ大體實費主義デ

オヤリニナルコトト見ルベキダ思フノデアリマス、只今ノ御示ノヤウナ業務ニ於テ、利潤ヲ舉ゲルベキモノデハナイ、是ハ當然實費收入主義デ百七十六萬圓ト云フ計算ハ立テラレテ居ルコトト存ジマスガ、左様ニ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○周東政府委員 御話ノ通りデアリマス

○西川委員 ソコデ問題ハ此ノ會社ノ利潤ノ源泉ト見ルベキモノハ、市場業務收入ノ百四十萬一千二百圓トシナクハテナラス、是ガ利潤ノ源泉トナルモノト吾々ハ見ザルヲ得ナイ、而シテ此ノ利潤ノ源泉ハ何處ニアルカト申シマス、此ノ會社ノ主タル業務カラ出マスモノハ僅ニ三十六萬圓バカリデアリマシテ、百十一萬圓ト云フモノハ臺灣米竝ニ政府米ノ取扱ニ依ツテ、其ノ利潤ガ生ジテ來ル、而モ昨日局長ノ御答辯ニ依リマスレバ、政府米ノ取扱、臺灣米ノ取扱ニ依ツテ此ノ會社ハ別ニ新ナル施設ヲ要スルモノデモナイシ、大シテ負擔ヲ負フモノデモナイ、唯臺灣米ヲ取扱ヘバ向フニ出張所ヲ置ク程度デ、大シタモノデハナイト云フコトヲ昨日御答辯ガアツタノデアリマス、サウ致シマス、此ノ會社ハ百餘萬圓ノ不勞利得ヲ得ルコトニナル、此ノ不勞利得ハ更ニ朝鮮米ノ統制等ガ行ハレマシテ、何等カ

ノ形式ニ於テ、之ニ類似ノ方法ヲ以テ此ノ會社ニ委託サレルト云フコトニナリマス、臺灣米ノ二倍位ノ數量ガ朝鮮米ハアルノデアリマスカラ、更ニ之ニ百五十萬圓バカリノ不勞利得ガ加ハルコトニナルノデアリマス、サウシマス、此ノ會社ハ非常ニ大キナ不勞利得ヲ取ルモノデアツテ、政府ノ一ツノ特許ニ依ツテ不勞利得ヲ取ルト云フコトハ、是ハ所謂利權ト見ナケレバナラス、政府ノ免許若クハ特許ニ依リ、政府ノ法律命令ニ依ツテ生ズル不勞利得ヲ持ツモノハ、是ハ利權デアアル、サウスルト此ノ會社ハ甚シク利權會社ノ色彩ヲ帶ビテ來ル、併ナガラ私ハ此處デ誤解ヲ避ケル爲ニ申シテ置キマスガ、臺灣米カラ七十二萬圓ト云フ不勞利得ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、兎ニ角七十二萬圓ト云フ最モ大キナ此ノ會社ノ利潤ノ源泉ガ、臺灣米カラ生レテ來ルト云フコトハ、何等臺灣ノ農民ニ負擔サセルノデハナイ、從來臺灣米ノ移入ニ對シマシテハ三井、三菱、杉原、加藤ノ四大移入商ニ依リマシテ、占メラレテ居リマシタ所ノ是ハ、獨占利潤デアツタと思フ、米穀ノ如キ主要食糧ノ移入ニ依ツテ斯ノ如キボロイ利潤ヲ握ルト云フコトハ、甚ダ怪シカラスコトデアルト云フノデ、屢、世上ノ

問題トナツテ居ル、合同ノ臺灣米ノ管理ト同時ニ、斯ノ如キ不合理ナコトハ一舉之ヲ是正シ、斯ノ如キ不合理ナル獨占利潤ガ存シナイヤウニ努メナクテハナラスニ拘ラズ、其ノ獨占利潤ヲ日本米穀株式會社ガ引繼グ、而モ此ノ日本米穀株式會社ハ現在ノ取引業者ニ對シテ其ノ株式ヲ優先的ニ割當テテ、而モ民間ノ出資ニ對シテハ優先的ニ六分マデハ配當ヲ認メル、斯ウ云フコトニナリマシテ取引所ニ對シテ救済ヲシナイ、斯ウ云フ建前ノ下ニ從來カラ問題ニナツテ居リマシタ取引所ヲ救済スルト云フヤウナ規定ハ、此ノ法律ノ中ニハナイノデアリマスケレドモ、救済シナイ代リニ將ニ死滅シヨウトシテ居ル所ノ取引所ガ、是カラ將來益、發展スル見込ノアル利權ト取換ヘラレルト云フコトニナル、丁度現在ノ米穀取引所ガ「フエニックス」ノヤウニ、一タビ死滅シヨウトスルモノガ、我國ノ主要食糧デアアル米穀ヲ一手ニ取扱フ所ノ國策會社トシテ、莊嚴ナ姿ヲシテ更生シテ來ルヤウナ結果ニナルノデアリマス、本案ニ對シテ世上幾多ノ反對運動ガアリマスノハ、其ノ本ヲ皆此處カラ發シテ居ル、詰リ是デハ非常ニ不合理ナ結果ニナルノデアリマス、之ニ依ツテ救ハレルモノハ取引所ノ

株主デアリ、資本金デアル、而モ其ノ救ハレ方ハ土地建物等ヲ餘リ多ク持タズニ堅實ニ經營ヲ致シテ居リマス者ハ、土地建物ノ買収サレバ價格ガ割合ニ少イカラ大シテ恩惠ニ與ラナイ、然ルニ不必要ニ壯大高層ナル建築ヲ致シテ居リマシテ、土地建物ニ非常ニ澤山ノ資本ヲ投ジテ居リ、而モ其ノ經營ハ甚ダ振ハナイガ如キ取引所ガ、土地建物ノ買収ニ依ツテ非常ニ多クノ利益ヲ得ル、斯ウ云フ不合理ナ結果ヲ取引所ニ對シテ齎ス、又市場員ノ側カラ見マスルト、此ノ法律ニ依ツテ直接最モ大キナ打撃ヲ被ル者ハ、生業ヲ失フ所ノ市場員デアル、其ノ市場員ニ對シテハ、政府ハ或ハ轉業資金ノ貸付等ニ付テ御考ニナルト云フ御言明デアリマスケレドモ、是ハサシテ手厚イ所ノ救済方法ニナルトハ思ハレナイ、又現在ノ清算市場ノ取引員ガ、實物市場ノ取引員ニ轉向スルト云フヤウナコトハ、是ハ容易ニ出來ルモノデアリマセヌシ、前途ニ見込ガアリマセヌカラ、左様ナ希望ヲ持ツ者ハ私ハ少イダラウト思フ、サウスルト市場員其ノモノハ甚ダ救ハレナイ、市場員ノ所ニ仕事ヲシテ居リマスル所ノ従業員ニ至ツテハ、政府ハ何等之ヲ顧ミラレナイ、市場員自身ガ何トカスルデアラウト云フ態度デア

ルカラ、従業員ニ至ツテハ益、救ハレナイ、ソレカラ米穀政策ニ依ツテ年々營業ガ不振ニ陥リツツアル所ノ一般ノ米穀商人ナルモノハ、取引所ノ株主ダケガソレダケノ利權ノ分與ニ與ツテ、吾々ヲ見殺シニスルト云フ所ニ非常ナ反感ヲ持ツテ、此ノ澎湃タル反對運動ガ起リツツアルノデアリマス、此ノ事ハ私共ハドウ考ヘマシテモ許スベカラザルコトデアルト思フノデアリマス、私ハ此ノ際政府當局ガ、斯ノ如キ一ツノ利權ト見ルベキ收入ノアル所ノ會社ニ對シテ、特ニ取引所ニ對シテ、株式ヲ優先的ニ割當テルト云フヤウナ方針ハ寧ロ此ノ際一擲サレマシテ、サウシテ此ノ市場ヲ經營スルノニ直ニ適當ナル者ニ依ツテ、此ノ日本米穀株式會社ガ經營サレバ、詰リ資本關係ニ於テモ左様ニシテ行クト云フヤウニ、此處デ農林大臣ガ方針ヲ明示サレンコトヲ希望スル者デアリマス、若シ此ノ點ニ於テ國民ノ承服スルニ足ル方針ヲ明示サレマスナラバ、今日國內ニ起ツテ居リマス反對運動ノ如キモ、私ハ鳴リヲ潜メルト思フ、斯様ナ内部ノ實情ハ當局ガ如何ニ秘密ニ隠サレマシテモ、凡ソ業界ノ者ト云フモノハ能ク知ツテ居ル、而モ取引所ニ對シテ株式ノ優先割當ニナルノデアアル、而モソレニハ六分ノ配當

ガ優先的ニ認メラレノデアルト云フ宣傳ガ致サレ、今沈衰萎靡振ハザル米穀取引所ガ、此ノ會社ノ株主トナツテ、非常ナ大キナ恩惠ニ與ルノデアルト云フ世上ノ誤解ガ、非常ニ大キイノデアリマス、故ニ此ノ際農林大臣カラ之ニ對スル將來ノ方針ニ付テ御明示下サルヤウ御願致シマス

○櫻内國務大臣 此ノ收入ノ中ニハ臺灣米ノ取扱竝ニ政府ノ買入、賣渡ノ取扱ニ對スル收入ガ、多ク見積ツテ多クナツテ居ル、ソレガ收入ノ主ナル部分ニナツテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、全體カラ見マスト御話ノ如ク三百萬圓ノ中デ約百萬圓程デアアルノデアリマス、之ニ對シテハ無論多少ノ費用ガ掛リマス、從來政府ガ買入、賣渡ヲ致シマス時ニ實際ニ拂ツタ手數料ヨリハ、今回ハ減額シテ居ルヤウナ次第デアリマス、臺灣ノ米ニ付キマシテモ從來カラ見ルト、實際ノ手數料ガ安クナツテ居ル譯デアリマス、唯御話ノ如ク此ノ會社ノ基礎ガ之ニ依ツテ非常ニ堅クナツテ、即チ堅實ナル收入ヲ持ツト云フコトハ一ツノ利權デアルヤウニ見ラレバ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、既ニ全國ノ米穀ヲ統制致シマス關係カラ申シマス、ヤハリ臺灣米モ政府米モ同様ニ、此處ニ於テ取扱フノ

ガ、正當デアアルノデアリマシテ、是ハ自然此處ニ持ツテ來ナケレバ相成ラスト思フノデアリマス、唯御話ノ此ノ株式ヲ取引所側ニ優先的ニ持タセテ、サウシテ今日四分カ五分ノ配當ヲ致シテ居ル取引所ニ、六分ハ間違ヒノナイト見ラレバ此ノ會社ノ株券ヲ渡スコトハ、非常ニ彼等取引所ヲ擁護スルモノデハナイカ、寧ロ資本金ヲ援助スルモノデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、左様デハナイノデアリマス、此ノ法案ガ出來マシタ結果、取引所ガ廢止サレルノデアリマスカラ、取引所ヲ廢止スル結果トシテ此ノ取引所ノ跡始末ヲ致スト云フ事柄ハ、是ハ致サナケレバナラスコトト思フノデアリマス、隨ヒマシデドウ云フ風ニ致スカト申シマスレバ、從來ノ例カラ申シマスレバ所謂鐵道買収法トカ、或ハ其ノ他ノ様式ガアリマスケレドモ、此タビハサウ云フ式ヲ執ラズシテ、會社ニ持ツテ居リマス財産ノ中デ、此度ノ會社ガ利用スル所ノ財産ヲ引繼イデ、即チ從來取引所ガ米穀取扱ノ爲ニ使ツテ居ツタ市場ナリ建物ナリ、ソレ等ノモノヲ適當ナル價格ヲ以テ引受ケル、サウシテヤハリ此ノ會社ニ於テ利用スル、斯ウ云フ建前ヲ執ツタノデアリマス、此ノ評價ハ、前ニ申シマシタ通り公正

ナル價格ヲ得ル爲ニハ、即チ米穀事業審議會ニ於テ決定スルコトニナツテ居ルノデアリマス、買ツテヤルノハ宜イガ、之ニ對シテ其ノ株券ヲ優先的ニ持ツセル必要ハナイデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、從來米穀調整ノ任ニ當ツテ居ツタ株主ガ、茲ニ其ノ財産ヲ賣拂ツテ金ガ出來タ、之ニ對シテ其ノ金額ニ相當スル新タナ投資物トシテ、此ノ株券ヲ持タセルト云フコトハ、丁度從來ノ目的ニ副フモノデアリマシテ、是等ノ人々ニ對シテ權利ヲ認メルトカ或ハ賠償金ヲ拂フト云フ意味デハナイノデアリマスカラ、此ノ株券ニ對スル申込ヲ受ケルト云フコトハ、不當デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、六分ノ配當ト現在配當ヲ受ケテ居ル三分トカ、或ハ四分トカ五分ト云フヤウナモノト對照シテ、此ノ會社ノ株式ノ配當ガ多イ、多イカラ非常ナ利益デナイカト云フ議論モアルカモ知レマセスケレドモ、其ノ代リ會社ノ財産ヲ買フ場合ニ於テハ、是ガ堅實ナル經營ガシテアリマスト、帳簿價額ソツクリデ買フコトニナルカモ知レマセスケレドモ、若シ會社ノ内容ガ今御話ノヤウニ少シデモ惡ケレバ、其ノ値打ハ下ツテ來ルノデアリマス、是ハヤハリ一方ニ於テ適正ナル價額デ買フト同時ニ、

ソレニ對シテ本會社ノ株券ニ對シテ優先的ナ申込權ヲ與ヘルコトハ、何等不都合ガナイト思ツテ居ル次第デアリマス

○四川委員 元來米穀ハ國民ノ主要食物デアリマスガ、此ノ主要食糧ヲ除イタ他ノ食糧、特ニ蔬菜、鮮魚等ノ市場ノ經營ニ關シテハ、消費地ニ於キマスル市場、少クトモ中央卸賣市場ノ如キハ、其ノ消費者ノ利益ヲ代表スル地方公共團體ガ經營シテ居ル、生産地市場ハ生産者團體ガ之ヲ經營スルノガ、從來政府ノ市場政策ニ對スル大體ノ方針デアルト吾々ハ承知致シテ居ル、然ルニ今回ノ國民主要食糧タル米穀ノ市場ヲ經營致シマスル方針ニ付テハ、劃然タル方針ガ政府ニナイノデアリマス、斯ウ云フ市場ハ、政府自ラ之ヲ經營スルコトガ最も合理的デアル、又政府ガ消費地ノ市場ト生産地ノ市場ヲ分ケテ、御考ヘニナツテ居ルナラバ、少クトモ生産地市場ハ生産者團體ヲシテ經營セシムルノガ至當デアル、實際現在ニ於テハ米ノ生産地ニ市場ハナイノデアリマス、生産地ニ市場ガナイカラト云ツテ、生産者ハ何等ノ不便ヲ感ジテ居ナイ、ソレハ事實ニ於テ生産者團體ガ、生産地ニ於ケル市場ノ機能ヲ十分ニ營ンデ居ルカラデアリマス、實情ヲ申上ゲマスト、

例ヘバ九州、中國方面ニ於キマシテハ門司市ニアリマス全販聯ノ事務所ニ於テ、其ノ地方管下ノ、各府縣ノ各驛ニ存在スル米ニ對シテ、毎日入札ヲ行フノデアリマス、指定商ヲシテ入札セシメ、其ノ入札ニ依ツテ落札致シマシタ額ガ、ソコデ成立シタ賣買價格デアリマシテ、ソレヲ其ノ日ノ中ニ新聞「ラデオ」ニ依ツテ全生産者ガ知ルコトガ出來マスカラ、全販聯ニ於ケル入札ノ價格ガ、中國、九州方面ニ於キマシテハ、既ニ市場價格トシテ、絕對ニ是ガ權威ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ今更ラ日本米穀株式會社ナルモノノ市場ガナクトモ、用ハ足りテ居ルノデアリマス、隨テ若シ生産地市場ト消費地市場ト別ニ當局ガ考ヘラレノデアレバ、生産地市場ハ生産者團體ニ經營セシムベキモノデアル、サウ云フ方面ヲ見ズシテ、全國ヲ一元的ニオヤリニナラウトスルナラバ、是ハ國營ニサレルノガ至當デアル、詰リ臺灣米ノ賣却、政府米ノ賣却ト云フコトガ主タル利潤ノ源泉デアリマスガ、ソレハ三分ノ一ニ足りナイ收入デアルト仰セラレマスケレドモ、半分ノ百七十六萬圓ト云フモノハ、實費收入主義ニ依ツテ出來ルノデ、實費收入主義デナケレバ是ハ許サルベキモノデハアリマセス、

是ハ國民主要食糧配給ノ經營費デアリマスカラ、ソレカラ利潤ヲ生マウト云フ經營ノ仕方ハ、斷ジテ許スベキコトデアリマセス、隨テ三分ノ一ノ收入ガ主タル利潤ノ源泉デアリマス、此ノ利潤ノ源泉ハ、政府ノ特許、免許ニ依ツテ出來ルノデアルカラ、ヤハリ一ツノ利權デアル、サウ云フモノハ一ツノ營利會社ノ手ニ渡スヨリモ、政府自ラガ之ヲ持ツテ、之ニ依ツテ米穀配給ノ圓滑ヲ期スル業務ヲ政府自ラ爲サレルコトガ至當デアル、今日ノ場合、取引所ヲ廢止致スニ伴ヒマシテハ、取引所ニ對シマシテモ、市場員ニ對シマシテモ、亦市場員ノ使用致シテ居リマスル使用人ニ對シマシテモ、必要ノ場合ハ救済ナサレルガ宜シイ、私共ハ此ノ救済ニ反對スル者デハナイ、必要ノ限度ニ於テ是ハ救済スベキモノト思ヒマス、併シナガラ其ノ善後處理ヲシナケレバナラヌ爲ニ、將來ノ日本ノ米穀政策ノ發展ノ上ニ、非常ナル支障ヲ起スヤウナモノヲ此ノ際御作リニナル必要ハナイデハナイカ、昨日ノ朝鮮總督府當局ヨリノ發表ニ依リマスケレバ、朝鮮ニ於テモ内地類似ノ會社ガ設ケラレテ、米穀ノ統制ガ行ハレル、臺灣ニ於テモ既ニ管理ガ行ハレテ居ル、滿洲ニ於テモ滿洲米穀株式會社ニ依ツテ、大體米穀ノ專

賣制ガ行ハレルヤウニ承知致シテ居リマス、支那ニ於キマシテモ、ヤハリサウ云フ制度ガ將來行ハレルデアリマセウ、斯ク致シマシテ、單ニ我國ノ内外地ヲ一貫スル政策ノミナラズ、所謂興亞「ブロック」内ニ於ケル主要食糧品ニ對スル政策ガ、一元的ニ進マウト致シテ居リマス、是ガ暫ク進ンデ参リマス、更ニ一段階飛躍致シマシテ、多年我黨先輩ガ研究シ、唱道シテ居ラレマス米穀專賣、所謂從來ノ如キ收入本位ノ專賣デハナクシテ、米穀ノ配給並ニ價格ヲ完全ニ國家ガ管理スル段階ニマデ、進マナケレバナラヌ趨勢ガ目ノ前ニ見エテ居リマス、其ノ政策ガ一段階進展致シマスル際ニ、今日餘程此ノ會社ノ處置ヲ考ヘテ行カナイト、將來ノ妨ゲニナル、此ノ際將來ノ米穀政策ノ禍根トナルコトハ、爲サラナイ方ガ宜イノデハナイカ、此ノ點ニ關シマシテ、農林大臣ハ如何ナル根本方針ヲ持ツテ居ラレ、又將來ノ米穀政策ノ進展ニ付テ、ドウ云フ見透シヲ持ツテ居ラレルカヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 最初ノ御尋ノ、魚市場或ハ蔬菜市場等ガ公共的ニ經營サレテ居ルガ、是モ其ノ見地カラヤラナケレバйкаスデハナイカト云フ御話デアリマス、無論此ノ市場等ニ於キマシテモ、ヤハリ統制シテ行クノデアリマス、御承知ノ通り市場ノ統制或ハ充實ニハ、隨分困難ガ伴ヒ、非常ニ夥シイ權利金ガ拂ハレタリ、種々ノ關係ニ依ツテ漸ク今出來上ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、若シ國ガ非常ナ巨額ノ賠償金デモ出シテ、總テノ方面カラ之ヲ買上ゲテヤルコトニナレバ、ソレハ甚ダ圓滑ニ行クデアリマセウ、併シナガラ今日ノ事情トシマシテ、假ニ國ガ經營致スト致シマシテモ、左様ナ譯ニハ行カナイノデアリマス、要シマスルニ所謂非賠償主義デ今日此ノ會社ニ臨ンダ譯デアリマス、即チ取引所ニ對シマシテハ損害金ヲ賠償シナイ、之ニハ多年相當ナ歴史ガアリマシテ、議會ニ於テモ此ノ點ニ對シテ相當ノ賠償ヲ爲スベシト云フ議論ガアツタニ拘ラズ、之ヲ事實ハ避ケタノデアリマス、ソレカラ又取引員ハ救済スルガ取引所ノ從業員ハドウスルカト云フ御話ガアリマシタガ、是モヤハリ從業員ノ數ナドヲ見マシテ、ソレニ對シテ對策ヲ講ズルヤウニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ只今御質疑ノ、將來ノ米穀政策ニ對シテドンナ考ヲ持ツテ居ルカ、斯ウ云フ仕事ハ當然ニ國ガヤルベキモノデハナイカ、即チ將來ノコトヲ考ヘテモ此ノ際ハ國ガヤツテ、サウシテ眞ニ根本的米穀國策ト云フモノヲ

確立スルノガ宜イデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御意見ノヤウニ拜承シマシタガ、勿論斯様ナ場合ニ於テ國自身ガ經營スル場合、國ガ絕對的監督權ヲ以テ之ヲ管理スル場合ト、今二ツノ行き道ガアルノデアリマス、其ノ中御承知ノ如ク、最近ニ於キマシテハ多ク半官半民デアツテ、事實ハ政府ガ一切ノ監督ヲスルト云フ立前デ、可ナリ多クガ其ノ行き道ニナツテ進ンデ居ルノデアリマス、此ノ會社モ、政府自ラ米穀ノ管理ヲ致シ事業ヲ營ムコトモ、即チ特別會計デモ拵ヘテ營ムト云フコトガ、或ハ宜イカトモ思ヒマスケレドモ、現在ノ實情ニ於テハヤハリ民間ヲモ取入レテ、サウシテ圓滑ニヤツテ行クコトガ宜イデアラウ、斯ウ云フヤウニ只今ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、將來ニ對シテドウスルカ、是ハ此ノ米穀問題ニ對シテノ研究者各位ノ、專賣若クハ國營ト云フ御議論ニ對シマシテハ、深ク敬意ヲ表スルノデアリマシテ、其ノ問題ニ對シマシテ關心ヲ持タスノデハナイノデアリマスケレドモ、ヤハリ之ヲ如實ニ行フト云フコトニナリマス、相當アチコチニ色々ナル研究スベキ問題ガ殘サレテ居ルノデアリマス、故ニ若シソレ等ノ問題ヲ研究セズシテ、又解決ノ途ヲ立テズシテ、一朝ニシテソレ

ニ進ムト云フ事柄ハ、可ナリ困難ヲ殘シハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、此ノ際直チニ專賣國營ト云フモノニ對シマシテノ御審議ヲ煩ハスコトノ順序ニ行カナカツタノデアリマス、私自身ト致シマシテモ、深ク此ノ問題ニ對シマシテハ研究ヲ致シテ、其ノ研究ノ結果ガ國營專賣ト云フモノハ可能ナリ、又ソレガ最善ノ方法ナリト云フ確信ガ付キマシタ時ニハ、其ノ方針ニ依ツテ進ンデ行キタイト、斯様ニ思ツテ居リマスケレドモ、只今ノ所デハマダ研究中デアル、斯様ニ申上グルヨリ外ナイノデアリマス

○西川委員 只今ノ御答辯ニ對シマシテ、更ニ御問シタイコトハ多々アリマスケレドモ、時間モ急ギマシテ、大體只今ノ御答辯ニ對スル質問ハ致シマセス、次ニ此ノ法律ノ成立ト共ニ、米穀ノ公定價格ノ性質ガ根本的ニ變ツテ來ルト思フノデアリマス、從來公定價格ノ性質ハ、其ノ公定價格ヲ目標トシテ、一ツノ基準ト致シマシテ、政府ガ米價調節ノ操作ヲサレル、詰リ政府ノ米價調節ノ操作ノ發動ニナリマス一ツノ條件ガ、此ノ公定價格デアツタノデアリマシテ、此ノ公定價格其ノモノハ、國民ニ是レ以上ノ價格デ賣ツテハナラナイ、買ウテハ

ナラナイト云フコトヲ、從來ノ公定價格自體ガ命ジタノデナイノデアリマス、隨テ臣民ノ權利義務ニ關スル問題ニ關シテノ性質ハ、餘程違ツテ來ルト思フノデアリマス、然ルニ今回ノ法律ニ依リマス、最低價格最高價格ノ範圍内ニ於テ、政府ノ示サレル價格以外デハ取引スルコトガ出來ナイノデアツテ、是ハ直接ニ臣民ノ權利ニ關スル問題デアリマス、詰リ拘束ヲ加ヘルノデアリマス、現在物品ノ販賣價格等ニ付キマシテ、價格自體ヲ拘束致シマス法律ハ多クアリマス、併シナガラ是等ハ多ク臨時立法デアリ又非常ノ場合ニ限ツテ施行サレル法律デアル、然ルニ此ノ法律ハ臨時立法デハナイ、恒久的立法デアリマスト共ニ、又是ハ平時ニ於テ施行サレル所ノ法律デアル、サウ云フ意味ニ於テハ、私ハ此ノ一ツノ立法トシテモ、是ハ劃期的ノ性質ヲ持ツモノト、承知致スノデアリマス、而モ此ノ公定價格ハ從來ノ公定價格トハ、生産者ニ與ヘマス關係ガ違ツテ來ル、從來ノ公定價格ナラバ最高價格デハ政府ハ無制限ニ賣出サレルケレドモ、事實政府ノ所有米ノ範圍シカ操作ノ能力ハ及バナイノデアリマス、隨テ其ノ需給ノ關係ヲ見越シマシテハ、或ハ公定價格以上ニ上ルコトモアルシ、又運賃諸掛等

ノ關係ニ於キマシテハ、政府ガ中央ノ市場ニ於テ賣却サレマシテモ、地方ニ於テハソレニ運賃諸掛「プラス」ノ價格ヲ以テ賣ルコトガ出來ル、然ルニ今回ハ中央ノ市場ニ於テ公定價格デ賣レタナラバ、地方ノ産地ニ於テハ「マイナス」ノ價格ニナツテ來マスカラ、實質ニ於テハ是ハ最高價格ヲ切下ゲラレタト同様ノ效果ヲ生ズル、餘分ニ切下ゲラレルコトニナルノデアリマス、ソレヲ切下ニナラナイト言ハレマスナラバ、又一問一答デ行カナケレバナラス、併シ今ハソシナ小サイ事柄ヲ論議スル時間モアリマセヌノデ又私ハサウ云フ一問一答デ長イ時間ヲ取ルコトハヤリタクナイノデアリマス、唯何ト仰シヤラレテモ、實質的ニハ公定價格ノ切下ゲ同様ノ效果ヲ生ジテ來ルノデアリマス、然ルニ現在ノ公定價格ヲ定メル基準、詰リ米穀統制法ノ施行令ニ關シテモ種々議論ノアリマスコトハ、先般本會議ニ於キマシテ、村上國吉サシノ詳細ニ論ゼラレタ通りデアリマス、私モ其ノ施行令ニ關シテハ種々ノ意見ヲ持ツテ居リマスガ、是亦時間ヲ節シマス關係上申シマセヌ、唯是等ノ關係ヲ考慮サレマシテ、農林大臣ハ現在ノ米穀統制法ノ施行令ニ對シテ再檢討ヲ加ヘ、生産者ノ利益ヲ甚シク害シナイヤウニ、是ガ改正ヲサレル

ノ意思ヲ持ツテ居ラレルカドウカ、此ノ點ニ付テ御方針ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス  
○櫻内國務大臣 御承知ノ如ク最近ニハ公定相場ト云フモノガ設定サレテ、甚シキニ至ツテハ時價ヨリモ安イ、低物價政策ノ關係上價格ヲ成ベク下ヘ持ツテ行ツテ、公定相場ヲ決メルト云フ風ナ事態ガ御話ノ如ク澤山アルノデアリマス、併ノ此ノ法案ニ於キマシテ、臨時的措置トシテサウ云フ風ナ公定價格ヲ設ケルト云フ場合ハ、是ハ極端ナ場合デアリマシテ、平素ハナイ事態デアリマス、唯イマ御示ノ如ク、最高最低ノ範圍内ニ於テ賣買フスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、是ガ一ツノ大キナ枷ニナツテ居ルノデアリマス、西川君ハ最高ニナツタ場合ニ於テハ、政府米ヲ以テ抑ヘルト云フダケガ從來ノ關係デアルト云フ御話デアリマシタケレドモ、從來ト雖モ最高價格ニ達シマシタ時ニ、政府米ヲ無論賣ルノデアリマスガ、ソレ以外ニ最高ノ價格ヲ維持スル爲ニハ、或ハ外國米ヲ買ツテ賣渡スト云フ操作モ、政府トシテ出來タノデアリマス、隨ヒマシテ大體ニ於テ最高ノ相場ト云フモノヲ市場デ維持ガ出來タラウト思ヒマス、併シ現在ノ最高最低ノ基準ハ先般來種々委員各位カラ御意見ノアリマス通り、

ドウモ基準ノ立テ方ガ惡イデハナイカト云フヤウナ御議論ハ、相當多數カラ拜聴致スノデアリマス、只今モ西川君ノ御話ハ此ノ問題ニ對シテ再檢討スルノ意思ガアリヤナシヤト、斯ウ云フ御趣旨デアラウト思ヒマスガ、此ノ問題ニ對シマシテ私常ニ注意ヲ拂ツテ居リマスケレドモ、只今ノ所之ニ對シテ私ガ如何ナル考ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ、申上グル機會ニ到達致シテ居リマセヌノデ、此ノ問題ニ對シマシテハ答辯ヲ差控ヘタイと思ヒマス  
○西川委員 詰ラヌコトデアリマスカラ、ソシナ事ヲ申上ゲヌデモ宜イノデアリマスガ、外米ト内地米トノ嗜好ハ全然違フノデアリマシテ、相當米代ニ不自由ヲシナイ階級ハ、外米デハ満足シナイノデアリマスカラ、外米デ最高價格ヲ決メルト云フコトハ餘程問題ガラウト思ヒマス、次ニ御問ヒ致シマスガ、政府ハ昨年度ト本年度ニ比較致シマスレバ、本年度ノ方ガ米穀ノ生産事情ガ著シク惡化シテ居ルコトハ、御認識ニナツテ居ルト思フノデアリマス、肥料ノ關係カラ致シマシテモ、勞力ノ關係カラ致シマシテモ、其ノ他ノ關係カラ致シマシテモ、甚シク惡化シテ居ル、其ノ惡化シテ居ルニモ拘ラズ政府ノ方針ハ從來ノ豫想ニ基ク本

年度ノ米穀生産高ニ加ヘテ、更ニ四百餘萬石ノ生産ノ増加ヲ企圖サレテ居ルヤウデゴザイマスガ、是ハ尤ナ御計畫デ私共其ノ御計畫ニ對シマシテハ敬意ヲ表スルノデアリマス、併シナガラ工場生産ノ如キ大量生産ノ行ハレルモノデアリマスナラバ、數會社ニ對シテ強制的ニ命令ヲ致シ、強制的ニ生産施設ヲ致シマスナラバ機械的ニ生産ガ行ハレルノデアリマスカラ、ソレハ自動的ニ生産増加ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ル、併シナガラ我國ニ於ケル如キ小農組織ニ於テ、此ノ非常ニ去年ヨリ惡化致シテ居ル生産條件ヲ克服致シマシテ、更ニ四百万石ノ増産ヲ期スルト云フコトニナリマスト、是ハ結局政府ノ掛聲倒レニナル虞ガ多分ニアル、之ヲ掛聲倒レニセシメナイ爲ニハ十分ノ用意ガナクテバナラス、私ハ其ノ用意ニ付テ一々之ヲ御聽キスル暇ハナイ

ノデアリマスガ、第一ニ生産費ノ關係カラ致シマシテ、私ハ本年度ハ増産ヨリモ、既ニ從來ノ豫想サレタ計畫數量ヨリモ、生産費ト米價ノ關係カラシテ、減産ニナル必然性ヲ數字のニハ持ツテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ大臣ハ御考ノ上デ對策ヲ講ジラレテ居リマスカドウカ、詰リ生産費ト市場價格トノ關係ニ於テ、必然的

ニ數字のニ減産ニ陥ルベキツノ趨勢ヲ持ツテ居ル、ソレヲ十分考慮サレテ、ソレニ對スル處置ヲ執ツテ居ラレルカドウカヲ御伺ヒ致シマス

○櫻内國務大臣 品物ガ高ク賣レル場合ニハ品物ヲ多ク生産スルト云フノハ、經濟上ノ通念デアリ、經濟上ノ常態デアリマスカラ、今日ノ米ノ生産ニ要スル所ノ色々ナル條件ガ惡イ場合ニ於テ、米ノ價格ガ將來餘リ高クナラス、斯ウ云フヤウナ見透シガ付イタ場合ニ於テハ、米ノ生産ガ減ルダラウ、即チ色々ナ生産ニ要スル肥料ナリ其ノ他ノモノガ多クナツタノニ、米價ガ上ラナイト云フ風ナ見透シデアルナラバ、生産ヲスルモノガ減ツテ來ル、隨テ生産ガ減ズル、斯ウ云フ風ナ見透シデ西川君ノ御意見ガアルヤウデアリマス、經濟上ノ建前カラ言ヘバ其ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ増産計畫ト云フモノハ洵ニ容易ナラザル難事業デアリマス、隨テ此ノ増産計畫ヲ立テマスル場合ニ於テ、種々ナル事柄ニ付テ考慮ヲ致シマシテ、サウシテ色々ナ經濟事情ヲモ考慮致シ、又實際ノ局ニ當ツテ居ル人ノ心理狀態ヲモ能ク考ヘマシテ、サウシテ適當ナル對策ヲ今立テツツアルノデアリマシテ、御示シノヤウナ事柄ニ付キマシテモ、深ク

考ヘテ居ル次第デアリマス

○西川委員 更ニ私ハ具體的ノ數字ニ付テ大臣ノ御考慮ヲ煩ハシテ置キタイノデアリマス、昭和十三年度ノ石當リ米穀生産費ヲ、農林省ニ於テ調査サレマシタ結果ニ於キマシテハ、其ノ平均生産費ハ御承知ノ如ク二十八圓六十錢トナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ之ヲ具體的ニ考ヘマス時ニハ、調査致シマシタ千八百八十二戸ノ中デ平均生産費ヲ超エルモノハ、實ニ八百六十六戸、四六%ノモノガ平均生産費以上デアリマス、更ニ本年ノ大體ノ市價ヲ超エルモノ、大體三十五圓ヲ市價ヲ超エル生産費ト致シマスト、ソレガ百七十一戸、彼此レ一割ノモノガ市價ヨリモ高イ生産費ガ掛ツテ居ルノデアリマス、此ノ事ハ經濟上如何ナルコトヲ意味シテ居ルカト云フト、成程平均生産費ハ比較的安イ所ニアルケレドモ、ソレハ五四%ノモノガ平均生産費以下ニアルノデアアル、此ノ一割ニ近イモノハ損ヲシテ米ヲ作ツテ居ルコトニナル、今年ニ於テ既ニサウナルノデアリマス、而モ此ノ調査サレマスモノハ、少クモ記帳ヲ爲シ得ル農家デアリマスカラ、此ノ記帳ヲスル位ノ農家ハ、ヤハリ經營ニ對シマシテハ合理的ノ頭腦ヲ持ツテ居ル、一般ノ農家カラ致シマスト、現在ノ

市場米價以上ノ生産費ヲ要シテ居リマスモノガ、マダノ割合ハズツト多クナルト思フノデアリマス、私ハ此ノ市價以上ノ生産費ヲ要シテ居リマス農家ガ、損ヲシテ居リナガラ米ヲ作ツテ居ル、何故サウ云フ馬鹿ナ事ヲスルダラウカ、斯ウ云フ疑問ヲ持ツ者モアルデアリマセウガ、是ハ露國ノ「チヤノフ」ガ小農經濟ノ分析ニ於テ詳細ニ示レテ居リマス如ク、小農經營ニ於キマシテハ自分ノ勞働ヲ他ニ、ヨリ有利ニ消化スル機會ガ與ヘラレナイ時ニハ、如何ニ損ヲシテモ農業生産ヲ續ケテ行クノデアリマス、從來市場ノ價格以上ノ生産費ヲ投ジテ米ヲ作レバ損ヲスルニモ拘ラズ、農民ガ米ヲ作ツテ來タノハ、ソレヲシナケレバ他ニ働クコトガナイカラデアアル、然ルニ本年度ニ於キマスル狀況ハ非常ニ勞力拂底デアリマシテ、勞働ノ機會ガ非常ニ多イ、損ヲシテマデ米ヲ作ラナクテモ他ニ働ク機會ガ多イノデアリマスカラ、市場米價ヲ超エルヤウナ高イ生産費ノ掛ル不良耕地ハ、續續生産圈外ニ落チテ行キマシテ、自然ノ數理上カラ言ヒマシテモ、米穀ガ一割以上ノ減産ニ陥ルト云フ經濟上ノ自然ノ數字ヲ示シテ行クノデアリマス、之ニ對シマシテ大臣ハ色々御苦心ニナツテ、又此ノ議會ニ於

キマシテモ、色々ナ機會ニ其ノ對策ニ付テ御

示シニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、

私共カラ見マス其ノ對策ハ一ツトシテ肯

廢ニ當ツタモノガナイノデアリマス、私ハ

大臣ノ御答辯ガアリマシタコトヲ一々捉ヘ

テ反駁ヲ致シマスナラバ、サウ云フコトデ

ハイケナイト云フコトガ大臣ニモ能ク諒解

シテ戴ケルト思ヒマスガ、時間ノ關係上ソ

レハ申上ゲマセヌ、隨テ此ノ點ハ餘程大臣

ガ徹底的ニ、損ヲシテモ米ヲ作ルコトノ出

來ルヤウナコトヲ、農村ニ對シテ施設ヲシ

テヤツデ戴キマセヌト、全部ノ農民ガ損ヲ

スルノデハナイガ、少クトモ一割以上ノ者

ハ損ヲシテ米ヲ作ラナカツタナラ、生産力

ノ維持ハ出來ナイノデアルカラ、其ノ農家ノ

損失ヲ「カバー」スルコトノ出來ル何等カノ

徹底的ナ施設ガナカツタナラバ、生産力ノ

維持ハ絕對ニ出來ナイト云フコトヲ私ハ申

上ゲテ置キマス、一々ニ付テ御答辯ヲ願ヒ

タイノデアリマスケレドモ、時間ノ關係上、

其ノ點ハ私ノ申上ゲマシタコトヲ能ク御諒

承ヲ願ツテ、處置ヲ執ツテ戴キタイト思フ

ノデアリマス

○添田委員長 西川君、一寸今貴族院カラ

農林大臣ニ急ニ出テ吳レト云フ註文ガアツ

タノデスガ、アナタノ御話ハ代ツテ政務次

官ガ聽イテ……

○西川委員 次官デ結構デス——統制主義

ノ經濟ノ下ニ於キマシテハ、營利主義ノ經

營形態ハ適當デナイ、營利主義ノ經營形態

ガ能率ヲ發揮致シ、其ノ機能ヲ發揮シ得ル

ノハ自由放任主義ノ下ニ於テデアツテ、統

制主義ノ下ニ於キマスルト、營利主義ノ經

營形態ハ非常ナ弊害ヲ生ジテ來ルコトハ、

理論カラ言ヒマシテモ、實蹟ニ徴シテモ爭

フベカラザル事實デアル、然ルニ政府ノ方

針ハ此ノ營利主義經營形態ノ下ニ於テ統制

ヲ行ハウトサレルノデアリマスカラ、ソコ

ニ非常ナ弊害ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、

一例ヲ取ツテ農業用資材ノ關係カラ見マシ

テモ、農業用資材ノ價格ノ引下ニ對シマシ

テハ、少クモ昨年ノ暮ニ公定米價ヲ決定サ

レマシタ其ノ委員會ニ於テ、農林當局ハ重

大ナル責任ヲ持ツテ居ラレル、然ルニモ拘

ラズ最近是等ノ價格ハドウ云フ關係ニナツ

テ居ルカト申シマス、昭和十二年ノ春ト

十三年末、十四年初ノ指數ヲ比較致シテ見

マス、原料品ノ價格ハ下ツテ居ルノデア

リマス、棉花ニ於キマシテハ指數カラ申シ

マス、一〇〇カラ六六・一二下ツテ居リ、實

數カラ申シマス「ビクル」八十二圓ノモノ

ガ五十四圓二十五錢ニ下ツテ居ル、綿絲ハ

二百八十二圓カラ二百六圓ニ下リマシテ、指

數カラ申シマス、一〇〇カラ七三七・二下ツ

テ居ル、護謨ハ八十錢ノモノガ五十九錢ニ

下リマシテ、指數カラ申シマス、一〇〇カ

ラ七三・七ニ下ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ原料

ハソレレ下ツテ居ルニモ拘ラズ、製品ノ

價格ハ皆上ツテ居ルノデアリマス、具體的

ノ例ヲ申上ゲマス、スレン作業服ハ二

圓五十錢ノモノガ六圓ニ上ツテ、指數カラ

申シマス、一〇〇カラ二四〇ニ上ツテ居リ

マス、夜具地ハ二圓ノモノガ三圓五錢ニ上

リマシテ、指數ハ一〇〇カラ一五二・五ニ

上ツテ居ル、地下足袋ハ八十錢ノモノガ一

圓十五錢ニ上リマシテ、指數ハ一〇〇カラ

一四三・七ニ上ツテ居ル、運動靴ハ四十七錢

ノモノガ六十八錢ニ上リマシテ、指數カラ申

シマス、一〇〇カラ一四四・六ニ上ツテ居ル、

護謨靴一足ハ二圓四十五錢ノモノガ三圓九

十九錢ニ上リマシテ、指數ハ一〇〇カラ一六

二・八ニ上ツテ居ル、原料品ノ價格ハ前述ノ

如ク下ツテ居リマス、製品ノ價格ハ斯

ノ如クニ騰貴シテ居ル、然ラバ勞働賃銀等

ガ上ツタカト申シマス、織物業ノ勞銀ノ

指數ヲ見マス、一〇〇カラ一〇三・三ニ

ナツタノミデアリマシテ極ク僅カナ上リ方

デアル、ソレニモ拘ラズ製品ノ價格ガ

斯ノ如クニ昂騰致シテ居リマスノハ、

是ハ中間ニ於ケル利得ガ餘リニ大ニ過

ギル、詰リ統制經濟ノ下ニ於テハ絶

對ニ適シナイ營利主義ノ經營狀態ヲ以テ統

制シテ居リマスカラ、ソコニ獨占的ノ利潤

ヲ貪ツテ、低物價政策ニ反シテ斯ノ如キ物

價騰貴ノ實情ヲ示シテ居ルノデアル、農業

資材ノ農家ノ購入品ニ對シマスル價格ノ引

下ニ付テハ、大ナル責任ヲ持ツテ居ラレマ

ス所ノ農林當局ト致シマシテ、斯ル事實ヲ

何ト見ラレテ居ルカ、之ニ對シテハドウ云

フ手當ヲシヨウトサレテ居ルノデアルカ、

御伺シタイト思ヒマス

○松村政府委員 御話ノ通りデアリマシ

テ、今日ノ營利經濟ノ下ニ統制經濟ヲヤル

カラ、斯ウ云フ無理ガアルト云フ御指摘ハ

理想トシテハ或ハ左様デアルカモ存ジマセ

ヌガ、今日實質上ノ問題ト致シマシテハ、

茲ニ根本的ノ經濟機構ヲ變ヘルト云フコト

ニ付キマシテハ、是ハ容易ナラヌコトデア

リマス、今御指摘ニナルヤウナ點モ十

分アルコトト思ヒマス、就キマシテ之ヲ農

業關係ニ當嵌メマシテ、其ノ資材ノ騰貴致

シテ居リマス部分ガ相當ニアリマスコトハ

御話通りデアリマシテ、之ニ對シテハ相當

ノ抑制ヲ致スト共ニ、配給ノ圓滑ト申シマ

ス

スカ、潤澤ト申シマスカ、サウ云フ方面ニモ力ヲ盡シタイ、肥料ノ如キモ兎ニ角量ヲ何トカシテ得ナケレバナリマセヌノデ、既ニ春肥ニ付テハ其ノ施設ヲ致シマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ是等ノ農業用資材ノ物價ノ抑制ニ付キマシテハ、商工省トモ連絡ヲ取りマシテ、出來ルダケノ抑制ヲ試ミテ來テ居ル譯デアリマス、此ノ抑制ノ手段ハ今後モ出來得ル限りノ力ヲ盡シタイト思ヒマスガ、其ノ抑制ガ出來ナイ場合ニ於テハ、農產物價ヲ之ニ伴ハナイデ抑ヘルコトハ、到底出來兼ネルコトト私ハ固ク信ジテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ場合ニ於キマシテハ基準米價其ノ他百般ノ農產物ノ價格ニ付キマシテハ、相當考慮ヲシナクテハナラナイト考ヘテ居リマス、隨テ只今農產物ノ價格ヲ一般工業生產品ノ價格ノ公定ノヤウニ簡單ニヤルコトハ、吾々ハ絶對ニ反對デアリマシテ、農業用資材ノ騰貴ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、ソシテ農產物ノ價格バカリ抑ヘルト云フヤウナ如キ考ハ、今日ノ生産擴充、農民生活ノ上カラ行キマシテモ、容易ナラヌコトデアリマスカラ、是ハ他ノ工業生產品ト同一視セラレナイヤウニ十分注意ヲ致シマシテ、價格ノ公正ヲ期シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○西川委員 次官ノ御答辯能ク諒承致シマシタ、御答辯ニ依リマスレバ農業用資材ノ價格抑制ガ出來ルカ否カハ、政府ノ執ツテ居リマス經濟政策、即チ從來ノ御方針ガ根本的ニ破レルカ否カニ關スルコトデアリマシテ、是ハ極メテ重大ニナツテ來ルト思フノデアリマス、ソコデ更ニ御注意ヲ御願シナクテハナラヌコトハ、此ノ經營形態ノ下ニ價格ヲ抑ヘル、假ニ價格ヲ抑ヘルコトニ成功シタト致シマス、今度ハ價格ガ低下スルト云フ虞ガ生ジテ來ル、是ハ現在非常ニ規格ガ低下シテ居ルノデアリマス、護謨製品ニ於キマシテモ、或ハ農具ノ鐵金物等ヲ使用シテ居リマス器具類ノ規格ニシテモ非常ニ低下シテ、品質ガ惡クナツテ居ルノデアリマス、ソレデ色々農林省ノ方デ御心配下サイマシテ、農業用ノ物トシテ割當テラレテモ、ソレガ他ノ有利ナ方面ニ逃ゲテ行クト云フコトニモナツテ居リマス、又購買力ノ豐カナ方面ニハ偏在致シマスケレドモ、購買力ノ缺乏シテ居ル貧窮農村方面ニハ、ソレガ流レテ行カナイト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ營利經營形態ノ儘ニ任セテ置キマス、丁度瓢箪デ鯨ヲ押ヘルヤウニ、アツチヘ逃ゴツチヘ逃ゲテ、遂ニ其ノ目的ヲ達シ得ナイヤ

ウナ結果ニ陷ツテ來ルノデアリマス、ソコデ是ガ改善ニ關スル積極的意見ト致シマシテ私共考ヘテ居リマスコトハ、是ハソレ等ノ物ヲ消費致シマス消費者ノ團體、詰リ農產物ニ於ケル生産者ノ團體デアリマスガ、資材ノ消費者ノ團體ニ原材料ヲ割當テテ、其ノ團體ガ原材料ヲ貰ツテ、ソレト引換ニ消費者ガ製品ヲ受取ルト云フコトニナリマス、是是ノ規格デ是々ノ値段ト云フコトデ、原材料ト引換ニスルコトガ出來マスノデ、其ノ價格ノ抑制ニ相當成功スルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、現ニ最近ノ市價ト、是等ノ團體ノ取扱ツテ居ル價格ヲ比較致シマスト、「クレープ」ニ於テハ市價ガ東京莫大小ノ此ノ春ノ見本市場價格デアリマスガ、最終卸賣値段ガ十九圓五十錢、此ノ團體ニ於テハ十圓五十錢、猿股ノ純綿並ニ混綿ノ三十番手、十圓ガ四圓十五錢、同六十番手、一圓二十錢ガ五圓四十五錢、同「ス・フ」三十番手、六圓ガ四圓四十六錢、九斤「コットン」四十八圓ガ四十圓五十錢ト云フ著シキ差ガアルノデアリマス、之ヲ生産者自體ノ團體ニ於テ配給シテ戴キマスナラバ、非常ニ安ク其ノ目的ヲ達スルコトガ出來、隨テ政府ノ低物價政策ヲ基調ト致ス經濟政策ノ圓滑ナル運用モ出來ヨウト思ヒマス、併シナガ

ラ農林次官カラ農林水產物ノ價格ニ付テ、十分ニ是等生産者ノ利益ヲ考慮スベク將來ニ對處サレト云フコトヲ言明戴キマシタコトハ、甚ダ吾々ハ心強く感ジマスガ、併シ最近ノ絹織物ニ對スル商工省ノ色々ノ措置ニ對シテ、一般養蠶家方面ニマデ多大ノ影響ヲ及ボシタヤウナコトカラ考ヘマスト、此ノ點モ餘程農林當局ニシツカリシテ貫ハナイト、非常ナ不安ガアル、幸ヒ農林大臣、次官ノ背後ニハ立憲民政黨ト云フ強大ナル勢力ガアル、又吾々モ及バズナガラ驥尾ニ附シマシテ、此ノ御方針ノ貫徹出來ルヤウニ、幾分ノ力ヲ盡シタイト思フ、其ノ背後ニ在ル所ノ力ヲ以テ、十分農林省ノ方針ガ貫徹出來ルヤウニ努力シテ戴キタイノデアリマス、ソレカラソレニ伴ヒマス具體的ノ問題トシテ、現在資材ノ配給ニ關スル事務ガ、商工省ノ臨時物資調整局、農林省ノ臨時農村對策部トノ關係ガ、ドウモ吾々ニハ明瞭デナイ、從來企畫院デハ各方面ニ使用致ス資材ヲ割當テラレマス、其ノ總量ニ於テ割當ヲ決定スルガ、是ハ商工省ノ臨時物資調整局ニ、白紙委任ノ狀態ニ於テ割當テル、ソレヲ農林省ノ方カラ商工省ニ貫ヒニ行クト云フ恰好ニナツテ居ツタノデハ、決シテ農用資材ノ配給ニ付テ、完全ナ

ル統制ガ出來ナイノデハナイカト思フ、是ハ或ハ商工省ニ於テ主觀的ニ農村方面ヲ壓迫スルト云フ考ハナイカモ知レナイガ、併シナガラ、商工省ノ仕事ト云フモノハ非常ニ複雑多岐デアツテ、一人ノ事務官ガ澤山ノ種別ニ互ツテ處理シナケレバナラヌト云フ狀態ニアリマスカラ、農林水産ノヤウナ特殊ノ業態ノ特殊ノ用途ニナル物ヲ、徹底シタ世話ヲ焼イテ戴クト云フコトハ、商工省ニ御願スルノハ無理デハナイカ、現在ノ官制ニ依リマス、商工省ノ臨時物資調整局ト農林省ノ農村對策部トノ關係ハドウナツテ居リマスカ、是ガ私ノ御伺シタイ點デア、現在ノヤリ方デハイケナイノデハナイカ、農林省ノ農村對策部ハ企畫院カラ直接ニ資材ヲ受取ツテ、之ヲ配給スルト云フコトニナラナケレバ完全ナル資材ノ配給ガ出來難イデハナイカ、是ハ單ニ農村ノミナラズ、水産方面ニ於テモ非常ナ大キナ問題トナツテ居ル、例ヘバ網ノ原料ノ「マニラ」麻ノ値段ガ下ツテ居ルニモ拘ラズ、製品價格ガ騰貴シテ居ル、是等ノ重大ナル事實ニ對處スル爲ニ此ノ物資ノ配給ノ問題ニ付テ、更ニ次官ノ御方針ヲ承ツテ置キタイと思フ

○松村政府委員 只今最後ノ御話ノ商工省ト農林省ノ資材ヲ取扱ツテ居リマス制度ノ

コトニ付キマシテハ、官制上ノコトデゴザイマスカラ、私カラソレニ對スル意見ヲ申上ゲマスコトハ妥當デナイト考ヘマスノデ、商工農林ノ兩國務大臣ヨリ若シモ御必至要ナラバ御答申上ゲルコトト致シマスガ、唯配給上ニ付テノサウ云フ色々ノ御話ノヤウナ御遺憾ナ點ニ付キマシテハ、從來ハドウデアツタカ存ジマセヌケレドモ、將來ニ於キマシテハ商工省モ農林省モ共ニ此ノ非常時ノ物資ノ供給ニ對シマシテハ、能ク話セバ分リマスノデ、十分ノ御相談ヲ致シマシテ、農業資材ノ獲得ニハ遺憾ノナイヤウニ致シタイ、吾々ト致シマシテハソレニ全力ヲ擧ゲテ盡シタイと思ヒマスシ、商工省ノ方ニ於キマシテモ私共ノ主張ヲ聽カレル上ニ於テ咨カナモノデハナイ、斯ウ云フ風ニ思ヒマシテ、雙方ノ關係ヲ極メテ圓滿ニ進行サセテ行ク、是ガ只今ノ官制ニ於テハ最善ノ方法デアルト考ヘテ居リマス、生絲ノ御話ニ付キマシテモ此ノ公定價格ヲ決メルニ付キマシテハ、只今緊密ナ連絡ヲ取りマシテ、公定價格ノ決定ニハ生産者ノ點、輸出貿易ノ點ニ付キマシテ遺憾ノナイ對策ヲ立テタイト存ジ、兩者協議ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ一番初メノ御話ノ農業資材ノ品質ガ非常ニ惡クナ

リ、他ニ流ルト云フコトハ、私共モ御話ノ通りニ承ツテ居ルコトモアリマス、是ハ洵ニ拾遺キ難イコトデアリマシテ、此ノ事ニ付キマシテハ私共ハ深甚ノ注意ヲ拂ヒ、若シモサウ云フ事實ガ續ク現ハレテ來タ場合ニハ、御話ノ通り生産者ノ團體ヘ渡シテ、サウシテヤツテ行クコトモ亦已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居リマス、今日ハ大體相剋摩擦ヲ避ケナケレバナリマセヌカラ、大體斯ウ云フ形デ進ンデ居リマスケレドモ、一方ガ此ノ趣旨ニ反シテ不正ヲシ、若クハ本當ノ農業ノ利害ヲ考ヘナイデ、自利自營ヲ働カウト云フコトデアリマスナラバ、相當ニ考ヘテ處置シタイと思ヒマス

○西川委員 大體次官ノ御言明ニハ私ハ非常ニ心強キモノヲ覺エルノデアリマス、從來ドウモ議會ニ於ケル言明ハ、議會ニ於ケル言明ニ止マツテ、實行サレナイコトガ多イノデアリマスケレドモ、農林次官ノ御言明ニ限ツテ、是ハ單ナル一個人デハナク、背後ニ立憲民政黨ト云フ強大ナ力ガアルノデアリマシテ、其ノ民政黨ノ建前カラ致シマシテモ、立場カラサレマシテモ、只今ノ御言明ハ必ズ御履行ニナルコトヲ私ハ信ジマスルノデ、議事進行ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、私ハ澤山ノ質問ヲ致シタイコトガア

リマスケレドモ、之ヲ以テマシテ先刻ノ質問ニ於ケル國務大臣ノ御答辯、尙ホ場合ニ依ツテハ其ノ答辯ニ對スル再質問ト云フ點ヲ保留致シマシテ、私ノ質問ヲ大體ニ於テ打切ルコトニ致シマス

○添田委員長 信太君

○信太委員 今度ノ法案ノ提出ヲ見マシタコトハ、吾々ハ寧ろ遅キニ失シタデハナカラウカト云フ懸念ヲ持ツテ居リマス、仄聞スル所ニ依リマス、本案ハ閣議ニ於テ相當難色アツタカノヤウニ聞イテ居リマシタダケニ、此ノ案ノ前途ト云フモノハ、相當是ハ論議ヲ盡サナケレバイカヌノデヤナカラウカト云フヤウナ感じヲ持ツテ居リマス、御承知ノ通り多年米穀ノ配給、所謂米ノ賣買ニ付キマシテ、國家ニ貢獻シ來ツタ所ノ當業者ガ、ソレヲ解體致シマシテ、別個ノ半官半民ノ日本米穀株式會社ト云フ特殊會社ヲ作ルト云ツタヤウナコトハ、是ハ相當政府ニ於キマシテモ自信ガナケレバイケナイコトカト私ハ存ジテ居リマス、先ヅ第一ニ三千萬圓ト云フヤウナ資金ヲ以テ、十分ニ其ノ會社ノ特色ヲ發揮シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ本員ノ非常ニ疑問トスル所デアリマシテ、此ノ點ヲハツキリ私ハ御答ヲ得タイト思ヒマス、尙ホ又政府ハ米ノ増

産ヲ計畫致シマシテ、種々ナル畫策ヲ致シテ

居ルコトハ、是ハ吾々ト致シマシテモ大イニ多トシテ居ル所デアリマスガ、此ノ法案ニ依リマス、米穀ノ賣買ノ外ニ所謂雜穀或ハ肥料ト云フコトガアリマスガ、私ハ先ノ質問者ト重複スルコトヲ避ケマシテ、議事ノ促進ノ爲ニ成タケ簡單ニ御伺ヲ致シタイ考デアリマスルカラ、政府ニ於カレマシテモ、成タケ要點ニ觸レマシテ御答ヲ得タイコトヲ私ハ希望致シマス、米ノ増産ニ付キマシテ色々政府ノ計畫シテ居ルコトハ、今申上ゲマシテ通リ非常ニ國家ニ取リマシテハ多トスル所デアリマスルガ、何ニ依ツテ此ノ多産ヲ畫スルヤ、御承知ノ通り既ニ技術的ニ於キマシテハ、今ハ殆ド米ノ増産ニ付キマシテハ、最高調ニ對シテ居ルデハナカラウカト思ヒマス、唯此ノ上ハ肥料ノ圓滿ナル配給ニ依リマシテ、サウシテ多收穫ニ依リマシテ、米ノ増産ヲ畫スルヨリ外ハナイノデヤナイカ、是ハ年々耕作反別ガ諸種ノ道路或ハ鐵道等ノ開通開鑿ニ依リマシテ減少サレテ行キマス、之ヲ補フ方法トシマシテハ、ドウシテモ肥料ノ完全ナル配給ヲ得ルト云フコトガ、今ノ農家ノ最モ懸念シテ居リ、又最モ其ノ圓滑ナランコトヲ希望シテ居ル所デアリマス、先ヅ是等ニ付キマシテ、政府ノ

所信ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○松村政府委員 信太君ノ御話ノ中デ、何カ此ノ案ノ提出ニ付キマシテ閣議ニ於テ特ニ論議ヲ圖ハサレタト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、閣議ノ内容ハ勿論申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、此ノ法案ハサウ云フ政府ノ内ニ意見ガアツタト云フ譯デハアリマセヌデ、現内閣ノ重要ナ政策トシテ政府ガ一致致シテ提案致シタコトデゴザイマスカラ、其ノ點ダケハ一寸申上ゲテ置キマス、ソレカラ只今ノ御話ノ肥料政策デゴザイマスガ、此ノ點ハ既ニ春肥ダケノ數量ハ總テ確保致シマシタコトハ、御承知ノ通りデゴザイマス、此ノ間モ閣議ニ於テ約二千万圓程度ノ燐鎂石、加里ノ輸入ヲ認メマシテ、ソレデ春肥ダケノ確保ヲ得タコトハ、御承知ノ通りデアリマスガ、唯之ヲ緩急ニ應ジテ農村ヘ如何ニ手際好ク渡スカト云フコトデ、之ニ對シテ遺憾ノナイヤリ方ヲ致シタイト存ジマス、ソレカラ其ノ後ノ肥料ニ付キマシデモ、私共ハ是ハ食糧政策ガ國ノ非常ナ重要ノ問題デアリマスカラ、ソレニ要スル肥料ノ獲得ハ、絶對的ナモノト信ジマシテ、彼ノ物動計畫ノ中ニモ最重要ノモノトシテ採入レテ、計畫ヲ樹テタイト思ツテ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、米

ノ生産計畫ハ御承知ノ通りデアリマスガ、今日開鑿等ニ依ラナイデ技術ノ改良、性能改良等ニ依ツテ得ウツ云フノデアリマシテ、大體之ニ對シテハ全國熱心ニ今日意氣込シデ、ヤツテ吳レテ居リマス、此ノ費用モ最近追加豫算トシテ皆様ノ御協賛ヲ得タイと思ツテ居リマス

○信太委員 肥料ノ問題ニ付キマシテ尙ホ二三點御伺シタイコトハ、年々肥料ノ堆肥、所謂日本ノ内地ニ出來マスル草木ニ依リマシテ得ル所ノ堆肥ハ、非常ニ得ルニ至難デアリマシテ、是ハドウシテモ政府ノ林野、牧野ヲ開放シテ、サウシテ之ヲ圓滑ニシナケレバナラスコトト思ヒマスルガ、政府モ近頃其ノ意ヲ固メタルヤニ聞イテ居リマスガ、其ノ邊ノ確タル御意向ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○松村政府委員 御話ノ通り今日ノ場合ニ於テハ、自給肥料ガ何ヨリモ大切デアリマスノデ、ソレ等ニ對スル必要ニ應スル爲ニ、政府ノ山林デ其ノ地方ノ利用出來ル所ハ、出來ルダケ其ノ用ヲ足サユニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○信太委員 其ノ御意思デアレバ、私共満足スル所デアリマス、尙又金肥、所謂輸入肥料ガ種々ノ品目ニ互ツテ居リマスガ、若

シモ長期抗戰ガ惡化ヲ致シマシテ、日本ガ經濟的ニ一種ノ封鎖ヲ受ケルト云フヤウナコトニナリマス、金肥ノ輸入ト云フモノニ付テ非常ナ支障ヲ來スコトト思ヒマス、サウナル曉ニ於キマシテハ、ドウシテモ是ハ内地ニ於テ補填シナケレバナラス、何カ代用品ヲ以テ之ニ代ヘナケレバイケナイト云フ結果ニ陥ルト思ヒマスガ、政府ニ於カレマシテハ、或ハ是等ニ付キマシテ何カノ對策ヲ講ジテ、所謂自給自足ノ策ヲ立テマシテ、其ノ道ノ指導者ヲ網羅シテ、全智全能ヲ傾注シテ一大機關ヲ設立シテ、此ノ肥料ヲ作ルト云フ、何カサウ云フ對策ヲ御持チニナツテ居リマスガ、ソレヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○松村政府委員 サウ云フ萬一肥料ヲ獲得出來ナイ場合ノ措置トシテノ研究ニ付テ、一大調査機關ヲ設ケル考ガアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、只今ノ所デハ調査機關ヲ設ケル考ハ持ツテ居リマセヌ、併シナガラ農林省ノ農事試驗場ニ於テハ、是等ニ對スル多年ノ研究ガゴザイマシテ、別ニ特ニ調査會ヲ開キマセヌデモ、其ノ方面ニ於テノ研究ハ今日十分進シデ居リマス、唯今度ノ場合ニ於キマシテモ、燐鎂石ダケデモ日本ノ勢力範圍、所謂圓「ブロック」内デ取ル

コトが出来マスナラバ、是ハ非常ニ仕合セ  
デアリ、又御話ノヤウナ萬一ノ場合ニ於テ  
モ、是ハ非常ニ結構ナコトデアリマスカラ、  
南洋其ノ他日本ノ勢力範圍ニ於ケル燐礦石  
ヲ確保シテ、サウシテ之ヲ内地ニ持ツテ來  
ルヤウニ、今度ノ追加豫算ノ中ニモ其ノ費  
用ヲ相當ニ見込デアリマス、是ガ出來マ  
スト、果シテ大藏省ガ要求ニ應ジテ吳レマ  
スナラバ、燐礦石ノ一部ハ日本ノ勢力範圍  
内、圓「ブロック」ノ中カラ供給シ得ルコト  
ト思ヒマス

○信太委員 本案ハ肥料ノ配給宜シキヲ得  
ルト得ナイトニ依リマシテ、重大ナル日本  
ノ米ノ産額ニ付テノ責任上、ドウシテモ是  
ハ政府ト致シマシテハ、最善ヲ盡シテシナ  
ケレバナラスコトト思ヒマスガ、御承知ノ  
通り此ノ肥料ト云フモノハ、其ノ施ス時ヲ  
一朝誤ツテ其ノ期ヲ逸シタナラバ、後ノ肥  
料ハ只貰ツテモ役ニ立チマセス、ドウシテ  
モ是ハ恒久的ナ正確ナル政府ノ方針ヲ立テ  
マシテ、業者ニ安心ヲシテ、百姓ヲセシム  
ルト云フコトハ、是ハ頗ル政府ト致シマシ  
テモ執ラナケレバナライ所ノ重大方針デ  
アルト考ヘマス、隨ヒマシテ肥料ヲ如何ニ配  
給スベキヤト云フコトハ、申スマデモナク  
肥料ハドノ位需要ガアルカト云フコトヲ、

ヤハリ政府ト致シマシテハ種々ナル機關ヲ  
通シテ御調査ニナリマシテ、其ノ前年度ニ  
於テ對策ヲ講ジマシテ、其ノ配給ノ遺漏ナ  
キコトヲ期サナケレバナラスガ、或ル府縣  
ノ一部デハ之ヲヤツテ居ル所モアリマスガ、  
マダ〱吾々ガ之ニ満足スル程デハアリマ  
セス、政府ト致シマシテハ極力此ノ方針ヲ  
立テマシテ、ドノ位ノ正確ナ需要ガアルカ  
又供給力ハドノ位アルカト云フ計畫ヲ立テ  
マシテ、眞ノ農業政策ヲ確立致シタイト考  
ヘマスガ、政府ニ其ノ邊ニ對スル對策アリ  
ヤ否ヤヲ御伺致シマス

○松村政府委員 御話ハ御尤デアリマシテ、  
私共ノ方ト致シマシテハ一昨年デアリマス  
カ、全國ノ各町村部落ニ於ケル施肥ノ實績  
ヲ調査シテ、ソレヲ得テ居リマス、ソレヲ  
年々ノ情勢ニ於テ變ヘテ行ク譯デアリマス  
カラ、之ニ依ツテ配給ノ大體ノ目安ガ付ク  
ノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今日、  
量ヲ、春肥ニ付テ獲得致シマシタコトハ、  
先程申上ゲマシタガ、其ノ配給ノ緩急ヲ圖  
ルト云フコトガ大切デアリマシテ、例ヘバ  
東北地方ノ如キ早ク温床苗代デモヤラナケ  
レバナラスコト云フ所ニ對シテハ配給ヲ急ガ  
ナケレバナリマセヌ、斯ウ云フ所ニ對シテ  
ハ特ニ東北地方カラノ御要望モアリマスノ

デ、其ノ數量ニ付キマシテハ、私共ノ方ニ  
サウ云フ基準ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ  
基準ト御要望トヲ照シ合セマシテ、適當ナ  
ル數量ヲ早急ニ東北地方ニモ廻サウニ現  
ニ致シテ居リマス、隨テ御心配ノヤウナ配  
給ガ遅レテ不必要ナ時ニナツテ肥料ガ渡ル  
ト云フヤウナコトニ、萬ナライヤウニ致  
ス考デ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマ  
ス

○信太委員 肥料ノ點ハ此ノ位ニ止メテ置  
キマス、尙ホ又此ノ増産計畫ニ付テ自分ノ  
御尋シテ見タイコトヲ進メタイト思ヒマス  
ガ、年々潰レ地ノ多イト云フコトハ、先程申  
シマシタ、而シテ之ヲ補填シ代用シテ行ク所  
ノ開墾地ト云フモノハ、中々容易ノコトデハ  
アリマセヌ、政府モ開墾助成金ヲ交付シテ居  
リマスケレドモ、先ヅ第一ニ現在ハ勞力ニ於  
テ缺乏シテ居リマスシ、又勞銀モ非常ニ昂騰シ  
テ居ル爲ニ豫期ノ如ク成果ヲ擧ゲルコトハ  
出來マセヌカラ、政府ト致シマシテハ、重  
大ナ關心ヲ以チマシテ、一部地方ノ林野ヲ  
非常ニ低廉ナル値段ヲ以テ、其ノ土地ノ開  
墾主或ハ之ヲ經營セントスル者ニ賣拂フナ  
リ拂下ヲスル意思ナキヤヲ御伺シタイト思  
ヒマス

○松村政府委員 只今ノ御問ハ國有林ノ

農耕地ニ適スル所ヲ拂下ゲルカドウカ、斯  
ウ云フ御話ト思ヒマスガ、其ノ點ニ付キマ  
シテハ御承知ノ通り山林局デハ、不要存置  
林ガアリマシテ、其ノ中デ地方ノ農村ノ個  
人ニハ下ゲマセヌガ、地方ノ經濟更生計畫  
ニ伴ヒマシテ、サウ云フ開墾ヲ必要トスル  
所ガアリ、ソレガ町村ニ於テノ食糧政策ノ  
上カラ云ツテ、妥當デアルト考ヘマスモノ  
ハ、其ノ一部ヲ拂下ゲルコトハ出來ルト思  
ヒマス、詳細ノコトハ此處ニ山林局ノ人ガ  
居リマセヌカラ、御答致シ兼ねマス

○信太委員 尙又御伺シタイノハ、私ハ日  
本全國ヲ通ジマシテ天變地異ニ因ル災害  
ハ、非常ニ多イト思ヒマス、折角努力致シ  
マシテ漸ク美田ニナラントシテ來マシテモ、  
或ハ風水害ニ因リマシテ是ガ根柢カラ破壊  
サレテ、農民ガ折角粒々辛苦ノ功勞モ全ク  
文字通り畫餅ニ歸スルコトガ往々アリマス、  
治山治水ノ問題ハ文字通りドウシテモ徹底  
的ニ行ハナケレバイケナイ、政府ト致シマ  
シテモ、個人ト致シマシテモ先ヅ水ヲ治メ  
山ヲ治メ、能ク之ヲ兩方カラ研究致シマシ  
テ、眞ノ國策ヲ立テルニアラザレバ不可能  
ト思ヒマスルガ、今ノ日本ノ治山治水ノ對  
策ハ御承知ノ通り内務省ノ所管ト、農林省  
ノ所管トニ分レテ居リマス、私ノ想像スル

所ニ依リマス、其ノ殆ド八割位ハ内務省土木局ノ所管ニ屬シテ居リマシテ、其ノ他ハ農林省デアリマスルガ、是ハ箇々別々ニヤル爲ニ一貫シタル趣旨ノ下ニ行ハレテ居リマセヌ、主トシテ農林省ハ高地方面詰リ水源ノ方面ノミニ制限サレテ居リ、平地ノ方面ハ内務省ノ土木方面ノ技術ニ俟タナケレバिकासト云フコトカラシテ、終始一貫シタル趣旨ガ徹底シテ居ナイ爲ニ、折角多大ナル國帑ヲ費シマシテモ、一朝風水害ガ來ルト水ガ氾濫シマシテ、折角ノ美田モ荒廢地ニナルコトガ往々アリマス、是等ニ付キマシテハ内務省モ農林省モ合作致シマシテ、災害ヲ未然ニ防イデ、サウシテ眞ノ治山治水ヲシテ、農耕地ノ價值ヲ高カラシメルヤウナ方針ヲ執ル所ノ御考ヲ、今御持デアラウトハ思ヒマスガ、實際ソレダケノ確信ヲ持ツテ、今進ミツツアリマスカ、尙ホ將來一層強化シテ之ヲヤルト云フ風ナ御熱心サガアルカドウカ、御聽キシタイと思ヒマス

林ニ關スル技術ヲ加ヘテ、工事ヲセネバナラス所モアリマスノデ、兩方ニ分レマスコトハ是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマス、唯如何ニ兩者ガ協調シテヤツテ行クカト云フコトガ問題デアリマスノデ、其ノ點ニ付テハ近來オ五ニ遺憾ノナイ打合セヲ致シテ、統一シタ工事ヲショウト努メテ居ルノデアリマシテ、御心配ノヤウナ惡イ結果ニナルコトハ、出來ルダケ避ケタイト存ジマス

○信太委員 私ハ尙ホ此ノ資料ニ依リマシテ、若干御尋シタイコトモアリマスガ、ソレハ留保致シマシテ、私ノ質問ハ之ヲ以テ終リタイと思ヒマス

○添田委員長 休憩ヲ致シマス、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時五十分休憩

午後一時四十八分開議

○添田委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——國光君

○國光委員 私ハ本案第七條ノ公定價格ノ關係ニ付キマシテ、二三ノ質疑ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ本會議デ小山田君モ質問ヲシテ居ラレマスシ、又村上君ハ詳細ナ數字ヲ擧ゲテ質問ヲシテ居ラレマスガ、大臣ノ之ニ對スル御答辯、殊ニ村上君ガ米穀統制法施行令

ノ改正ニ付テ、其ノ意思アリヤ否ヤト云フ質問ニ對シマシテノ大臣ノ御答辯ハ、現行ノ施行令ノ運用デ十分ニ事足ルト云フ御答辯デアツタヤウデアリマス、本日午前中ニ、西川君カラ此ノ點ニ付キマシテ更ニ再檢討ノ意思ハナイカト云フコトヲ、御尋ヲ申上ゲタノニ對シマシテ、大臣ハ意思ガナイトハ申サレマセヌガ、マダサウ云フ意思ヲ表示スベキ時期ニ到達シテ居ナイト云フ御答辯デアツタト承知致スノデアリマス、是ハ本法第七條ノ規定ニ依リマシテ、市場ノ公定價格ノ法的權限ト云フモノガ強化サレマシテ、公定價格以外ノ取引ハ全然禁止セラレタト云フ非常ナ強イ公定價格ノ決定ニ、意義ヲ與ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ劃期的ノ法案ノ成立致シマスル時期ニ、ソレニ伴フ米穀統制法ノ施行令ノ、ソレニ關スル規定ニ付キマシテ、再檢討ノ必要ガアルコトヲ私ハ痛感致スノデアリマス、殊ニ昨年ノ十二月十七日ノ米穀統制委員會ニ於テ、決定セラレマシタ所謂十三年度ノ公定價格ナルモノハ、農村方面ニ於キマシテ非常ナル不滿ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ實際ニ統制法ノ運用ノ上ニ、合理的ナ決定ダト考ヘレバ問題ハアリマセヌケレドモ、非常ニ不自然ナ裁定ヲ加ヘラレテ、所

謂公定價格、殊ニ其ノ最高價格ト云フモノガ決定セラレタト云フコトニ付キマシテハ、農村關係ノモノハ非常ナ不滿ヲ持ツテ——是ハ無論國家ノ一般ノ物價政策トノ關聯モアリマスルカラ、其ノ事情ハ諒ト致スニシマシテモ、此ノ米穀統制法ノ今日マデノ米穀政策ニ寄與シ來ツタ點カラ考ヘテ見マシテ、非常ナ遺憾ナ意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、農業者ハ大難把ニコンナ考ヲ持ツテ居ル、戰爭ニナルト米價ガ上ルノダト云フヤウナ、バツトシタ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、ソレハ吾々トスレバ、統制法ト云フモノガアツテ、其ノ統制法ニ依ツテ規制セラレルノデアルカラ、唯農民ガ昔カラノ古イ考ヘ方ヲ持ツテ、徒ニ戰爭ニナレバ米價上ルノダト云フヤウナ考ヘ方ハ、非常ナ時局ヲ認識シナイ考ヘ方デアリマスルガ、唯幸カ不幸カ此ノ米穀統制法ト云フモノガアツタ爲ニ、其ノ運用ニ依ツテ國民ノ主要食糧デアルト云フ故ヲ以テ、其ノ頭ヲ抑ヘラレタト云フコトニ付テハ、多大ノ不滿ヲ持ツテ居ル、併シ私ハ此ノ十二月十七日ニ決メラレタモノガ、此ノ年度ニ於テ米穀統制法ノ中ニ其ノ改訂ノ途ガ如何ニ開ケテ居リマシテモ、ソレヲ動カスコトハ出來スト云フコトハ、十分ニ承知致シテ居ルノデアリ

マスケレドモ、唯食糧充實ノ點カラ見テ、西川君ガ指摘セラレタヤウニ、十四年度ニ於テノ決定ニハ、此ノ米穀統制法ノ施行令ノ再檢討ニ依リマシテ、相當ノ途ガ開ケルト云フ風ナ明ルサヲ持タセルト云フコトガ、政府ノ意圖シテ居ラレマスル所謂米穀増産ノ計畫ノ上ニモ、非常ニ關係ヲ持ツデアラウト考ヘルノデアリマス、其ノ意味合ニ於キマシテ、同ジ問題ヲ繞ツテ繰返シテ御尋ラスルヤウデ、議事ノ促進ノ上カラドウカト云フ風ニ委員長ハ御考カモ知レマセスガ、併シ私ハ決シテ之ニ付テ自分トシテ私案ヲ持ツテ居ル譯デハ無論アリマセス、ガ希望的ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ意見ヲ申上ゲテ、ソレヲ中心トシテ質問ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、唯此ノ問題ヲ質問致シマス前ニ、御聽キシテ置キタイトコトハ、戰時ニ於ケル食糧政策ノ根幹ニ關スル問題デアリマス、此ノ點デモ本會議ニ於キマシテ相當質問サレ、ソレニ對スル農林大臣ノ御答辯モアリマシタガ、ドウモ私ニハソレガドウ云フ所ガ狙ヒデアルノカ、其ノ狙ヒヲハツキリ擱ムコトガ、其ノ答辯ダケデハ出來マセス、三宅君デアリマシタカ、此ノ點ニ付テハツキリ尋ネテ居ラレマスルガ、ヤハリ農林大臣ノ御答辯デハ、ソコガハツ

キリシテ居ナイヤウデアリマス、食糧政策ノ問題ニ關スル根本的ノ考ヘ方ガ、ヤハリ公定價格ノ決定ニ反映シテ參ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ガドウ云フ考ヲ持ツテオ居デニナルカ、其ノ點ヲ一番先ニ確メマシタ上デ、公定價格ノ決定ノ事情、竝ニソレニ伴ウテ私等ガ斯ウ云フ點ヲ幾分デモ是正シ、改正スベキデハナカラウカト思ツテ居リマス、此ノ點ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ要領デアリマス、ソレデ先ヅ第一ニ食糧政策ニ付キマシテノ根幹ニ付テ、御尋ラ致シタイト思ヒマス、戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ハ、是ハモウ何人モ承知シテ居ル所デアリマシテ、一般大衆モ兎モ角此ノ戰時ニ於ケル食糧ノ重要性ハ、相當ノ程度ニ認メテ居ルコトハ間違ナイノデアリマス、併シ一般ノ人ノ考ガ唯觀念的ニ食糧ト云フモノハ戰時ニハ大切ナモノデアアル、世界大戰ニ於テ獨逸ガ破レタ所以ハ、主トシテ食糧ノ缺乏ニ在ル、聯合軍モ此ノ食糧ニハ非常ニ惱ンデ居ルト云フコトハ承知シテ居リマスケレドモ、同時ニ又日本ハ世界ニ類ノナイ自給自足ノ出來ル國デアアル、食糧ニ關スル限り如何ニ戰爭ガ長期ニ互リマシテモ、此ノ點ニ付テ大シタ心配ヲスルコトハアルマイト云

ツタヤウナ、甘イ、安易ナ氣持ト云フモノガ一般大衆ノ頭ノ中、肚ノ中ニアルト云フ考ハ、寧ロ大事ダトハ思ツテ居ルガ、併シソレハ日本ニハ幾ラ戰爭ガ續イデモ、ソレデ困ルコトハアルマイト云フ安易ナ氣持ガアルト私ハ存ジテ居リマス、併シ是ハ現實ニ食糧ノ缺乏ト云フモノヲ今眼ノ前ニ見セ付ケラレタコトガナイノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ安易ナ氣持ガ國民ノ肚ノ中ニ、一般ノ人ノ頭ノ中ニアルト云フコトモ、是モ無理カラスコトダト思ツテ居ルノデアリマス、併シ私ハソレハ別ト致シマシテ、甚ダ是ハ失禮ナコトヲ申スヤウデアリマシタガ、農林當局ノ方ニモ此ノ安易ナ氣持ノ何十分ノ一カガ、是ハ無論私ハ意識的ダトハ申シマセスケレドモ、兎モ角潜在意識トシテ何處カノ隅ニ此ノ何十分ノ一カト云フモノガ、アルノデヤナイカト云フ氣ガシテナラナイノデアリマス、是ハコンナコトヲ申スト何デスガ、本案ノ如キハ、現在米穀ニシマシテモ八百萬石、九百萬石ト云フ持越ヲ見テ居ツテ、此ノ統制案ガ出テ來ルノデアリマスカラ、所謂轉バヌ先ノ杖デ、斯ウ云フ風ニマデシテ用心ヲシテ掛ルノダト、無論仰シヤルデアリマセウガ、併シドウモサウ云フ安易ナ氣持ト云フモノガ、何處カ

ノ隅ニ何十分ノ一カアルノデヤナカラウカト云フヤウナ氣持ガスルノデアリマス、私ハ第一ニ昭和十四年度ノ一般會計ニ於ケル所ノ農林豫算ノ形ヲ見ルノデアリマス、ドウモ農林豫算ハ私共ノ氣持カラシマスレバ、食糧問題ニ付テノ大キナ責任ヲ持ツテ居ル戰時ノ農林豫算トシテハ、洵ニ貧弱ダト申サザルヲ得ナイト思フノデアリマス、形ノ上カラスレバ追加豫算ヲ除イテ、十三年度豫算ニ比シテ千五百萬圓増加シテ居ル、斯ウ言ヘバソレハ無論農林當局ノ御苦心ハ諒トシマスガ、併シ其ノ内容ヲ能ク檢討シテ見マスと洵ニ物足ラス氣持ガ致スノデアリマス、此ノ農林豫算ノ新規要求ヲ見マス、臨時農村對策施設ニ關スル經費、或ハ生産力擴充ニ關スル經費等、之ヲ合セテ見マシテモ、此ノ大キナ問題ガ大シタ金額ニナツテ居ナイ、サウシテ一面ニハ殆ド軍事豫算ト同様ダト思ハレルヤウナ、兩方共管ノヤウナ感じノスル馬政計畫、所謂軍馬資源保護ニ關スルモノハ、二千何百萬圓ノ金ガ計上サレテ居ル、是等ヲ對照シテ見マス、千五百萬圓ヤソコラデハ内容ヲ見デモ一向ドウモ榮エタ豫算デハナイ、戰時農林豫算トシテ大手ヲ振ツテ歩ケルヤウナ豫算デハナイヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、大體

昨年ノ十二月初ニ臨時農村對策部ヲ新ニ設置セラレマシテ、ソレガ十四年度カラ掛ツタノデハ到底間ニ合ハナイ、十三年度カラ掛ラナケレバイケナイト云フノデ、豫備金ノ支出ニ財源ヲ仰イデ設置セラレタ、ソレヲ最初私共聽キマシタ當時ハ、是ハ洵ニサモアルベキコトデアルト其ノ施設ニ對シテハ非常ナ共鳴ヲ持ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ其ノ後ノ臨時農村對策部ト云フモノノ結果ガ吾々ノ府縣ノ方ニ廻ツテ來タ形ヲ見ルト、如何ニモ不徹底デアル、如何ニモチグハグナコトヲ甚ダ遺憾ニ思フ、折角最初共鳴シタモノガ實際コンナモノデハト云フ氣持ガ致シタ、私ハ農會ニ多少ノ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ生産ノ確保、肥料ノ配給等ニ付テノ駐在員ガ農村對策施設トシテ出來テ居ル、私ノ縣ニモ其ノ配置ヲ受ケタ、ソレハ二郡市ニ對シテ一人ノ駐在員デアアル、折角設ケラレル程ナラ之ヲ一郡一人ト云ツタ形ニサレレバ、農林省ガ考ヘテ居ラレルヤウニ事モ早く運ビマセウ、又今日ノヤウナ肥料ノ急迫シテ居ル狀態カラ言ヘバ、總テノ取調ノ書類ナドモ早く農林省ノ御手ニ入ツテ、敏活ナ施設ノ運用ガ出來ルノデアリマスケレドモ、何分ニモ二郡市ニ一人デアアル、而シテ置カ

レテ居ル所ノ郡市ノ方カラ見ルト云フト、自分ノ所ニ事務所ハ設ケテアルケレドモ、自分ノ郡ガデハナイノデアリマスカラ、上デ考ヘラレテ居ルヤウナ風ニソレニ十分ナ手傳ヲシテ、任務ヲ果サセルベク協力スルト云フコトハ出來ナイ、置カレテナイ方ノ郡市カラ言ウト、マア置イテハアルガ、ト云ツタヤウナ感じ方ヲスル、此ノ二郡市ニ一人ト云フコトハ如何ニモ不徹底デアリマス、ソレニモ拘ラズ、其ノ吏員ヲ選ブコトニ付テノ申請ノ手續ヲ運ビマシテモ中々抄ラナイ、私ノ縣ノ如キモ今月ニ入ツテ漸クソレガハツキリシタ位デアアル、折角十三年度カラ掛ツテヤラレルト云フノニ、人ノ配置ガ漸ク此ノ頃ニナツテ出來ル、斯ウ云フコトハドウシテモ徹底スルヤウニナサラナイト、臨時農村對策部トシテハ洵ニ物足ラナイ、唯斯ウ云フ形ガケヲ作ツテ置クト云フ風ニ考ヘラレル、私ノ縣デ此ノ臨時農村對策部ニ付テノ各郡市農會長ノ協議會ヲヤリマシタ際ニ、或ル郡ノ農會長ガ曰ク、コンナ笹ノ葉ニ水ヲ付ケテ振ルヤウナコトデ、此ノ大キナ吾々ノ任務ガドウシタツテヤレル筈ノモノデハナイ、ソナチツボケナ金ヲ戴イテ非常ナ拘束ヲ受ケテヤルヨリハ、寧ロ吾々農會獨自ノ立場デ、自由ニ對策ヲ立テ

タ方ガ宜イデハナイカト言ツテ非常ニ主張サレテ、私共モ理窟デハ尤ニ思フモノデアリマスカラ、ソレ等ノ處理ニ困ツタ位ノコトデアリマス、是ハ極端ナ例デアリマスケレドモ、兎ニ角サレル程ナラバ徹底シタ所ノ施設ヲサレテ、是ガ郡ナリ、市町村ナリ部落ナリニ廻ツテ行ツテ、農林省ガ考ヘテ居ラレルヤウナ效果ガ擧ガルノデアラウカドウカト云フ、末ノ末マデ見透サレテ案ヲ立テテ戴カナイト、今ノ臨時農村對策部ノ如キ形デハ、中々農林省ノ意圖セラレル所ヲ十全ニ現ハス譯ニハ行カナイ、斯ウ云フヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、私共ノ縣ノ農會ノ關係者ナドハ、皆今私ガ申上ゲタ通りノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、折角政府ガソレダケノ施設ヲセラレルナラバ、ソレニ順應シナイト云フコトハ、時局ノ認識ガナイヤウニ見エマス、ダガ順應シテヤツテ見テモ、思フヤウナ働キガ出來テ、ソレニ應ヘルコトガ出來ルカト云フト、ソレガ出來ナイコトニナル、私ハ農林當局ニ於テ此ノ點ハ非常ニ注意ラシテ戴カナケレバナラナイト云フコトヲ、熟思フノデアリマス、先日各派一致ノ生産確保ニ關スル決議案ガ、滿場一致決議セラレマシタガ、政府ハ目下ソレニ付テノ方法ヲ御研究ニナツ

テ居ルコトト思フノデアリマス、其ノ事ガ現ハレマシテモ、例ヘバ部落團體ニ對スル助成ハ、此ノ法案ノ本當ノ狙ヒト致シテ居ル所ニ致シマシテモ、ソレガ實際ニ農村内ノ部落團體ヲ刺戟シテ、ソレニ感激ヲ與ヘテ、政府ノ食糧政策ニ何ヲ措イテモ、之ニ順應シテ其ノ増産ノ目的ヲ達スルヤウニシナケレバナラヌト云フ氣持ニナラセルヤウニ、此ノ助成ヲセラレナイト唯言譯ノヤウニ金ヲ出シテ、ソレハ今マデノ豫算ノ編成ノ仕方ト同ジコトデ、細カイヤノ項、此ノ項ト云フ風ニ數ヲ分ケテ、サウシテ僅カノ金ダケヲ廻サレテ、其ノ金ガ本當ニ活キテ、肝腎ナ増産ト云フモノノ鍵ヲ握ツテ居ル所ニ效果ガ現ハレナイト云フコトニナリマシテハ、折角ノ決意、竝ニソレニ對スル政府ガ考ヘラレル所ヲ、本當ニ透徹シナイコトニナルノデアリマスカラ、是ハ餘程注意ラシテ戴カナイトイケナイ、是ハ餘分ノコトヲ申スヤウデアリマシタ、サウ云フコトヲ思フノハ、此ノ臨時農村對策部ノ十三年度ニ於ケル施行ノ狀態ヲ見テ、特ニ其ノ事ヲ感ズル次第デアリマス、要スルニ十四年度ノ豫算ハ臨時對策ノ施設トシテハ、十三年度ノ豫算、即チ四ヶ月分ヲ一年ニ引延バシタト云フニ過ギナイ形ニナルデアラウト私ハ思フノデアリマス、

兎モ角農林豫算ハ、先程農林次官ノ御答辯ニナリマシタヤウニ、追加豫算ニ依ツテ一般農林豫算ヲ強化サレテ、本當ノ戰時ニ對スル食糧増産ノ參謀本部トナツテ居ル此ノ農林豫算トシテ、大手ガ振ツテ歩ケルヤウナコトニ強化サルベク、農林大臣ノ特ニ御努力ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、今日ハ私ガ言ウタ安易ノ氣持ノ何十分ノ一ドコロデハナイ、ソレハ綺麗ニナクナツテシマツテ、非常ナ眞剣ナ氣持ニナツテ居ラレルト思フノデアリマスガ、此ノ豫算ノ編成ノ當時ニハ、大藏省トノ折衝ニモ相當ノ御苦心ハアリマシタデセウガ、大藏省ガ認メナイカラドウモ仕方ガナカツタト云フコトデハ、戰時ノ農林當局トシテノ責任ハ、決シテ解除サレルモノデハナイト思フ、私ハ此ノ豫算ヲ見テモ何處トナシニ此ノ安易ナ氣持ガ、潜在意識トシテアルノデハナイカト思フヤウナ氣持ガスルノデアリマス、肥料ノ問題ニ致シマシテモ、肥料割當制ヲ昨年ニ發表セラレタ時ニ、農村ノ實情ハ勞力ノ不足其ノ他ニ依ツテ非常ニ困ツテ居ルカラ、肥料ノ關係タケハ何ヲ措イテモ其ノ配給ニ遺憾ナキヲ期サナケレバナラス、ソレニ全力ヲ注イデ、其ノ勞力ノ不足其ノ他資材ノ廻リノ惡イノヲ、此ノ肥料ヲ補ツテ行クヤ

ウニシナケレバ、此ノ年度ノ増産ハ出來ナイト云フ氣持ガ、強ク農林當局ノ頭ニアリマシタナラバ、私ハ今日ノヤウナコトニハナラズニ濟ンダラウト思フ、政府ハ隨分目日陳情其ノ他責メラレテ居ルデセウガ、私共ノ手許ニモ毎日二三通電報デ催促セラレテ、ドウモ廻ラスデ困ルカラ何トカ心配ヲシロト言ツテ來ルヤウナ狀態デアリマシタガ、私ハサウ云フコトニナラズニ濟ンダラウト思フ、十四年ノ一月カラ實行スルト云フ時ノ氣持ガ、何處カマダ潜在意識ニアツタ爲ニ、今ニナツテサウ云フコトニ非常ニ御苦心ナサレル、其ノ御苦心ニ付テハ敬意ヲ表シマスガ、ソレモ一ツノ安易ナ氣持ガ、一般大衆ガ考ヘテ居ルヤウナ何十分ノ一カアツタノデハナイカト云フヤウナ氣持ガ、私ハスルノデアリマス、ソレデ私ハ其ノ安易ナ氣持ガ、同時ニ米ノ増産ヲ控ヘテノ公定價格ノ問題ニモ反映シテ來テ居ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、ソコデ問題ハ、此ノ食糧政策ニ關シテ政府ガドウ根本的ニ考ヘテオイデニナルカ、此ノ點ニ付テハツキリシタコトヲ一ツ私ハ伺ツテ置キタイノデアリマス、所謂一方デハ價格ノ問題、一方デハ増産ノ問題ガアル、是ガ兩建ニナツテ居リマスグレドモ、之ヲ一體ドウ

取扱ハウトセラレルノデアアルカ、本會議ニ於ケル質問ニ對シテノ御答辯ヲ伺ツテ見テ中、又速記録ヲ讀ンデ見テモ、之ヲドウ取扱ハレルカト云フコトハ分ラナイノデアリマシテ、此ノ食糧ノ増産ト價格トノ關係ヲドウ御扱ヒニナルカト云フコトヲ第一ニ承ツテ、ソレカラ公定價格ニ關スル問題ニ移ツテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス

○松村政府委員 大臣カラ御答申上ゲネバナラスノデアリマスガ、據ロナイ用事デ貴族院ノ他ノ委員會ニ出テ居リマスノデ、私ガ御答申上ゲマス、御話ノ點ハ極メテ重大ナコトデアリマスガ、只今ノ御質問ハ食糧政策ノ方ガ主ノヤウデアリマスカラ、其ノ點ニ付テ先ヅ御答申上ゲマス、御話ノ通りニ今日マデハ幸ニ食糧ニ事缺カナイデ、殆ド國民ハ食糧ニ對スル關心ヲ持ツテ居ナイヤウナ狀態デアリマスガ、是ハ洵ニ一面カラ見タナラバ、世界ノ戰史ニ例ノナイコトデアリマシテ、戰爭ヲシデ一年半モ此ノヤウニ食糧ガ満足ニ供給セラレルト云フコトハ、是ハ一ニ國土ノ惠ミト、農民ノ非常ナ努力ノ結果デアリマスコトハ申スマデモナイコトデアリマス、併シナガラ斯ウ云フ狀態ガ、安心ヲシテ今後モ持續シテ行ケルカト云フコトガ、大キナ問題デアリ

マシテ、私共ハ御話ノ通り今日マデハドウカスウカヤツテ來タガ、今後モ此ノ調子デ必ズ行ケルモノダト云フヤウナ御話ノ安易ナ氣持デ居ルト云フコトハ、大變ナ間違デアリマシテ、農林當局ハ決シテ左様ナ考ヲ持ツテ居リマセヌ、今日ノ場合色々ノ資材ガ不足ヲシ、勞力ガ不足ヲシテ參リマシタ上ニ、戰時食糧ヲ確保スルト云フコトハ非常ナ困難ナコトデアリマスガ、又是ハ非常ナ必要ナコトデアリマシテ、若シモ此ノ確保ガ出來ナイデ、不安ヲ與ヘルト云フコトガアツタナラバ、是ハ大變ナコトデアリマスカラ、私共ハ此ノ食糧ノ確保ノ爲ニ最善ノ努力ヲセナケレバナラスト思ツテ居リマス、ソレニ付キマシテハ先般モ議會デ此ノ點ヲ御心配ニナリマシテ、滿場一致ノ御決議モアリマスルシ、農林當局モ豫ネム是等ニ對スル色々ノ施設ヲ考ヘテ居リマシタノデ、計畫ヲ新ニ致シマシテ、現在大藏省ニ豫算ヲ要求致シテ居リマス、日ナラズ決定ヲ致シテ皆サシノ御協賛ヲ得ルコトニナルコトト存ジテ居リマスガ、其ノ點ハ全ク國光サシノ御話ノ通りニ考ヘマシテ、出來得ル限り役所ノ人件費ナドヲ節約シマシテ、此ノ生産ヲ掌ル最前線ノ方面ニ有效ニソレ等ノ費用ガ廻ルヤウナ考ヘ方ヲ以テ、今日

要求致シテ居ル譯デアリマス、同時ニ獨リ内地ノミナラズ朝鮮、臺灣ニモ此ノ生産ニ協力ヲシテ戴ケルヤウニ致シテ居ル譯デアリマシテ、食糧ノ確保ニ付テハ遺憾ノナイヤウニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、之ヲ各府縣ニ綜合的ニ御願ヲ致シマシテ、府縣々々ノ責任ヲ以テ此ノ生産ニ當ルヤウニ、生産者タル農民ニ御願ヲシタイト思ヒマシテ、明後日ノ日曜ニモ經濟部長會議ヲ農林省ニ招集シマシテ、是等ノ生産ニ付テ計畫的ニ相談ヲシテ、直グサマ實行ニ掛ル積リデ居リマス、幸ヒ前内閣ノ時ニ農業報國聯盟ト云フモノガ出來マシテ、其ノ豫算モ取ツテ居リマスガ、斯ウ云フ場合ハ主トシテ生産擴充ガ何ヨリモ大切デアリマスカラ、此ノ方面ニモ御願ヲシテ、生産擴充ノ爲ニ衆議院方面ノ皆様ニモ御協力ヲ願ツテ、此ノ目的ヲ達シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、決シテ此ノ生産確保ニ手ヲ著ケナイデモ、食糧ハ得ラレルモノダト云フガ如キ考ハ斷ジテ持ツテ居リマセヌ、餘程ノ努力ヲシナクテハ確保ガ出來ナイト考ヘテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ風ニ、一面ニ食糧ノ確保ニ努力ヲ致スト共ニ、更ニ配給方面ニ力ヲ用ヒマシテ、是ダケノコトヲシテ居ツテモ、若シ不足ナドヲ

スル場合ガアリ、不足ガナクテモ假思惑ガ起ツテ、米價ノ適正ヲ失フガ如キコトガ生ジ、國民生活ヲ脅カスガ如キコトガアツテハナリマセヌカラ、一面ニ生産ノ擴充ヲ致スト共ニ、又一面ニハ只今御案議ヲ願ツテ居リマサユウニ、配給機構ノ改善ヲ圖リ、取引ニ付テハ投機ヲ抑制シテ、實需ニ依ツテ公定相場ガ決マルヤウニスルコトガ、第一義デアルト思ツテ居ル譯デアリマス、是ダケ御答ヲ致シテ置キマス

○國光委員 一應農林次官ノ御答辯ハ諒ト致シマス、殊ニ廳會議會ニ出マスル農林省ノ追加豫算ニ付テハ、私ガ申上ゲタヤウナ本當ノ食糧増産、生産確保ノ鍵ヲ握ツテ居ル所ニ狙ヒノ狂ハナイヤウニヤル積リダト云フ農林次官ノ御答辯ニハ非常ニ満足ヲ致シマス、戰時豫算デアリ限リハ、ヤハリ本當ノ非常時豫算トシテノ形デナケレバナラヌ、平常通りノ考ヘ方デ豫算ヲ編成スルト云フコトニナルト、大藏省デ通ラヌト困ルモノダカラ、ソレニ合フヤウニサレル爲ニ、折角ノ狙ヒヲ狂ハシテシマフ、或ハ折角金ヲ取ツテ居リナガラ使ヒヤウガナクテ餘ツテシマフト云フヤウナコトヲ、ヨク話ニ聞クノデアリマス、併シ戰時豫算デアリ限リハ少シハ大雜把デモ、本當ノ狙ヒ所

ニ向ツテヤラレルト云フ、今ノ農林次官ノ御答辯ノ通りニ農林豫算ヲ御取扱ヒニナルコトヲ、衷心ヨリ御願申上ゲテ置キマス、ソレカラ此ノ食糧政策ニ付テ、私ハ決シテ之ヲ農林省ガ忽セニシテ居ルトハ申シマセヌガ、幾分力安易ナ氣持ガ知ラズ識ラズノ裡ニアツタノデハナカラウカ、農林省ノ豫算ヲ見、又資料、其ノ他ヲ見ルト、サウ云フ氣持ガシテナラヌカラ申上ゲタノデアリマシテ、決シテ政府ニ何等ノ經綸モナケレバ、熱意モナイトハ私考ヘテ居リマセヌ、併シ眞劍サガ足ラナイデハナイカト云フヤウナ氣持ガシテナラナイノデ、ソレヲ申上ゲタノデアリマス、所ガ農林省ノ政策ガ増産第一主義ト云フコトニナリマスレバ、結局價格問題ハ第二ニ廻ルノデアリマセウカ、ソレサヘハツキリスレバ宜シイノデアリマス、所謂増産主義ト價格、此ノ兩方ヲ兩建ニ見渡シテヤラレルト云フコトデアルノカ、或ハ増産第一主義デ、價格政策ナルモノハ第二ニ廻ルベキモノデアルカ、午前中ニモ四川君ガ申サレタガ、材料ハ非常ニ安クナツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ製品ハ高イ、高イカラ今度ハ抑ヘルノダト云フ形ナラバ、増産ハドウモ非常ニ危險ガアルト思ヘバ、其ノ場合ニハ尙又考ヘ方ガ別デア

ルガ、増産狙ヒデ行ケバ増産第一主義、若シソレガ思ハヌ價格ノ昂騰ヲ來シタ時ニハ、第二段トシテ其ノ價格ヲ抑ヘルコトヲ考ヘルト云フ行キ方ガ、今日ノ狀態トシテハ當然ナコトデアルト思フ、マダ増産ノ計畫モ立タヌ内カラ、價格ヲ抑ヘテ、後ニ増産ニ廻ルト云フコトハ、戰時ノ食糧政策トシテハ逆ニ廻ツテ居ルノダト云フコトヲ私ハ思フ、ソコガドツチデアリマスガ、今ノ農林次官ノ御答辯ガ、生産確保第一主義デ行クト云フノデアリマヌラバ、私ノ思ウテ居ル通りデアリマスガ、マダソコガハツキリ致シマセヌ、私ノ聞ヒタイコトハ、所謂生産第一主義、價格第二主義、斯ウ云フ所へ行ケバ、私ノ是カラ進ンデ行ク考ヘ方ニテ度ビツクリ合フノデアリマスガ、ソコヲハツキリシテ貰ヒタイ

○松村政府委員 其ノ點ハ御話ノ通りデアリマシテ、生産ヲ増サウト致シマスニハ、價格ヲ適正ニシナクテハ出來ナイコトハ勿論デアリマス、是ハ生産ヲ増スコトニ努メル時ニハ、價格ヲ其ノ生産ガ出來ル程度ニ置イテ確保シナクテハ出來ナイコト存ジテ居リマス

○國光委員 ソレハ言ヒ表シ方ニ依ツテハ、今ノ農林次官ノ御答辯モ適正ナト云フ

コトノ意義ニナルノデアリマスガ、米穀統制法ニ於ケル公定價格ノ問題ニ一寸觸レテ見マス、増産計畫ヲ立テル一方デハ、統制法ニ基ク最高最低ノ價格ガアルノデアリマス、何シロ農林當局ノ肚デハ、十四年度ハ今ノヤウナ安易ナ氣持デ一般國民ガ考ヘテ居ルヤウナコトデハイケナイ、斯ウナツテ此ノ増産ト云フコトニナリ、其ノ増産計畫ハ漸ク昨日農業計畫委員會デ、先般大臣ガ御答辯ニナツタ内地四百万石ノ増産計畫ガ御決リニナツタヤウニ新聞ニ出テ居リマシガ、サウ云フ計畫ガ今定ツテ居ルノニ、前ノ公定價格ニ付テ幾ラカデモ不自然ナエ作ヲスル必要ハナイノデハナイカ、例ヘバ「ゴム」ノ下ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ製品ハ自由ニ委セテ、十割モ二十割モ高クナツテ居ルト云フコトハ、適正ナル價格デハナイノデアリマスカラ、ソレヲ抑ヘナケレバナラス、ナゼ公定價格ヲ決定セラレル際ニ、増産ノコトガ目ノ前ニアルニ拘ラズ、ソレニ付テハ主要食糧品デアラガ故ニ、他ノ物價ニ對シテ刺戟ヲ與ヘテハイケナイト云フコトデ、ソレヲ抑ヘラレタト云フ氣持ガ、此ノ増産第一主義カラスルト、ドウシテモ私共ニハ合點ガ行カナイノデアリマス、當リ前ニ是ガ公正ニ決メラレタノデアラナラ

バ、ソレガドンナ形デアラウトモ、若シソレニ依ツテ其ノ價格ガ一般ノ國民生活ニ不安ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニナレバ、其ノ時ニ抑ヘル方法ハ幾ラデモアル、兎ニ角統制法ガ今日儼トシテアルノデアリマス、ソコガドウモ私ニハ分ラナイ、實際ハドウ云フ風ナノデアリマスカ、適正ナ價格ト云フモノガ此ノ増産ニハ必要ダト思ヘバ、不自然ナ工作ト云フモノハ執ラレベキ筈ノモデナイ、ソレハ他ノ物價ニ對スル氣兼ねカラサウ云フ方法ヲ執ラレタ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、他ノ物價ノ方ハ遠慮會釋ナクズン、イツテ居ル、コツチバカリガ遠慮ヲシテ、主要食糧品ダカラ國民ノ生活ニ不安ヲ與ヘテハイケナイト云ツテ抑ヘラレテハ、迷惑スルノハ農業者バカリデアルト云フコトニナリハシナイカ、農林大臣ガ昨年ノ十二月十七日ニ統制委員會デ決ツタ後ニ出サレタ聲明書ヲ見ルト、如何ニモ苦シイ辯解ヲシテオイデニナル、其ノ苦シイ辯解ヲセラレル程ノコトナラバ、モウ少シ戰時ノ食糧政策ト云フモノニ付テ大乗のナ考ヲサレテ、所謂値少シ上ツテモ國民生活ニ不安ヲ與ヘルト云フコトト、若シソレガ足ラナクテ價格ノ抑制ヲシタ爲ニ増産ノ計畫ニ暗翳ヲ與

ヘルト云フコトニナツテ、ソレガ阻止セラレタ時ニ起ルベキ不安、是ハ比較ニナラヌ程大キイ社會的不安デアアル、ソレガアルカラコソ、轉バヌ先ノ杖ト云フコトデ配給統制案ト云フモノガ今日出テ居ルノデアリマカス、一般ノ人氣ガ惡カラウト云ツタヤウナ氣持デヤラレテ居ルト云フ風ニシカ私ニハ考ヘラレナイ、ソコハドンナモノデアリマセウカ、執拗イヤウデアリマスケレドモ、御考ヘ方ヲ承リタイ

○松村政府委員 只今御話ノ點デゴザイマスガ、昨年ノ暮ニ基準米價ヲ決メラレマシタコトハ、是ハ其ノ時ノ色々ノ情勢ヲ斟酌セラレ、又基準米價ヲ決定スル條件ヲ參酌セラレテ、オヤリニナツタコトデアリマシテ、其ノ事ハ別ト致シマシテ、今後ハ如何ニスルカト云フ御話ダラウト存ジマス、今後ノコトニ付キマシテハ、私共ハ先刻モ御話ノ通り、米ノ擴充ニ付テハ相當ニ其ノ價格ニ付テ農民ニ安心ヲセシメネバナラナイト云フコトハ、痛切ニ感じテ居リマス、併シ今直チニ此ノ基準米價ヲ變更致スコトノ善シ惡シハ、此處ニハ申上ゲマセスケレドモ、併シナガラ其ノ生産擴充ノ爲ニ今日ニ

於テ基準米價ヲ變ヘルト云フコトハ、ソレハ相當ニ考慮ヲセネバナラスコトト思フノデアリマス、殊ニ今日カラ段々農家ノ人達ニ本當ニ米ガナクナリ、若シクハ段々是カラ米ヲ買ハネバナラスト云フ事情モアルノデアリマスノデ、今日公定米價ヲ動カスコトノ善シ惡シニ付キマシテハ、慎重ナ考慮ヲ要スルコトト思ヒマス、併シナガラ米ノ増産ヲ圖ルノニハ、或ル程度ノ安心ヲ與ヘサセルコトガ必要デアリマスカラ、是等ノ點ニ付テハ遺漏ナキヲ期シタイトハ考ヘテ居リマス、唯此處ニ申上ゲ得マスコトハ、新米穀年度ノ基準米價ヲ決定スルニ當リマシテハ、ソレハ決シテ米ヲ犧牲ニシテ、サウシテ他ノ物價ト伴ハナイ價格ヲ決メルト云フヤウナコトハ斷ジテ致シマセヌ、御承知ノ通りアノ基準米價ヲ決メル色々ノ條件ハ、議會ニ於テモ長イ間色々ノ研究、沿革ヲ經テ定ツタモノデアリマスカラ、アノ間ニ定メルナラバ、相當適正ニ出來ルノデアリマサルシ、其ノ運用ニ依リマシテハ十分御話ノヤウナ點モ考慮ニ入レテ、決メルコトガ出來ル譯デゴザイマスカラ、新米穀年度ノ基準米價ノ決定ハ、米價ト他ノ物價トノ釣合等ニ付キマシテハ、十分考慮ヲ致シマシテ、米價ヲシテ他ノ犧牲——犧牲ト云ッ

テハ惡イカモ知レマセヌガ、特ニ米ダケヲ

安クシテ、農民ガ多クノ負擔ヲスルト云フ

ガ如キヤリ方ハ致サナイト云フコトダケ

ハ、今日カラ申上ガ得ルコトト思ヒマス

○國光委員 公定價格ノ決定ハ前内閣ノ時

決ツタコトデアリマシテ、是以上申上ゲル

コトハ差控ヘタ方宜カラウト思ヒマス、

唯年度内ニ公定價格ヲ變更スルコトノ出來

ナイト云フコトハ、是ハモウ農林次官ノ御

話ヲ俟タナイデモ、常識的ニ私モ考ヘテ居

ルノデアリマス、今御答辯ノ通りニ新米穀

年度ニハ、サウ云フ風ナ御意思ヲ持ツテヤ

ラレルノダト云フコトガ分レバ、私ハ其ノ

點ハ満足致シマス、ソレデ公定價格ヲ決定

ナカツタト云フコトハ、是ダケデモ分ル、

二割ニ見テモ四十五圓、サウシテ最高價格

ノ決定ハ三十五圓四十錢ト云フノデアリマ

スカラ、一方ノ基準ト、下ノ家計米價ノ基

準、之ヲ兩方ヲ見合ハセタモノデ適正ナ事

ヲ決定スルト云フノニ、上ノ方ハ全然考ヘ

ラレナカツタト云フコトダケハ、ハツキリ

シテ居ル、ソレハ殆ド問題ニナラナイ、兎モ

角此ノ二割三割ト云フコトハ別ニ致シマシ

テモ、參酌値ダケハ相當ニ考慮セラレテ宜カ

ツタノデハナカラウカト云フ感ジガスルノ

デアリマス、其ノ上ニ家計米價ソレ自體ノ中ノ

所謂副食物其ノ他ヲ加ヘテ、一割以內ト云

フモノガ三分五厘ニ下ゲラレテ居ル、其ノ方

再檢討スルカドウカト云フコトノ意思ヲ、

マダ表明スベキ時機デナイ、斯ウ云フノデ

アリマスカラ、申上ゲテモ仕樣ガナイヤウ

ナモノデアリマスケレドモ、私自身ガ此ノ

統制法ノ内容ニ付テ、斯ウ云フ點ヲ變ヘタ

ラ宜クハナイカト云フ點ダケヲ申上ゲテ、

此ノ公定價格問題ヲ打切ルコトニ致シタイ

ト思フノデアリマス、ソレデ大體私ハ現在

ノ施行令ノ中デ、所謂物價參酌値ノ二割カ

ラ三割、ソレヲドウ云フ所デ見合セルカト

云フコトモ、施行令デハ漠トシテ、ハツキ

リシタ數字ハ出テ來ナイ、此處ニモ大藏大

臣ノ裁量ガ働イテ居ルコトニ現行法デハナ

ツテ居ル、又家計米價ノ方ニ於キマシテモ、

モノト、家計米價トノ間デ農林大臣ノ裁量

ガアレバ、是ハ立派ナ働ガシテ行カレルデ

ヤナイカト言ハレルカモ知レマセヌガ、動

カヌ二ツノ基準ガアリマシテ、其ノ中デ適

正ナ所ニ農林大臣ノ裁量ニ依ツテ決メル、

斯ウ云フコトデアレバ宜シイケレドモ、其

ノ基準自體ガ動イテ居ル、動カセル、農林

大臣ノ裁量デ上ヘモ上ゲラレバ、下ヘモ

下ゲラレル、基準自體ガ動カナイナラバ、

私ハ此ノ十三年度ノ公定價格ヲ決メラレル

時ニ、農業者ノ方ニ非常ニ不自然ナ無理ヲ

シタ査定額デ吾々農民ニ犠牲ヲ拂ハシタノ

ダト云フ惡イ感ジヲ持タセルヤウナコトガ

ナシニ濟ム、假ニ十三年度ヲ見マシテモ、

二割ト申シマス

四十五圓、サウシテ家計

米價ノ關係ハ三十四圓七十五錢ニナツテ居

リマスカラ、其ノ間ノ開キデモ十圓ノ開キ

デアル、其ノ十圓開イテ居ル範圍ノ中ニ於

テ農林大臣ガ公正ニ經濟事情ヲ參酌シテ適

正ナ所ヘ、或ハ三十四圓ト四十五圓ノ間ノ

十圓ノ眞中ニ於テ五圓ヲ上ゲルカ下ゲルカ

ト云フコトハ、其ノ時ノ經濟事情ニ依ツテ

農林大臣ガ決メラレルト云フコトニシテ置

キサヘスレバ、斯ウ云フ昨年ノ決定事情ノ

内容ヲ彼此レ言ツテ、農民ガ不平ヲ申シテ

居ルヤウナコトハ起ラナイ、ソレデアリマ

スカラ所謂二割乃至三割の間——二割ト三割トの間ト言へバ物價參酌値ノ二割五分ノ所デアル、二割ナラ二割、二割五分ナラ二割五分ト云フコトデ、物價ノ上ノ方ノ關係ハ確定シテ數字ガ出テ來ル、ソレハ農林大臣ノ裁量ノ範圍ヲ出テシマツテ居ル、ソレカラ家計米價ノ方ニ於キマシテモ、農林大臣ノ現在ノ一割以内ノ裁量ヲ五分デモ一割デモ宜イ、十二年度ノ分ガ七分ニ決ツテ居ツタト云フコトハ、是ハ所謂一割ノ中デ五分ガ中心デアリマスカラ、五分ノ上ニ持ツテ行ツテ二分程上ゲテ七分ニスル、今度ハ又一分五厘下ゲテ三分五厘、斯ウ云フコトニナツタノデアリマスカラ、ソコハ五分ナラ五分ト云フコトニ決ツテ居レバ、モウソレハ農林大臣モドウニモナラナイ、農林大臣ノ裁量ハ其ノ物價參酌値ノ二割乃至三割ト云フモノノ確定數字ト、ソレカラ家計米價ノ確定數字トの間ノ十圓デモ、八圓デモ、五圓デモ、其ノ開キニ於テ適正ナ裁定ヲサレルコトニ依ツテ、此ノ公定價格決定ニ決シテ遺漏ノアルヤウナコトハナイ、サウ云フ風ニ農林大臣ノ裁量ヲ上ニモ下ニモ自由ニシテ置カナケレバナラスト云フ特別ノ理由ハ私ハナイト思フ、ソレヲスレバ此ノ所謂決定事情ニ對スル何等ノ不平ハナ

イ、ソレハ法ノ適正ナ運用デアルノダカラ、ソレガ假ニ十圓ノ開キノ中デ下ノ方ノ二圓ニ決メラレテモ、又消費者ノ立場カラ言ウテ上ノ八圓ニ決メラレテモ、ソレハ統制法ト云フモノガ儼タル存在デアル以上ハ、一ツモ不平モ不滿モアリヨウ管ガナイ、之ヲ私ハ此ノ改正ノ事情トシテ考慮セラレタイト言フノデアリマシテ、是ガ私ノ御伺シタイ一點デアリマス、ソレカラ此ノ最高、最低價格ノ決定ノ事情ト云フモノヲ所謂祕密ニシテオ居デニナル、是ガ私ハ誤解ヲ生ズル大キナ原因ダト思フ、從來ノ最高、最低價格ト致シマシテモ、ソレガドウ云フ風ナコトデ決定サレテ居ルカト云フヤウナコトハ、是ハ消費大衆ニモ、生産者ノ間ニモ大變ナ利害關係ガアルモノデアリマスカラ、適正ニソレガ決定サレルト云フ以上ハ、其ノ事情ハハツキリ一般大衆ニ分ルヤウニシナケレバナラス、成程無理ガナイ決定ダ、少シハ自分共ガ考ヘルヨリハ高い、或ハ自分共ガ考ヘルヨリハ安過ギルト思ツテモ、是デハドウモ不平ハ言ハレヌ、不滿モ言ハレヌト云フ所デナクテハナラナイ、昨年ハ全ク祕密ニナツテ居ル、私共農會ニ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスケレドモ、帝國農會ノ會長モ副會長モ其ノ統制委員デアリマ

スカラ、ドウ云フ風デアリマシタカト言ツテ話ヲ聽イタケレドモ、委員會ノ申合せデ絶對祕密ニシナケレバナラスト言フ、サウ聽クト表面ニ現ハレテ居ル事實以上ニ、何か細工ガアツタノデアラウカト云フ風ニ思フ、之ヲ公ニシタラトンデモナイコトニナルカラト言ツテ祕密ニサレテ居ル、事務當局ノ方ハ内緒デデモ聽イテ居ルダラウト思ツテ、帝國農會ノ事務當局ノ方ハ内緒デ聽イテ見ルト、ソレモ實際私共話ヲ聽イテ居リマセスト言ツテ聽カセナイ、先日本會議デ村上サンハ委員ニナツテ居ラレタカドウカ知レマセヌガ、或ル程度マデ遠慮シイ／＼質問ヲサレタヤウニ承ツテ居リマスガ、アレ以上ニ如何ニモ無理ガアツタニ違ヒナイト云フコトヲ吾々ハ想像スルノデアリマス、ドチラニシテモ表面ニ現ハレテ居ル事實ダケヲ見テモ、如何ニモ適正ナ手續ニ依ツテ決定セラレタモノトハ思ヘナイ、彼此レ農林大臣ノ聲明等ヲ併セ考ヘテ見マスルト、大變ナ無理ガアル、少クトモ三十四圓五十二錢ニ据エ置カレタト云フコトガ非常ナ不自然ダト云フコトハ、是ハ前ノコトデ、既ニ濟ンダコトデアリマスカラ仕方ガアリマセヌガ、今後ハ此ノ統制委員會ノ材料ナドト云フモノハ、少クトモ公正ナモノダ、所謂

公定價格ト云フ以外ノ價格取引ガ出來ナイト云フ非常ナ法的ノ意義ガ、強化サレタノデアリマスカラ、是ハ國民ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ル、是以上ノモノハ賣レナイコトニナリマスカラ、其ノ點ヲ是非一ツ今後ニ付テ御考慮ヲ仰ギタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ常々考ヘル、殊ニ戰時態勢ノ上ニ於テハ無理ナコトデアルト云フコトガ、一番増産ノ氣持ヲ害スルノデアリマス、食糧政策ニ付テノ重大ナル責任ヲ負ウテ居ラレル限りハ、此ノ點ハ殊ニ御考慮ヲ仰ギタイト思ヘマス、農林大臣ガ其ノ時期デナイト仰シヤツタノデアリマスカラ、農林次官ニ其ノ點ヲ御尋スルノモヲカシイヤウニモ考ヘマサガ、私ガ今申上ゲタコトニ付テ何カ御答辯トシテ承ルコトガアレバ、私ハ幸ニ存ズルノデアリマス

○松村政府委員 御話ノ點ニ付キマシテハ、此ノ間大臣ガ申上ゲマシタ通りニ、アノ基準米價ハ相當ニ議會デ長イ沿革ヲ經テアソコニ決マツタモノデアリマシテ、アノ運営ニ依リマシテハ御話通りノ目的ハ達シ得ルト思フノデアリマシテ、只今ノ所デハソレヲ法制的ニ變ヘル考ハ持チマセヌノデアリマスガ、先程御話ノ農林大臣ノ參酌ノ餘地ガ非常ニ廣イト云フ御話デアリマス、是ハ

御尤ノコトデアリマスガ、併シ國民生活其ノ他色々ノ方面ニ重大ナ關係ガアリマス米價ノ決定ヲ、單ニ機械的、數學的ニ決メル譯ニモ參リマセヌカラ、ソレデ斯ウ云フ斟酌ノ餘地ヲ或ル程度マデ盛ツテ置カナクテハイケナイダラウト考ヘマス、唯以前ハ御話ノ通りニ參酌値ノ上値ニ割トカナツテ居ツタノデアリマシテ、二割カラ三割マデト云フヤウナコトデハナカツタノデアリマス、御話ノ御意見ハ前ノ統制法ノ基準米價ハ、サウナツテ居ツタト思ヒマス、ソレデ二割デ適正デアルカ、更ニモウ少し上マデ斟酌セネバナラスデハナイカト云フ議論ガアリマシテ、ソレデ二割ト三割ノ間ニ農林大臣ガ參酌スル、斯ウ云フコトニナツタ沿革モアルノデアリマス、即チアノ節ハ二割デハ足ラナイカラ二割以上ノ所ニ農林大臣ガ參酌シロト云フコトニナツタカト記憶致シテ居リマス、サウ云フ次第デアリマシテ、運用ノ如何ニ依リマシテ、此ノ法規ヲ改正シマセヌデモ、十分ニ其ノ目的ガ達シ得ルコトト思フノデアリマス、ソレカラモウ一つノ秘密會ノ御話デアリマスガ、是ハ別ニ法規ヲ變ヘマセヌデモ實行ノ出來ルコトデアリマス、併シ之ヲ秘密會ニ致シテ置キマスコトニ付テハ、是ハ色々ノ點カラ申シマ

シテ公開スルコトハ妥當デナイト考ヘテ、今日マデ來テ居ルノデアリマス、御話ノ點モ御尤デアリマスカラ、果シテサウ云フコトガ出來ルカ否カ存ジマセヌケレドモ、十分考慮ヲ致スコトト致シタイト存ジマス

○國光委員 満足ハシマセヌガ併シ大體諒承致シマス、唯秘密會ト云フハソレハ色々事情ガアリマシテ困難デアリマセウカラ、決定セラルルマデハ無論秘密ニサレテ宜イノデアリマスガ、一旦ソレガ發表セラレタ以上ハ、ソレニ伴フ材料位ハハツキリシテ、一般ニ無理ガナカツタ、適正ナ落著キ所ダト云フコトヲ知ラシメルヤウナコトニシテ、戴キタイト思ツテ居リマス、私ハ此ノ公定價格ノ問題ハソレデ大體御尋スルコトノ要點ヲ濟マセマシタガ、最後ニ吉植君ガ本會議デ御尋ヲシテ、農林大臣ガ實現ヲシナイノハ遺憾ダト云フ簡單ナ答辯ヲシテ居ラレマス、穀物検査ノ國營ノ問題デアリマス、是ハドウシテモ吉植君ガ質問サレタヤウニ、所謂車ノ兩輪ノ片輪ノヤウナ重大ナモノデアリマス、此ノ統制法ガ成立致シマス限リハ、米穀検査ト云フモノガ全國的ニ試ミラレナケレバ、是ガ十全ノ效果ヲ收メ得ナイト云フコトハ、是ハ誰ニ聞イテ見テモ當然ノコトト考ヘルノデアリマシテ、是ト兩様ニ考

ヘラレテ然ルベキモノト思フノデアリマス、併シ之ヲソレナラバ次期ノ議會ニ提案サレルカト云フコトノ御尋ヲ申スノモ、或ハドウカト考ヘマスガ、唯實現シナイノハ遺憾ト云フ程度デナクシテ、私ハ自分ノ記憶ガ間違ツテ居ルカモ知リマセヌガ、兎ニ角國營検査ハ既ニ農林省デ案ヲ立テラレタガ、大藏省トノ諒解ガ出來ナカツタ爲ニ、其ノ儘ニナツテ居ルカノヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデアリマス、私ノ記憶ガ全然違ツテ居ルカドウカ、ソコハドウモハツキリシナイノデアリマスルケレドモ、此ノ配給統制案ガ成立スル限リハ、此ノ検査ノ國營ト云フコトハ是非實行セラレナケレバナラスコトト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ唯實現シナイノハ遺憾デアルト云フ本會議ノ御答辯デアリマシタガ、モウ少しハツキリシタ御答辯ヲ此ノ際御願致シタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 此ノ問題ハ多年ノ問題デアリマシテ、曾テ一度大藏省モ同意致シタコトモアルノデアリマスガ、ソレガ内閣ノ更迭其ノ他ニ依リマシテ、今日實現シナイコトハ甚ダ遺憾デアリマス、農林省ト致シマシテハ殊ニ斯ウ云フ配給機關ガ成立致シマスナラバ、米穀検査ノ國營ト云フコトハ是非必要ダト考ヘテ居リマス、豫算其ノ他ノ關係ガアリマスノデ、必ズ來議會ニ出セルトハ言明致シ兼ねマスガ、出來ルダケ速ニ之ヲ實現スルヤウニ農林省ト致シマシテハ最善ノ努力ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○國光委員 御答辯満足デアリマス、命令ニ讓ラレタ所ノ施行案ハ先刻配付サレマシテ、マダ内容ヲ見ル暇ガナイノデアリマスガ、大體私ノ質問ハ是デ以テ一應終リマス、又其ノ勅令案ノ内容ヲ見マシテ必要ガアレバ御尋致シマス

○添田委員長 北君——一寸申上ゲマス、農林省大臣ガ御見エニナリマスカラ一寸御待ち下サイ

○河野委員 資料ノコトニ付テ一寸御尋致シタイ

○添田委員長 河野君

○河野委員 昨日頂戴シタ資料ノ中デ、道府縣購買組合聯合會ノ肥料取扱高ニ關スル調ト云フモノト、單位購買組合ノ肥料取扱高ニ關スル調ト云フモノヲ私見タノデアリマスガ、其ノ中デ神奈川縣ノ調ガ昭和十一年度ニ於テ道府縣ノ方ガ百八万三千四百二十二圓、單位組合ノ方ガ九十三万一千八百六十五圓ト云フコトニナツテ居ル、是ハ吾

於キマシテ、道府縣ノ産業組合ノ取扱高ガ單位組合ノ取扱高ヨリモ多イト云フコトハ、常識上アリ得ヌノデアリマス、如何ナル場合ニモ、道府縣ノ扱ヒ高ヨリモ單位組合ノ扱ヒ高ノ方ガ多イトガ常識デアツテ、道府縣ノ扱ヒ高ガ單位組合ヨリモ多イト云フコトハ、産業組合ノ建前ニ於テアリ得ザル數字デアルト私ハ解釋スルノデアリマスガ、サウ云フ風ナ場合ガ産業組合法ノ上カラアリ得テ、斯ウ云フ數字ガ出テ居ルノカ、アリ得ザルモノデアルトスレバ數字ガ間違ツテ居ルノカ何レデアルカ、御説明ヲ承リマセスト、斯ウ云フ風ニ間違ツタ數字ガアルト、折角政府カラ戴イタ表ガ何處モ彼モ怪シイヤウナ氣持ガシマスノデ、甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御説明ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○周東政府委員 説明員カラ説明致サセマス  
○松本説明員 今ノ御話ハ仰シヤル通り、聯合會ノ取扱數量ヨリ單位組合ノ取扱數量ガ少イト云フコトハ、アリ得ナイノデアリマスガ、此ノ統計ハ單位組合ノモノニ付キマシテハ、昭和十年七月カラ昭和十二年六月マデニ事業年度ヲ終ツタ組合ニ付テ、集計シタノデアリマシテ、聯合會ハ一ツアリ

マスカラ、其ノ一箇年分ノ一事業年度ノ分ヲ、玆ニ掲ゲテアルノデアリマス、而モ單位組合ノ分ハ、神奈川縣ニ購買組合ガ二百八アリマスガ、是ハ縣ノ概況報告ヲ集計シテ統計ヲ作りマスノデ、其ノ中ノ八割以上ト云フコトニナツテ居リマスガ、百六十三ノ購買組合ニ付テ集計シテアリマスノト、年度ノ食違ヒト、ソレカラ集計シマシタノガ全部ノ購買組合ヲ集計シテナイト云フ關係上、斯ウ云フ食違ヒガ出來テ來テ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ食違ヒハ時々アルコトガアルノデアリマス、ソレダケ御諒承ヲ願ヒマス

○河野委員 サウスルト折角統計ヲ戴イテモ、食違ヒガアツテ見タリスルト、サツパリ資料ガ資料ニナラナイヤウナ氣ガシマスガ、又同時ニサウ云フヤウナコトガアルナラ、アルヤウニ書イテ置イテ戴マセスト、吾々ノ常識デ考ヘルト、縣購聯ノ扱ヒ高ガ單位組合ノ扱ヒ高ヨリモ多イト云フコトニナルト、議員ハドウセ碌ナコトハ見ナイダラウト云フノデ、出鱈目ノ資料ヲ寄越シタト云フヤウナ氣ガスル、折角御作リ下サツテモ、ドレガ本當カ、ドレガ食違ヒカ分ラヌヤウナコトニナル、斯様ナコトハ他ノ表ニモアルノカ、數字ニ偶、サウ云フ吾々ノ常識

デ、現ハレザルモノヲ發見シタカラ、是ハドウモワカシイナト云フ氣持ガスルガ、他所ニサウ云フ風ナモノガアリマスカ、大體他ノ所ハ間違ヒナイト云フコトデ、吾々檢討ヲ加ヘテ宜イカドウデスカ

○松本説明員 大體間違ヒナイト思ヒマス  
○添田委員長 北君

○北委員 本法案ニ依ル米穀會社ニ對シテ延取引ヲ認メタノハ、ドウ云フ譯デアルカ之ヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ法律案ハ言フマデモナク、國民ノ主要食糧デアリマスル米ヲ、投機ノ目的ニサシテハナラスト云フ所ニ重點ヲ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、昨日片岡委員ハ延取引ハ投機デアアル、シコデ産業組合ニヤラシテハイカラスト云フ御質問ガアツタノデアリマスルガ、産業組合ハ既ニ地方ノ組合カラ委託ヲサレタ實米ヲ持ツテ居ル場合ニ於テハ、是ハ延取引ヲヤツテモ決シテ投機デハナイノデアリマス、ソレハ兎ニ角トシテ、實米ヲ持ツテ居ル者ノヤル行爲ハ投機デハナイノデアリマス  
〔委員長退席、馬岡委員長代理著席〕  
然ルニ實米ヲ持タナイモノ、延取引ト云フノハ實質ニ於テハ空賣買デアリマス、所謂賭博ナノデアリマス、投機デアリマス、此

ノ弊害ニ至ツテハ從前ト少シモ變ラヌ、僅ニ期間ガ三箇月ノモノガ二箇月ニ短縮サレタト云フダケニ過ギヌモノト思フノデアリマシテ、依然トシテ投機ノ具ニ供セラレルト云フコトハ、是ハモウ決シテ間違ガナイト私ハ思フノデアリマス、前ニモ申上ゲマシタヤウニ、本法ノ重點ガ米ヲ投機ノ具ニ供シテハナラスト云フコトデアル以上、此ノ場合商人タルト産業組合タルト問ハズ、一切ノ投機取引ヲ絕對ニ廢止シナケレバナラスト思フノデアリマスガ、農林大臣ハ此ノ間本會議デ、眞鍋君ノ質問ニ對シテ「此度ノ延取引ニ依リマス、一定ノ米種ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ故ニ、容易ニ投機ノ目的トハナラナイノデアリマス」云々、斯ウ云フ工合ニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、コンナコトデ果シテ空取引ナル、即チ投機ノ目的ニ使ハレルコトナシニ行ケルト云フ工合ニ大臣ハ御考ニナツテ居ルノカドウカ、之ヲ一ツ承ツテ見タイと思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 本市場法ガ實物本位デアツテ、投機取引ト云フモノヲ廢止シタイト云フコトノ精神ノ籠ツテ居ルコトハ、單ニ清算取引ヲ廢止シマシタバカリデハナク、此ノ延取引ノ問題ニ付キマシテモ、相當多

分ニ含マレテ居ルノデアリマス、即チ今御話ノ如ク銘柄取引、即チ何處ノ米、何處ノ米ト云フ米ノ種類モ限ツテ、相對的ニ取引ヲ約束スル、又組合セ銘柄ニ依ツテ取引ヲスルト云フコトダケデモ、格付デ取引ヲシテ無制限ニ一本建ノ、何處ノ米デモ持ツテ行ツテ間ニ合フ取引トハ大イニ趣ヲ異ニ致シテ居リマス、故ニ其ノ銘柄取引ト云フ事柄ダケデモ、私ハ投機抑制ニ對シテハ相當效果ガアルト思ヒマス、又一タビ賣リマシタ以上ハ其ノ米ヲ中途ニ於テ轉賣買戻ト云フコトヲサセナイト云フ事柄モ、私ハ投機ヲ抑制スル大キナ力ガアルドラウト思ヒマス、從來ハ本日百石米ヲ賣ツタ、明日其ノ米ガ安クナツタ、直グニソレヲ買戻ス、其ノ翌日ハ直グニ差金ガ受取レル、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマシタケレドモ、此ノ度ノ本案ハソレハ出來ナイノデアリマシテ、即チ期日々々ニ於ケル、最終ノ期日ニ於ケル所ノ場合ニ於テノミ差金ノ決済ガ認めラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テモ私ハ投機ヲ抑制スル力ガ非常ニ大キイト思ヒマス、又限月ノ上ニ於キマシテモ、期日ガ違ツテ居リマス、或ハサウ云フ多少ノ投機抑制ノ力ガアツテモ、ソレナコトハ必要ハナイ、之ヲ止メテシマツタ宜イデハナ

イカト云フ風ノ北君ノ御意見デアルカモ存ジマセヌガ、兎ニ角遠方ノ米ヲ取寄セテ賣ルト云フ場合ニハ、單ニ十五日ノ未著物取引バカリデハ圓滿ニ參リマセヌ故ニ、其ノ間ニ於ケル所ノ調和ヲ圖ツテ、サウシテ取引ガシ易イヤウニスルト云フコトニ付キマシテモ、多少ハ考ヘナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、今ノ販賣組合等ニ於キマシテハ、洵ニ機構ガ整然ト致シテ居リマシテ、農村カラ都會ニサウ澤山ノ期日ヲ費サズニ集荷シ得ルノデアリマスケレドモ、米穀商人ノ人々ノ集荷機構ト云フモノノ上ニ於キマシテハ、マダ左程マデ發達シナイ點モアリマスノデ、多少ノ期日ハ茲ニ認めテ取引ヲサセルト云フコトガ、市場運用ノ上ニ於テ適當デアラウ、斯様ニ考ヘマシテ斯ウ云フ風ニ決定シタ譯デアリマス

○北委員 實米ヲ持タズニ米ノ賣買ヲスル、是ガ地方ノ米價ニ非常ナル影響ヲ及ボスコトニナルノハ當然デアリマス、即チ立派ナ投機デアアルノデアリマス、デスカラ多少投機ノ抑制ガ出來ル位デ本法ヲヤツテ行クベキモノデハナイト私ハ思フ、此ノ際斯ウ云フヤウナコトハ、モウ根コソギ無クシテシマハナケレバナラス、斯ウ云フ工合ニ思フノデ、ソコデ如何ナル方法ニ依ツテモ投機ノ目的ニサセヌガ爲ニハ、是ハ未著物取引ノ期間ヲ長クスレバソレデ宜イデハナイカ、十五日ト限ラズニ、或ハ必要ノ場合ニハ三十日トサレテモ宜イドラウト思フ、ソレデ實物ヲ賣買サセルコトガ出來ルコトニナルノデアリマシテ空賣買ガ行ハレナクナル、是ガ本法制定ノ本當ノ目的デナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、甚ダ此ノ點ニ付テハ私ハ満足仕兼ネルモノガアル、モウ一步進メテ斯ウ云フ劃期的ナコトヲヤル場合ニハソコマデドウシテモ行カナケレバナラヌノデハナイト私ハ思フノデアリマスガ、モウ一應重ネテ御伺シテ見タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今申上ゲマス通り、從來ノ如ク格付ノ、何處ノ米デモ代用スルト云フ米ヲ標準トシテ賣買スルニアラズシテ、一定シタル地域ノ米ヲ標準トシテ賣買ヲ致シマス以上、實物ヲ持タズシテ賣買スルト云フコトハ、私ハヤツテヤレナイコトハナイト思ヒマスケレドモ、容易ニ是ハ危險デ出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ況ヤ最高最低ノ相場ガ決定サレテ居ルノデアリマシテ、ソコニサウ云フ風ナ投機ヲ容易ニスル餘地ガ餘リ私ハナカラウト思ヒマス、併シ理想ト致シマシテハ此ノ集荷機構ヲモウ少シ整備シテ、サウシテ御話ノ如ク限度ヲ三十日位ナ程度ニ置イテ、未著物取引ヲヤツテ延取引ヲ止メルト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウケレドモ、今日現在ノ所謂米穀取扱業者ノ取扱ツテ居ル米ノ集荷狀態ニ鑑ミ、又米ノ配給狀態ニ鑑ミタ時ニ、先ヅ此ノ程度ニ於テ然ルベシト考ヘタノデアリマス

○北委員 ドウモ満足スルコトハ出來マセヌガ、問題ヲ次ニ移シマス、本案ノ條文ノ上ニモ屢、出テ來ルノデアリマスガ、此ノ委員會ニ於テモ審議ノ途上産業組合ノコトガ多ク論ゼラレルノデアリマス、而シテ其ノ産業組合ノ正體ニ付テ非常ニ認識ノ足ラヌモノガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、産業組合ガ恰モ何方役員ノモノデアアルカノ如ク思ツテ貰ツテハ困ルノデアリマス、申スマデモナク組合員ノモノデ、役員ハ番頭サンニ過ギヌノデアリマシテ、決シテ主人デハナイノデアリマス、能ク役員ノ惡イノヲ産業組合ノ惡イノト混同シテ論ジラレル場合ガアルノデアリマスガ、ドウカ是ハ本末ヲ轉倒セヌヤウニ、農林當局ハ説明ヲシテ、此ノ點ヲハツキリシテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、能ク産業組合ヲ非難スル言葉ニ、産業組合ノ行過ギト云フ言葉ガアルノデアリマスガ、産業組合即チ組合

員ナノデアツテ、組合員即チ農民ト云ツテモ宜イ位ナノデアリマス、斯ウ云フヤウナ考デ物事ヲ見テ載キマスルナラバ、行過ギドコロデヤナイ、今日農民ハ非常ニ經濟的ニ苦シイ立場ニ居ルモノデアリマスカラ、ソコデ金持階級ノヤウニ經濟上ノ問題ヲ應揚ニ取扱ツテ行クコトガ出來ナイノハ事實デアリマス、其ノ結果法ニ許サレタ範圍内ニ於テ最モ合理的ニ活動シテ行カナケレバナラスノデアリマス、實ハ現在ノ農民ノ貧困ダト云フコトハ、此ノ合理的ナ活動サヘ足ラスノデス、行過ギドコロデヤナイ、行キ足ラナイ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、先日本會議デ吾々ノ崇敬シテ居リマサル現ニ此ノ委員ニナツテ居ラレマスル高田サンニ對シテ、眞鍋君ガ、高田サンモ産業組合ノ行過ギ云々ト言ツテ居ラレタト言ツテ、鬼ノ首デモ取ツタヤウナ口吻ヲ漏サレタノデアリマスガ、ソレハ恐ラク此ノ不都合ナ役員ガ、産業組合ノ運営ヲ誤ツテ、サウシテ法規ヲ逸脱シタ仕事ヲシテ居ル分ヲ指シタモノデアルト私ハ思フノデアリマス、多數ノ役員ノ中ニハ、ソシテ惡イ者ハナイトハ私ハ言ハナイノデアリマスガ、併シサウ云フ者ハ段々淘汰サレテ行ク、官廳ガ監督シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フコ

トヲヤラセル筈モナイシ、又組合自體ニ於テモ監事ガ監督ヲシテ居ル組合員全體ガ、又總會ニ於テ一人一票ノ決議權、此ノ決議權ヲ以テ直チニ斯ウ云フ者ヲ淘汰シテ行クコトニナツテ居ルノデアリマシテ、今日ノ農民ト云フモノハ、日進月歩ノ今日デスカラ、是位ノ能力ハ持つテ居ルノデアリマス、デスカラ餘リ農民ヲ見縊ツテ貫ツテハ困ルト思フノデアリマス、農民心理ト云フモノハ現在ニ於テハ産業組合ノ惡口ヲ言ハレルト自分ノ身ノ上ノ惡口ヲ言ハレル位ニ腹ヲ立テルト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマス、ソコデ産業組合ノ意思ハ即農民ノ意思ダト云フ此ノ産業組合ノ正體ヲ、シツカリ把握シテ載クコトガ大切ナノデアリマス、此ノ主觀ガ違ヒマスストソコニ大キナ間違ヲ來スノデアリマス、殊ニ此ノ産業組合ノ非營利公營性ト云フコトニ付テノ考ガ、ハツキリシテ居ラヌトイカヌノデアリマシテ、實ハ昨日モ農林大臣ノ御答辯ノ中ニ、ドウモソレニ似タヤウナ怪シ氣ナ節ガ出テ來マシタノデ、私ハ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、農林當局ハ斯ウ云フ點ニ付テ、ハツキリシタコトヲ此ノ委員會ニ於テ述ベテ置イテ載キマスコトハ、本案ヲ審議シテ行ク上ニ重大ナ關係ガアルト私ハ思フノデア

リマス、此ノ點ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス  
○櫻内國務大臣 私ガドウ云フ言葉ヲ使ヒマシタカ存ジマセヌガ、私ハ産業組合ガ明治三十三年ニ出來マシテ以來、所謂農村ノ中小農業者ノ爲ニ非常ニ貢獻ヲ致シテ、而シテ其ノ發達ノ爲ニ努力ヲ致サレテ居ルト云フコトハ能ク存ジテ居ルノデアリマス、又農業者ヲ保護スル上ニ於テ産業組合ノ穩健ナル發達ヲ希望シテ居ル點ニ付キマシテハ、何人ニモ讓ラナイ考デアリマス、行過ギ云々ト云フ言葉ヲ私ハ使ツタ覺エガナイノデゴザイマスガ、併シ世間ニハ左様ナ議論ヲ爲ス人ガアルヤウデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ十分注意ヲ致シテ研究致シ、又組合ヲ預カツテ居ル方々ニモ深ク此ノ點ニ付テ願ミテ戴イテ、兩々相携ヘテ産業組合本來ノ目的ニ對シテ、進ンデ行クヤウニ致シタイ、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ此ノ機會ニ於テ私ノ考ヘテ居ルコトヲ明ニ致シテ置キマス  
〔馬岡委員長代理退席、委員長著席〕  
○北委員 別ニ大臣ガ行過ギテ居ルト言ハレタトハ私ハ申シマセヌガ、昨日大臣ハ、産業組合ノ全部ニ集荷サセルト、是ハ消費

者ノ不利ニナルト云フ言葉ヲ使ハレタノデ、私ハ驚キマシタ次第デ、ソシテコトガアルベキ筈ノモノデナイ、ナゼサウ云フコトヲ考ヘテ居ラレルカト云フノデ、非常ニ私ハ驚イタノデアリマスガ、産業組合ノ持つ非營利公營性ヲ、大臣ハ御認識ガナイノデハナイカ、甚ダ失禮ナ言分デハアルガ、御認識ガ足ラナイノデハナカラウカ、若シ御認識ガアルトスレバ、サウ云フ御言葉ハ間違ツテモ出ル筈ガナイト思フノデアリマス、併シ決シテ言葉尻ヲ捉ヘテドウ斯ウシヨウト云フノデハナイノデアリマスガ、此ノ際私ハ産業組合側ノ現在考ヘテ居リマスルコトヲ、一ツ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、實ハ産業組合ノ行キ方ハ申スマデモナク階級闘争デハ斷ジテナイノデアリマス、内部ニ於キマシテモハ自由主義經濟ノ長所ヲ、相當認メテ行カウト云フノデアリマシテ、外部ニ對シテモ勿論サウデアリマス、金持モ貧乏人モ、一家ノ家族主義ノヤウナ考デ、溫カイ氣分デ進ンデ行カウト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、是ガ所謂産業組合ノ共存同榮ト言ツテ居ル所以デアリマス、ソコデ資本主義經濟下ニ於ケル非常ニ極端ナル弊害ヲ、小サイ人達ノ協力ニ依ツテ防イデ行カウト云フ――

除カウト云フノデヤナイ、防イデ行カウト云フ範圍デヤラウト云フノデアリマス、社會改新ニ對スル所ノ極端ナル方法ヲ執ラナイノデアリマシテ、多クノ社會改革ノ方ノ人達カラハ、産業組合ノヤウナ生溫イコトデ、ドウシテ此ノ時代ガ改革シテ行ケルカト云ツテ、平素攻撃サレテ居ル位ノモノデアリマスガ、ソレニシテモ實ハ産業組合ニ對シテハ、ソレノヤハリ進シテ行クベキ道、執ツテ行クベキ道ヲ與ヘテ置カナケレバナラヌ、所謂傳家ノ寶刀ヲ一ツ與ヘナケレバナラヌノデアリマス、例ヘバ白米ノ小賣ヲスルト云ツテ所デ、都市ヘ來テ直グニ小賣ガ出來ルモノデハナイ、ダガ併シ小賣ガ出來ルヤウニシテ置クコトガ必要デアル、若シソレガ出來ナイトナルトドウナルカ、産業組合ノ者ハ締出ヲ食フト云フコトニナリ兼ネナイノデアリマシテ、サウ云フヤウナ一ツノ安全瓣ヲドウシテモ拵ヘテ置ク必要ガアルノデアリマス、丁度商工省ノ方ガ來テ居ラレマスカラ、大變參考ニナルト思ヒマスノデ申上ゲルノデアリマスガ、實ハ北海道ノ青豌豆ノ問題ガ起ツタ時ニ、吾々ハ決シテ商人ノ輸出組合ヲ攻撃スルモノデハナイ、輸出組合ニモドン／＼ヤラセナケレ

バナラヌガ、其ノ反面ニ於テ産業組合ニ極メテ「フリー」ナ立場ニ於テ輸出ヲサセナケレバナラヌ、非營利ノナ特長ヲ使ツテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ、主張シタモノデアリマスガ、商工省ハドウシテモ商業者ヲ自分ノ子供ト思ツテ居ル、其ノ商業者ノ方ニ、何ト云ヒマスカ、其ノ方ニ加擔シ易イノデアリマス、サウシテ遂ニ産業組合ノ輸出ト云フモノヲ非常ニ窮屈ニシタ、是ハ何モ産業組合ガ輸出シタカラト云ツテ海外ニ對シテソシナコトハ一ツモナイ、商人達ハ輸出組合ノ組合員デアリナガラ、各自電報ヲ打ツテ各自勝手ナコトヲヤツテ賣ツテ居ルノデアリマス、其ノ中ニ一ツ産業組合ガ入ツタカラト云ツテ決シテ國家的損失ニナルモノデハナイノデアル、ニモ拘ラズ色々ナ理由ヲ付ケテ到頭之ヲ非常ニ窮屈ナモノニサレタノデアリマスガ、其ノ結果今日ハドウナツテ居ルカ、最近私共ノ方デ青豌豆ガドウシテモ動カナクテ困ルカラ倫敦ニ人ヲ調査ニヤツタノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ言ツテ來テ居ルノデアリマス、「英商「ベルグ」ト中村トノ青豌豆輸出關係ニ付テ、倫敦市場ニ於ケル日本産青豌豆沈衰ヲ極メ「ベルグ」以外ノ一般取引業者ハ何レモ日本産ヲ嫌忌シ、實行漸次不良トナ

リ、和蘭產ヲ希望シツツアル状態ナルモ、是ハ倫敦市場ニ於ケル「ベルグ」ト中村トノ結合ニ依リ投機策動ヲナス爲ニシテ、斯ノ如キ投機策動家ニ依リ、爲ニ年々數万磅乃至數十萬磅ノ損失ヲ蒙リツツアルハ國家的ニ見ルモ定ニ殘念ナル次第ナリ、策動方法「ベルグ」一名「バーグ」ハ倫敦市場ニテ大手筋ナリ（猶太系ノ人）、市場ニ於テ相場ヨリ安値ニ空賣シ、他ノ業者ヲ斷然壓倒シ、一方日本ノ輸出業者ニ向ケテハ日本市場ヨリ安値ノ電報ヲ發シ、（中村ノミニ一般業者ヨリ高値）爲ニ小樽相場ガ「ベルグ」ノ電報ヨリ漸次引合相場マデ低落スル、此ノ時「ベルグ」ハ中村ニ買付ケセシメテ兩者ニテ暴利ヲ貪リ居ル仕組ナリ」斯ウ云フ工合ニ言ツテ來テ居ルノデアリマス、ソコデハ營利ノモノニモ非營利ノモノニモソレ／＼特微ガアルノデアリマスカラ、營利ノモノト非營利ノモノト二本建デヤラセテ行クコトハ一方ノ弊害ヲ除ク上ニ於テ又特長ヲ伸バス上ニ於テ極メテ必要デアルノデアリマス、所ガソレヲ何カ摩擦デモ起ルカノ如ク考ヘラレテ、サウシテ斯ウ云フヤウナ問題ニ對シテハ農業者ノ進出ヲ非常ニ不利ニスル、今度ノ法案全體ニ付テ見デモ斯ウ云フ傾ガ随分アルノデアリマス、斯ノ如クシテ

商業者、若クハ農業者ノ利益ヲ擁護シ、或ハ消費者ノ利益ヲ擁護スル爲ノ一ツノ安全瓣デアル、産業組合ト云フ非營利、公益性ノモノ、即チ此ノ一ツノ安全瓣ヲナクシヨウトシテ行クコトハ大ナル危險ガアルノデアリマス、私ハ本法案全體ヲ通ジテサウシタ傾ガアルコトヲ見テ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ今度ノ立法ヲスル上ニ於テ十分注意シナケレバナラヌ點デアルト思フノデアリマスガ、當局ハドンナ工合ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、之ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○新倉政府委員 只今生産者ノ團體ト商業者ノ問題トニ付テ幾々御話ガアリマシタ、青豌豆ノ問題ニ付キマシテハ具體的ニ私モ詳細存ジテ居リマセスカラ、御答スル資格モゴザイマセヌガ、唯一般のニ輸出統制ノ見地カラ、徒ニオ互ニ競争シテ輸出スルコトガ、從來ノ我國ノ輸出貿易ヲ如何ニ阻害シタカト云フコトニ付テハ、北サンモ御承知ノコトト思ヒマス、左様ナ見地カラ或ル程度色々ナ問題ヲ起シタト云フコトハ承知シテ居リマス、次ニ生産團體ト商業者ノ一般のナ問題ニ付キマシテハ、是ハ確ニ吾々トシマシテモ非常ニ難カシイ問題デアアル風ト云フニ考ヘテ居リマス、併シナガラ要ハ此ノ兩者ガ

相剋摩擦スベキモノデナクシテ、如何ニシテ提携協力スルカト云フ問題デゴザイマシテ、此ノ根本ノ方針ニ付テハ何人モ異存ガナイコト存ジマス、唯具體的ニドウスルカト云フコトニ付テハ色々ナ問題ガアルト思ヒマスノデ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ從來ニ於キマシテモ農林商工兩省デ、相當御協議申上ゲテ居リマスガ、今後ニ於キマシテモ一段ノ工夫ヲ要スルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○北委員 此ノ法案全體ヲ眺メテ見マスツト、ドウモ農業者ノ利益代表デアル産業組合ダケヲ縛ツテ、西川君ノ言ハレルヤウニ二世紀前ノ法律デ以テ、モウ時代ノ過ギタ不合理ナモノヲ擁護ショウトシテ居ルガ爲ニ、是ハ非常ニ無理ノアル點ガ見エルノデアリマス、今度ノ問題ニ對シテハ農民全體ハ非常ナ不滿ヲ持ツテ居リマス、コンナコトヲヤツテ百姓ノ頭ヲ押ヘテドウスルノカト云フ不滿ヲ持ツテ居ルノデアリマス、大體一般ノ觀念ガ農民ヲ搾取ノ對象物トスルコトヲ平氣デ居ラレル、是ハ當リ前ダト云フヤウニ考ヘテ居ルヤウデアリマス、此ノ觀念ガ流レテ居ツテハイカスノデアリマス、日本ノ農民ガ現在大不滿ヲ持ツテ居ルノハ、斯ウ云フヤウナ觀念ノ流ニ對シテデ

アリマス、今後日本ハ大陸發展ヲシテ行カナケレバナラス、支那ノ農民ヲ指導誘掖シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニ、コンナ日本ノ農民サヘモ不平ヲ言ツテ居ルヤウナ行キ方デ、ドウシテ支那ノ農民ヲ日本ニ惹付ケテ行クコトガ出來ルカ、私ハ戰爭ハ決シテ武力ダケデハ濟マスト考ヘテ居ルノデアリマス、日本ノ農村ハ斯ノ如ク直ツテ來タゾ、日本ノ觀念ハ斯ノ如ク變ツテ來テ居ルゾ、百姓ヲ搾取ノ對象ニシテハ居ラスノダ、ソシテ農民ノ生活狀態ハ良クナツテ來テ居ルゾ、社會的地位モ良クナツテ來テ居ルゾ、ダカラ支那モ此ノ通りニヤツテ行カナケレバナラス、斯ウ言ツテ支那農民ヲ惹付ケテ行ク、即チ支那國民ノ八割以上ヲ占メテ居ル所ノ農民ヲ惹付ケテ行クト云フコトガドウシテモ出來ナケレバナラス、此ノ大事ナ新秩序ノ建設ヲシナケレバナラス時ニ、日本國內ニ於テ此ノ態デハ大變デアル、到底支那農民ヲ日本ニ惹付ケル資格ハナイ、斯ウ云フ意味ニ於テモ、ドウシテモハ農民ヲ搾取ノ對象物ニスルト云フ考ヲ根柢カラ直シテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、折角農民ガ國家ニ忠義ヲ盡シ、至誠ノアリツタケヲ國家ニ盡シテ居ルノニ、其處ニ妙ナ法律ガ出來テ、農

民ニ一大不滿ヲ持タセルト云フヤウナコトガアツテハイカス、所謂羊頭狗肉ノ此ノ法律案ガ通過シテ行クヤウナコトガアツテハイカス、斷ジテイカスト私ハ思フノデアリマス、農林大臣ハ本案ハ農業者ノ生活ヲ安定サセルコトト、モウ一ツハ消費者ニ對シテ食糧品ヲ安ク確保シテ行クコトガ大事ダト言ハレテ居リマスガ、此ノ法律全體ヲ眺メテ見ルトサウ云フ所ハ一ツモアリハシナイ、商人ノ擁護バカリデアル、片ツ端カラ商人ノ擁護ニナツテ居ルノデアリマス、何處ニ農民ノ爲ニナル所ガアルカ、農民ノ生活ガ安定出來ルヤウナ所ハ一ツモアリハセヌ、斯樣ナ法律ニナツテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモ斯ウ云フ根柢ノ流ヲ直シテ行クト云フコトデナケレバナラスト思フノデアリマス、百姓ヲ馬鹿ニシ切ツタヤウナ、差別的に行キ方ハドウシテモ除カナケレバナラス、サウデナケレバ恐ラク生産力ノ擴充ハ遂行出來マセヌ、是ハ感情的ニ言フノデハナイ、實際上經濟上動キガ付カナクナル、ソコデ生産ガ擴充出來ナクナルト云フコトニナルノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ根本カラ考ヲ直シテ貫ハナケレバナラスト思フノデアリマスガ、一ツ御所見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○櫻內國務大臣 私共ハ今北君ノ御意見ノ如ク、農民ノ利益ヲ眼中ニ置カズシテ、總テノコトヲヤツテ居ルト云フ風ナ精神ハ毫末モ持ツテ居リマセヌ、如何ナル場合ニ於テモ、農家ノ現在ノ人々ガ、殆ド國家ノ中樞トモ言ハルベキ立場ニ在ルノデアリマシテ、之ヲ擁護シ、此ノ健全ナル發達ヲ期シ、同時ニ其ノ生活ノ安定ヲ期スルト云フコトニ付キマシテ、有ユル努力ヲ致スト云フコトニ付テハ、申スマデモナク考ヘテ居ルノデアリマス、今農村ニ於ケル狀態ガ一番不利ナ狀態ニ在ルコトハ、是ハ私モ確ニ認メマス、即チ勞力ガ不足シテ居ル、肥料モ思フ通りニ廻ラヌ、馬モ少クナツタ、サウシテ生産力ハ擴充シナケレバナラス、然ルニ生産資材ハ高クナツタ、生産物ハ思フヤウニ高ク賣レナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ、其ノ擔ハサレタル大任ヲ發揮シナケレバナラスノデアリマスガ故ニ、農村ノ今日ノ現狀ト云フモノハ、私共カラ言フト確ニ農民精神ノ發露ニ依ツテ、農村ノ總力ノ協和ニ依ツテ、此ノ時難克服ニ對シテ邁進シテ居ル場合デアリマシテ、深く敬意ヲ拂フト同時ニ、何トカシテ農民ノ負擔ヲ輕減シ、農民ノ人々ノ生活ノ向上ヲ安定ヲ期スルト云フコトニ對シテ、全力ヲ擧ゲテ行キタイト思ツ

テ、晝夜苦慮シテ居ル譯デアリマス、唯吾  
吾ガ現在採リツツアル所ノ事柄ニ付キマシ  
テモ、色々ナ非難モアリマセウ、又足ラヌ  
所モアリマセウ、アリマセウガ、少クトモ  
精神ハ農民ノ爲ニ、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘ  
バ、國家ノ爲ニ其ノ向上發展ニ對シテ力ヲ  
盡スト云フ點ニ付キマシテハ、決シテ一日  
モ忘レテ居ルモノデハナイト云フコトヲ申  
上ゲマシテ御答ト致シマス

○北委員 産業組合ノ今行ツテ居リマスコ  
トハ非營利デアアルコトハ勿論デアリマス、  
公益性ト云フ點ニ就テ組合ノ米ノ取扱ヒガ  
ビツタリ一致スルト云フコトヲ申上ゲテ見  
タイノデアリマス、産業組合ノ米ノ賣リ方  
ハ、既ニ農業界ノ人ナラ誰デモ御存知ダト  
思フノデアリマスガ、是ハ無條件委託平均  
賣ガ原則ニナツテ居リマス、何處ノ産業組  
合デモ農民ニ對シテ之ヲ獎勵シテ 居ルノ  
デアリマス、是ハ農民ト云フモノハ商人ノ  
ヤウニ、其ノ日ノノ相場デ動イテハイケ  
ナイ、又ソナ動クベキ性質ノモノデハナ  
イノデアリマス、モウ一ツハ實ハ現在ノ農  
業者ハ非常ニ貧困ナ立場ニ居リマス爲ニ、  
生産シタ米ハ全部出來秋ニ農業倉庫ニ持ツ  
テ行ツテ、實ハ筒一ツパイニ金ヲ借りテ  
居ル、普通ノ擔保デ借リルト七掛カ八掛シ

カ貸サナイノデアリマス、併シ無擔保デ金  
ヲ貸スヨリハ品物ヲ擔保ニ金ヲ貸シタ方ガ  
安全デアアル、若シ賣却シタ時金ガ足ラナカ  
ツタラ信用デ責任ヲ負ヘト云フノデ、筒一ツ  
パイニ金ヲ貸シテ居ルノデアリマス、隨テ  
貸ス方ノ安全感ノ上カラ云ツテモ、是ハ若  
シ農家ガ筒一ツパイニ借リタモノヲ見込ヲ  
サレテハ堪ラヌ、ソコデサウ云フヤウナ見  
込ヲ斷ジテヤツテハイケナイト云フヤウナ  
條件ヲ付ケテ、サウシテ平均賣ニサシテ居  
ルノデアリマス、米ノ需要ハ御承知ノ通り  
ニ毎日々々平均ニ食ベテ行クモノデアリマ  
スカラ、平均賣ノ方法ハ是ハ一番理想的デ  
アリマス、投機モナケレバ見込モ何モアリ  
ハシマセヌ、斯ウ云フヤウナ行キ方ヲシテ  
居ルノデアリマシテ、是ハ偶然ニモ組合ノ  
此ノ米ノ賣リ方ハ現ニ社會ノ要求スル公益  
性トビツタリ一致シテ居ルト云フコトニナ  
ツテ居ルノデアリマス、産業組合ノ理事者  
ガ往々ニシテ投機ヲヤルト云フヤウナコト  
ヲ考ヘテ居ル人ガアルヤウデアリマスガ、  
ソレハ絕對ニナイ、何故カト言フト、先程  
モ言フ通り組合員ノ組合デアリマス、若シ  
投機デ儲ケテ、是ダケ儲ケマシタト云ツテ  
總會デ假ニ報告ヲシタトスルト、ソレハ組  
合員ハ斷ジテ喜ビマセヌ、投機デ儲カル反

面ニハ必ズ損ヲスルコトガアル筈デス、ソ  
ナ金ハ決シテ欲シクナイト言ツテ、産業  
組合ヲ自分自ラガ守ラナケレバナラヌ爲ニ、  
組合員ガ承知セヌノデアリマス、儲ケタ所  
デ其ノ金ノヤリ所ガナイノデスカラ産業組  
合ハ投機ヲスルト云フヤウナコトハ絕對ニ  
ナイノデアリマシテ、米ノ取扱ヲサセルト  
云フコトニ付テハ、是ハ全ク産業組合ノヤ  
ツテ居ルコトハ期セズシテ社會ノ要求シテ  
居ル線ニビツタリ一致シテ居ルノデアリマ  
ス、斯ウ云フヤウナ賣リ方ヲスル者ハ恐ラ  
ク商人ニハアリマセヌ、商人ニハ平均賣ト  
云フモノハアリマセヌ、此ノ間ドナタ  
カ言ハレタ通り、商人ハ利ニ依ツテ動ク  
ノデアリマス、利ガナケレバヤライノ  
デ、決シテ商人ニハ斯ウ云フコトハ出來  
ナイコトデアリマスガ、農民ハ否デモ  
應デモ斯ウシテ行カナケレバナラヌト云フ  
コトニナツテ居ルノデアリマスカラ、米ノ  
取扱ヲサセルモノトシテハ是程理想的ナモ  
ノハナイト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、  
併シナガラ斯ウ言ツタカラト云ツテ商人ヲ  
排除セヨトハ言ヒマセヌ、ヤハリ商人ニハ  
商人トシテノ特長モアルノデアリマス、デ  
アリマスカラ此ノ特長ハ何處マデモ伸バシ  
テ行ク方ガ宜シイ、サウシテ兩々相俟ツテ

切磋琢磨デアレバ宜イ、一方産業組合ノミ  
ヲ縛ツテ、サウシテ舊時代ノ遺物ノ米ノ取  
引商ノ人達ダケガ羽振リヲ利カシテ行カウ  
ト云フノハ、是ハ不都合千萬ヲ考ノ持チ方  
デアリマス、米ノ取扱ヲ所謂商人ノ營利本  
位ニノミサセルト云フコトハ、決シテ國家  
ノ公益性ト云フヤウナコトト一致スルモノ  
デハ斷ジテナイノデアリマス、ソコデ産業  
組合ノ頭ヲ此ノ際決シテ抑ヘルベギモノデ  
ハナク、産業組合ハ産業組合デ何等ノ束縛  
ナシニドンノ進メテ行クガ宜シイ、又商  
人ニハ商人デヤラセルガ宜イ、斯ウ云フヤ  
ウニ考ヘルノデアリマス、サウナルト商人  
ハ段々ナクナルデハナイカト考ヘラレルカ  
モ知レナイガ、實ハ先程モ一寸申上ゲタヤ  
ウニ、産業組合ト云フモノハ無暗ニ組合員  
ヲ縛ツテ居ルノデハナイ、組合加入自體ガ  
任意加入デアツテ、決シテ強制加入ヲサセ  
テ居ナイ、平素取扱ツテ行クコトモ、決シ  
テ組合員ヲ束縛シナイ行キ方ヲシテ居ルノ  
デアリマス、デスカラ商人ノ伸ビルコトニ  
ハ決シテ吾々ハ不平ヲ言ツテ居ラヌノデア  
リマス、隨テ一方ダケヲ縛ツテ行カウト云  
フヤウナ行キ方デナシニヤツテ行ツテ貰ハ  
ナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ド  
ウモ此ノ法案全部ヲ見ルト、産業組合ダケ

ヲ縛ルヤウニ見エル、所ガ反産ノ連中ハ實ニ大袈裟ナコトヲ言ヒマシテ、産業組合ハ何モカモヤツテ、白米小賣モ全部取ラレル、自分等ノ業務ハ全部ナクナル、斯ウ云フ宣傳ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、決シテソシナカラ産業組合ハ持ツテ居ラス、又ソシナ惡辣ナコトヲヤルモノハナイノデアリマス、明治三十六年ニ産業組合法ガ施行サレテ、四十年ノ年限ヲ闕シテ居リナガラ、産業組合ノ現在取扱ツテ居ル米ノ數量ハ全生産額ノ三分ノ一シカニ達シテ居ラス、之ヲ見タダケデモ産業組合ハ決シテ飛躍的ニ進ムモノデモナケレバ又ソシナ排他的ナ商人ヲ除カナケレバナラスト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデハナイ、寧ろ色々ナ事デ農民ニ不利ナ立場ニナル部分ニ對シテ、防禦的ニ行カウト云フ考デ居ルノデアリマス、隨テ商人ガ普通ノ行キ方ヲシサヘスレバ、産業組合ト云フモノハ伸ビナイモノデアリマス、サウ云フ性質ノモノデアリマス、商人ガ惡辣ナ事ヲスレバスル程産業組合ハ伸ビテ行ク、ダカラ商人ガ正シイ仕事ヲシテ居サヘスレバ斷ジテ産業組合ハ伸ビナイ伸ビナイト云フコトハナイガ、左程急激ニ伸ビルモノデハナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ一ツ根本的ニ頭ニ入レテ置イデ戴カスト極メテ安價ナ同情

ヲ商人ニ與ヘテ、サウシテ大事ナ三千万農民ノ立場ヲ苦シクサセルト云フコトニナツテシマフノデアリマス、此ノ點ニ付テ當局ハ私ノ見解ニ間違ガアルト云フ工合ニ觀ラレルカドウカ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

○櫻内國務大臣 本法案ニ於テハ御承知ノ通り其ノ市場員タル者ハ生産者ノ團體及ビ米穀取扱業者、是等ヲ何レモ入レテ居ルモノデアリマシテ、別ニ産業組合ヲ排他的ニ斥ケルト云フヤウナ意味ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、又産業組合ガ中小農業者ノ生産品ヲ委託ヲ受ケテ販賣スルト云フコトニ付キマシテ順次發達シツツアルト云フコトモ吾々認メルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ別ニ北君ト意見ヲ異ニシテ居ルトモ考ヘマセヌ、唯先程モオ話ニナリマシタガ、産業組合ニ全部取扱ハシタソレハドウモイカヌデハナイカト云フコトヲ私ガ言ツタ、斯ウ云フオ話デアリマシタガ、其ノ點ハ私ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデス、先ヅ十年二十年先ハ別デアリマスガ、今日ノ時代ニ於テハ、所謂生産者ノ團體ノ方々ト、消費者ノ團體ノ方々ト、サウシテ其ノ間ニ立ツテヤハリ集荷機關ヲ持チ、販賣機關ヲ持ツテ居ル所ノ米穀取扱業者トノ三者一體トナツテ米穀ノ配給ヲ完成スベキモノダ、斯様ニ考ヘテ居ルノデア

リマス、何故ナラバ之ヲ人間ニ譬ヘテ言ヒマスレバ、此處ニ一人ノ人間ガ米ヲ持ツテ居ル、一人ノ人間ハ米ヲ持ツテ居ナイ、持ツテ居ナイ者ハ必ズ買ハナケレバナラス、持ツテ居ル者ハ剩ツテ居ルカラ賣ラナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニ於テ、其ノ二人ノ者ガ唯取引ヲスレバ簡單ニ行クヤウデアリマスケレドモ、其ノ間ニ一人居テ、俗ニ謂フ仲人ト申シマスガ、自由自在ナ立場ノ人ガ居リマス、茲ニ圓滿ニ其ノ取引ガ行ハレルノデアリマス、今日ノ狀態ト致シマシテハ、三建ト云フ言葉ヲ使ツテハヨカシイカモ知レマセヌガ、三建デ發達シテ行クノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居リマス

○北委員 配給機關ノコトニ付テドウモ考ニ大變隔リガアルヤウデアリマスガ、私ハ決シテ商人ハ要ラスト言フノデアリマセヌガ、併シ産業組合ダカラト云ツテ決シテ百姓ガ直接來テ賣ルモノデハナイ、百姓ノ機關デアアル産業組合ノ代表ニソレノ系統ノ者ガ來テ賣ルノデアリマシテ、決シテ大臣ガ考ヘラレテ居ルヤウニ、生産者ト消費者ダカラ其ノ間ニ、直グソシナ行キ方ガ出來ナイ、仲人ガ要ルト言ハレルヤウナ、サウ云フ性質ノモノデハナイ、是ハ一ツ能ク嚙ミ分ケテ御考置キヲ願ヒタイ、ヨク世

間デハ配給機關ノコトニ付テ色々ナコトヲ言ハレルノデアリマスガ、産業組合ハ立派ナ配給機關ノ仕事ヲシテ居ル、是ハ何モ直接ニ農家ガ米ヲ持ツテ來テ賣ルモノデハナイノデス、又自分等ノ購買品ニシテモ其ノ通り産業組合ノ職員ノ人達ガ代ツテ配給シテ行クノデアリマシテ、是モ極メテ「スムー」ニ行ツテ居ルノデアリマス、ヨク世間ニハ産業組合ガアレバ配給機關ハ要ラナクナルトカ、配給機關ナシニハ立ツテ行カスト云フヤウナ説ヲ爲ス人ガアルノデアリマスガ、産業組合ハ立派ナ配給機關デアアル、之ヲ一ツ間違ハヌヤウニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ是カラ條文ニ付テ申上ゲテ見タイト思フノデアリマスガ、第一ニ本法ノ二十九條ノ二項、三項ニアリマスル麥、大豆、雜穀、肥料等ヲ市場ニ掛ケルト云フ問題デアリマスガ、是ハ實ハ各市場ノ定款ニハアルヤウデアリマスガ、事實上小樽ニ於テモ神戸ニ於テモ實際取扱ヲシテ居ラス、殆ド相對賣買デ出來テ居ル、其ノ價格ヲ單ニ新聞デ發表シテ居ルニ過ギナイト云フノデアアル、斯シナモノヲ此ノ大事ナ米穀問題ノ取扱ノ副産物ノヤウニシテ此ノ中ニ加ヘラレルコトハ大キナ間違デアルト思ヒマス、サウ云フコトヲスルトドウナルカト云フコト

ヲ一ツ考ヘテ見マス、是ハ農業者トシテ非常ニ困ル、例ヘバ小麦ニ付テ申シマス、小麦ハ五大製粉會社ヲ相手ニシテヤツテ居リマスガ、其ノ賣リ小麦ノ半分以上ガ全販聯ノ取扱ニナツテ居ルガ、サウ云フ場合ニ於テモ全販聯ハ決シテ無謀ナコトハヤツテ居ラナイ、製粉價格カラ計算ラシテ會社側トノ間ニ値段ヲ決メテ行ツテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、今ノ所農村ガ非常ニ有利ノ立場ニ居ルノデアリマス、所ガ之ヲ市場ヘ持ツテ行クトドウナルカト云フト、相手が少イカラ直チニ彼等ノ中デハ談合ヲスル、斯ウ云フヤウナコトガアリ得ルノデアリマス、或ハ少數ノ作爲値段ヲ造ツテ、ソレデ大量ノモノヲ攪亂スル、斯ウ云フヤウナコトモアリ得ルノデアリマシテ、是ハ農業者トシテハ洵ニ困ル、斯ウ云フ條項ヲ加ヘテ、斯ウ云フ物マデ市場デ取扱ハセテ貰ツテハ農民ハ非常ニ不利ニナル、斯ウ云フコトニ付テハ當局ハ、米ハ米ノ問題トシテ純粹ニ取扱ツテ行クト云フ御考ハナイカ、之ヲ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス

○周東政府委員 御答致シマス、二十九條二項ノ仕事デアリマスガ、是ハ本會社ノ本來ノ事業トシテ考ヘタ譯デハアリマセヌノデ、本會社ニ於ケル事業トシテハ何處マデ

モ米穀ノ配給統制上ノ必要カラ致シマシテ、之ニ關スル市場ノ單一化及ビソレニ伴フ各種ノ仕事ヲヤセル譯デアリマスガ、唯此ノ法制ガ出來マスル結果、從來米穀ノ取扱ヲ致シテ居リマスル市場ニ於キマスル米ノ關係ヲ全部ソチラニ取扱ハセルヤウニナリマス、或ハ從來ノ麥其ノ他ノ雜穀等ノ取扱ニ付テ支障ヲ起ス場合ハナイカ、斯ル場合ニ於キマシテ全然ソレガ爲シ得ナイト云フヤウナコトニナツテハ不便デアリマスノデ、其ノ範圍ニ於キマシテ此ノ會社ニ於キマシテモ政府ノ認可ヲ受ケテヤリ得ルト云フ形ヲ整ヘタマデデアリマシテ、之ニ依リマシテ米ノヤウニ他ノ方デ麥、雜穀等ノ取扱ヲシテ居ルモノヲ全面的ニ禁止シテ茲ニ統一シテ行クト云フヤウナ考ハ持ツテ居ラスノデアリマス、從來ヤツテ居リマスモノガ急ニ、直チニヤレナクナルト云フコトガアツテハ不便デアラウト云フコトノ爲ニ斯ウ云フ規定ヲ置イタノニ過ギナイノデアリマス

○北委員 ソレハ此ノ儘ニ殘シテ置イテモ出來ヌコトハナイト云フコトナシマス、東京人絹ノ如キハ既ニ殘ツテ居ルケレドモ其ノ儘ヤツテ居ル、斯ウ云フノデアリマシテ、強ヒテソナ理由デ此ノ中ニ加フベキモノ

デハナイト思フノデアリマス、斯ナコトガ法文ニアリマス、將來之ヲ如何ニ利用サレルカ分ラヌ、農林當局ハ今ソナ一時的ノ暫定的ノヤウナコトヲ言ツテ居ラレルノデアリマスガ、是ガ法文ニアルト、是ハ將來ドンナ工合ニ利用セラレルカ分ラヌノデアリマシテ、或ハ業者ノ投機ノ材料ニナル憂ガ十分アルノデアリマス、ソナ危險ナモノハ茲ニ置ク必要ハナイ、此ノ間モ或ル人が言ツタ、是ハ盲腸的存在ダ、何モ役ニ立タナイモノヲ入レテ置イテ、後ニハドンナコトニナツテ爆發スルカ分ラナイト云フヤウナ言葉ヲ使ツテ居ツタヤウデアリマスガ、ソナ危險ナモノヲ暫定的ナト云フ理由デ此ノ米ノ一貫シタ法律ノ中ニ入レル必要ハ斷ジテナイ、是ハ取殘サレテモ獨リデ別ニヤレルト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御考ヲ承リタイノデアリマス

○周東政府委員 御話ノヤウニ麥ナリ其ノ他ノモノニ付キマシテハ、ソレノ其ノ價格ノ統制ナリ、市場ノ問題モ、外ノ方面デ出來ルモノモアルノデアリマス、唯急激ニ從來ヤツテ居ツタ場所ニ於テアレナイ、其ノ地方ニ於テ賣買取引ヲスル市場ガナイト云フコトニナツテ、不便ニナツテハ困ルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ考慮ニ入レマシ

テ規定ヲ置イタノデアリマス、併シナガラ此ノ點ハ、若シ此ノ會社ニ於テ其ノ必要ヲ認メル場合ニハ、十分ニ各般ノ事情ヲ考ヘマシテ、之ヲ認可スルコトニナラウト思ヒマスカラ、御心配ノヤウナ事柄ハ起ラスノデハナイカト考ヘテ居リマス

○北委員 實際問題トシテ、一向ヤツテ居ラスモノヲ強ヒテサウ云フ所ニ入レテ置ク必要ハナイト私ハ思フ、毎日活潑ニヤツテ居ツタノデ、斯ウ云フモノガナケレバ困ルト云フノトハ違フ、實際調査ヲシタ結果ハヤツテ居ラスト云フノデス、サウ云フモノハ斷ジテ除イテ置カナイト、後日非常ニ問題ノ種ニナルト思フノデアリマス、併シ是レ以上ハ申シマセヌ、其ノ次ハ今度ノ法律案デ何故購買組合ヲ買市場員ニシナカツタカト云フコトデアリマス、御承知ノヤウニ産業組合ハ一面ニ於テ生産者ノ團體デアリマスガ、併シナガラ又一面ニ於テハ、是ハ消費者ノ大キナ團體ダト思フノデス、其ノ組合員ノ中ニハ米ヲ作ラザル者、或ハ農業ヲシテ居ラス者、米ヲ作ツテモ足ラナクテ買ハナケレバナラス者、斯ウ云フヤウナ人達ガ澤山アルノデアリマシテ、其ノ取扱フ米ノ量ハ決シテ少クナイノデアリマス、生活ノ必需品デアル米ニ對シテ、購買組合ガ

此ノ市場ノ買市場員ニナルコトガ出來ナイ  
ト云フヤウナコトデハ、非常ニ困ツタコト  
ニナルノデアリマス、成程五日以内ノ現物  
ハ買フコトガ出來ルト云フコトヲ説明サレ  
テ居ルヤウデアリマス、成程五日以内ノ現物  
ハ法律ニアル譯デモナイヤウデアリマス、  
唯御説明ニアルダケデアリマス、ソレカラ  
假令現物ヲ買ヘルトシテモ、大量取引ニナ  
リマス、是ハドウシテモ市場員カラ買ハ  
ナケレバナラスコトニナツテ來ルノデアリ  
マス、其ノ市場員ノ取ル利益ダケハ購買  
組合ガ高ク買ハナケレバナラス、ソレデハ  
結局購買組合ノ仕事ハ成立タナイ、購買組  
合ノ仕事ノ閉出シニナツテシマフト云フコ  
トニナルノデアリマス、更ニ特ニ臺灣米或  
ハ朝鮮米ノ方ハ全販聯デハ買フコトガ出來  
ナイ、御承知ノヤウニ全販聯ハ賣リ一方ナ  
ノデスカラ買フコトガ出來ナイ、隨テ全購  
聯、其ノ他購買組合ガ是ノ買入ヲスルコト  
ハ出來ナイト云フコトデアアルナラバ、是ハ  
大變ナ問題ニナルノデアリマス、當局トシテ  
ハドウシテモ購買組合ヲ買市場員ニシナ  
ケレバ、先程カラ言ツタヤウニ購買組合ハ  
全ク閉出シラ喰フ、即チ農業者ハスツカリ  
頭ヲ抑ヘラレコトニナルノデアリマスガ、  
當局ニ其ノ意思ナキヤ、之ヲ承ツテ置キタ

イト思ヒマス  
○周東政府委員 御話ノ點御尤デアリマス  
ガ、只今ノ所直ニ買市場員ニナル必要ハナ  
イノデハナイカ、斯様ニ只今ハ考ヘテ居リ  
マス、購買組合ハ小賣商人同様ニ必要ナル  
實米ヲ實米市場ニ於テ直接市場員タル人カ  
ラ買ヒ得ルコトデモアリマス、殊ニ購買  
組合ノ性質上、餘リ先ノ見込ヲ付ケテ多ク  
ノ購入ヲシテ分ケルト云フコトハ却テ如何  
カト思ハレル、大體ノ組合員ノ實需ニ應ジ  
テ隨時實米市場カラ買ツテ參ルト云フコト  
ニシタ方ガ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ參リ  
マス、只今ノ所是等ノ購買組合ヲ買市場  
員ニ爲ス必要ハナカラウト云フ風ニ考ヘテ  
居リマス  
○北委員 サウスルト結局購買組合ヲ閉出  
シテモ宜イト云フアナタ方ノ御説ニナツテ  
シマフ、即チ購買組合ハ此ノ市場員カラ買  
ハナケレバナラス、サウスルト其ノ市場員  
ノ手數料ダケハ商人ヨリモ高イモノニナル  
ノデアリマス、隨テ高イモノハ誰モ買ヒニ  
來ヌ、是ハモウ購買組合ノ事業制限デアッ  
テ、産業組合ハ斷ジテ之ニ賛成スルコトハ  
出來ナイ、重大問題ガ惹起スルト思フノデ  
アリマス、サウ云フヤウナ簡單ナ御考デ、  
購買組合ニ對シテ差別待遇ヲスル必要ハ斷

ジテナイト思フ、商業組合ハ全部此ノ購買組  
合員ニナルコトガ出來ルデアリマセヌカ、  
然ルニ同ジ立場ニ居ル産業組合購買組合ニ  
對シテ差別待遇ヲシタラドウナリマスカ、  
是デ斷ジテ購買組合ノ發達ヲ抑ヘ、購買組  
合ノ頭ヲ抑ヘテシマフト云フコトナラバ別  
デアルガ、サウデナイ限り、先程カラ申ス  
ヤウニ、二本建デ行クベキデアル、然ルニ  
ナゼサウ窮屈ニシナケレバナラスノカ、ソ  
シナ犠牲ヲ農民ニ負ハセルコトハイカスト  
思フ、此ノ法案ヲ眺メタ時ニ、全部百姓ガ  
頭ヲ抑ヘラレルヤウニナツテ居ルト云フコ  
トヲ先程申上ゲタガ、ソレハ現ニコデモ  
サウナツテ居ル、是ハ否定スルコトハ出來  
マイト思フ、購買組合ヲ買市場員ニセヌト  
云フヤウナコトハ、大變ナ間違ヒデアルト  
思フガ、重ネテ御伺シテ見タイト思ヒマス  
○周東政府委員 購買組合ハ現在ノ小賣商  
ト同ジヤウニ、今日ノ狀態ト少シモ變ヘテ  
居ラスノデアリマス、今日モ必要ガアレバ  
正米市場ニ於テ市場員カラ買ヒ得マス、或  
ハ直接產地ト連絡シテ買ツテ居ルノガ實情  
デアリマス、其ノ事柄ヲ本法デハ少シモ變  
ヘテ居リマセヌ、ソレガ爲ニ特ニ購買組合  
ヲ除外スルト云フヤウナ意味合ニナツテ居  
ラズ、寧ろ現状ノ儘ニ置イテ購買組合ニ必

要ナル米ヲ買ハセルト云フヤウニ考ヘテ居  
ル譯デアリマス  
○北委員 ソレハ今マデノヤウナ内地米ダ  
ケヲ取扱ツテ居ツタ時ト違フノデアリマス、  
今度ノ機構ニ於テハ、臺灣米、朝鮮米ガ今  
度ノ市場デ獨占的ニ扱ハレルノデアリマス、  
ソコデ此ノ臺灣米、朝鮮米ヲ購買組合ニ扱  
ハセヌト云フコトニナツテシマツタナラバ  
ドウナルカ、全國ノ農民ノ生活ハドウナル  
カ、買ハナケレバナラス人達ハドウナルカ、  
之ヲ一ツ考ヘテ貰ハナケレバナラスト思ヒ  
マス、斯ウナツタ新事態ニナツテ來ク以上  
ハ、其ノ新事態ニ合フヤウナ法律ニシナケ  
レバナラス、從來斯ウ云フ臺灣米、朝鮮米ガ  
市場ニ於テ獨占サレテ居ラナツタ時ト全  
然違フ、斯ウ云フヤウナ時ニ此ノ問題ヲ從  
來通りニ考ヘテ居ラレルノハ大變ナ間違ヒ  
デアルト思フ、之ニ付テ御考ヲ承リタイ  
○周東政府委員 只今申上ゲタヤウニ、只  
今ノ所ハ從來通りノ行キ方デ宜カラウト考  
ヘテ居ルノデアリマス、將來ニ於キマシテ  
ハ是非其ノ點ハ能ク考究致シタイト思ヒマ  
ス  
○北委員 ドウモ新事態ニナツテモ、只今  
ノ所デハソレデ宜イト云フヤウナ無責任ナ  
御答辯ハ、吾々ハ承服スルコトガ出來マセ

ス、併シ是レ以上ハ討論ニナリマセウカラ、次ニ移ツテ行クコトニ致シマス、其次ハ米ノ賣買ノ免許制ノコトデアリマス、是ハ恐ラク白米ノミニ限ツタ小賣ノコトカト思フノデアリマスガ、第一ニソレカラ承ツテ見タイト思ヒマス

○周東政府委員 御質問ノ點ガ少シハツキリ致シマセヌガ、此ノ第一條ノ許可ヲ致シマスル對象ハ、白米ニ限ラズ、米穀ノ買入若クハ賣渡又ハ其ノ代理若クハ媒介ノ業務ヲ爲ス者ニ付キマシテノ許可制デアリマス、御質問ノ點ガ、此ノ免許ヲ受クル場合ニ於ケル生産者團體等ニ付キマシテ、其ノ範圍ハドウカト云フ御質問デゴザイマスト、只今ノ御意見ノ通り、販賣組合ノ白米ノ小賣ニ付テノ許可ヲ受クル必要ヲ茲ニ規定スル積リデアリマス

○北委員 販賣組合ノ米ノ取扱ニ對シテ、是ハ私ハ免許ハ全然要ラスモノデヤナイカ、此ノ免許ノ範圍外ニ置クベキモノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレハ組合ノ仕事ノ性質上、當然サウナルベキモノデヤナイカト思フノデアリマス、勿論今マデ米ヲ扱ツテ居ツタ組合ハ、是ハ既得權デアツテ、恐ラク免許サレタト同様ニナルドラウト思フノデアリマスガ、將來販賣組合ガ、白米

ヲ販賣スル目的デ出來タ場合ニ、之ヲ政府ガ免許シナイト云フヤウナコトガ若シアツタトシタナラバドウナルカ、是ハ販賣組合ノ目的ヲ全然没却シテシマフコトニナルト思フノデアリマス、當局ハマサカ産業組合ニ對シテマデ免許制度ヲオヤリニナルノデハナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ハツキリ承ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノヤウニ、産業組合トカ或ハ商業組合ト云フヤウナモノニ付キマシテ、ソレノ其ノ設立ノ許可ヲ致シ或ハ其ノ定款ノ認可ヲ致スト云フヤウナ場合ニハ、ソレノ其ノ標準ノ法律ガアリマス、今御話ノヤウニ、販賣組合ハ組合員ノ生産シタル米ノ賣却ヲ爲スコトガ目的デ出來ル組合デアリマスノデ、其ノ性質上カラ致シマス、産業組合ノ設立許可ヲ受ケタモノハ、別ニ此ノ本法ニ依リ更ニ許可ヲ受クル必要ハナイ、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ除イテアリマス、但シ販賣組合ガ更ニ進ミマシテ、米穀ヲ精白致シマシテ、個々ノ消費者ニマデ配給スルト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、是ハ新シイ事態ニ即シマシテ、其ノ地方ニ於ケル米ノ配給事情等ニ鑑ミマシテ、之ニ付テ許可制ヲ執ツテ行ク、斯ウ云フ風ニ致シテ居ルノデアリマス、是ハ一

ツノ行政上ノ必要カラデアリマス

○北委員 其ノ個々ノ消費者ニ配給スルト云フ、所謂小賣ノ定義デアリマスガ、所謂消費者ノ臺所ニマデ持ツテ行ツテ賣ルトカ、或ハ一升賣リヲスルトカ云フヤウニ、消費者ニ直接手渡シスルト云フヤウナコトハ、是ハ小賣トナルカモ知レヌノデアリマスガ、併シ消費者ノ手ニ渡スト云フコトニ付テハ、隨分色々種類ガアルノデアリマス、例ヘバ大キナ消費團體、軍隊デアルトカ、鑛山デアルトカ、工場デアルトカ云フヤウナ大キナ消費團體ニ供給スル、此ノ事マデモ小賣ト云フ範圍ニ入レテ、所謂直接消費者ニ配給スルト云フコトデ免許ヲ要スルト云フコトデアルト、大問題ダト思フノデアリマスコトデアルト、マサカソナコトハナイト思フノデスケレドモ、此ノ點ニ付テ、ハツキリシタコトヲ一ツ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 御話ノヤウニ、本案ノ對象トナツテ居リマスノハ、個々ノ消費者ノ臺所ヘ配給スルトコトニ付テ、考慮致シテ居ルノデアリマス

○北委員 私人質問ハ大體是デ終リマシタ

○添田委員長 福田關次郎君

○福田委員 過日來カラノ質疑應答デ、本案ニ對シマスル質問ハ大體盡サレテ居ルヤ

ウニ思フノデアリマスガ、過般本會議ニ於キマスル農林大臣ノ本法御提案ノ御説明ニ依ルト、本法御提案ノ根本理由ハ、生産供給ノ確保、價格ノ適正、國民ノ主要食物ニ對スル不安ノ念ヲ除去スルト同時ニ、出征將士ニ對シテモ後顧ノ憂ヒナカシムルト云フコトガ、本法御提案ノ趣意ノヤウデゴザイマス、此ノ理由ト致シマスル所ヲ拜シマシテ、洵ニ適切ナルモノト思フノデゴザイマス、先程來産業組合ノ利害關係ヨリシマシテ、縷々御意見ヲ拜聽致シタノデアリマスコトデアルト、大問題ダト思フノデアリマスコトデアルト、マサカソナコトハナイト思フノデスケレドモ、此ノ點ニ付テ、ハツキリシタコトヲ一ツ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 御話ノヤウニ、本案ノ對象トナツテ居リマスノハ、個々ノ消費者ノ臺所ヘ配給スルトコトニ付テ、考慮致シテ居ルノデアリマス

○北委員 私人質問ハ大體是デ終リマシタ

○添田委員長 福田關次郎君

○福田委員 過日來カラノ質疑應答デ、本案ニ對シマスル質問ハ大體盡サレテ居ルヤ

リタリト致シマシテモ、其ノ邊ハ御諒承ヲ得タイノデゴザイマス、本法ヲ通觀致シマスルノニ、現在多クノ經濟立法ト云フモノノ主義ハ、生産者ヨリ直接消費者ヘト云フノガ、近代經濟統制ノ根本精神デアルノデゴザイマス、又近代デナクテモ、例ヘバ農林省及ビ商工省ノ御計畫ニナツテ居ル所ノ中央卸賣市場ノ如キ、多ク生産者ヨリ直接消費者ヘト云フコトノ「モツト」下ニ、社會政策ハ立テラレテ居ルノデゴザイマス、同時ニ又現時戰時體制下ニ於キマスル經濟統制立法ハ、一層之ヲ強調サルベキ性質ノモノデハナイカト、吾々ハ信ズルノデゴザイマスガ、本法ヲ拜見致シマスルト、其ノ根本主義ニ反シテ居ル、時代逆行ノ法案デハナイカト云フ感ガ致シマスコトヲ甚ダ遺憾トスル、即チ本案ノ内容ハ、却テ中間搾取機關ヲ多カラシムルヤウナ傾向ニナルノデハナイカ、是デアリマス、其ノ中間商人ノ中ニハ色々アリマス、産業組合ヲ中心ト致シマシタルモノ、今マデ米ノ實際ヲ知ラズシテ空取引ヲシテ居ツタ所ノ市場員ヲ之ニ加ヘル、一方ノ産業組合ハ實際ノ米ヲ御扱ニナツテ居ル經驗ガアル、今度新シク取引員ニナル從來ノ取引員ト云フモノハ、殆ど紙ノ上デノ取引ヲヤツテ居タ

者デアツテ、何百万石、何千万石ト云フヤウナ米ヲ、實際ニ於テ見タコトノナイ人ガ之ニ加ハルノデアリマス、而モ過般黨ノ政務調査會ニ於ケル農林省ノオ役人ノ御説明ニ依リマス、左様ナル取引員デアル、然ラバ今マデノ者ハドウスル積リデアルカト云フ問ニ對シテ、是等ヲ悉ク此ノ市場ニ收容スル積リデアルト云フコトデゴザイマス、是ハ一面當然然ルベキコトデアルト思ヒマス、其ノ御趣意ト御精神ハ大變結構デアリ、又現在相剋摩擦及ビ失業等ヲ多ク來サシメナイト云フ政策ニハ、吾々ハ非常ニ賛成デアリマス、併シ此ノ結果トシテ、是等ニ對スル從業員ガ多過ギテ、ソレヲ養フ所ノ方法ヲ講ズルト云フ所ニ、非常ナ錯誤ガ起リハセスカト云フ點ヲ憂慮スルノデアリマス、其ノ結果ハ多數ノ生産者ニ歸スベキ一部利益ヲ此處ニ奪ハレルコトニナル、同時ニ又多數ノ消費階級ニモ亦是ガ轉嫁サレルト云フコトニナルノデゴザイマシテ、右兩者ノ受クベキ利益ガ中間特殊部門ノ爲ニ搾取セラレルト云フ結果ニナリマスノデ、私共ハ此ノ結果カラ類推致シマスルト、現在戰時體制下ノ經濟立法ト致シマシテ、果シテ適順ナモノデアルカドウカト云フコトニ、非常ナ疑ヲ持ツノデゴザイマス、私共ハ非常

時局デゴザイマスカラ、出來ルダケオ五ニ切瑳琢磨シテ、其ノ立法ノ完璧ヲ期シテ、消費者及ビ生産者兩者ニ全く不滿ナカラシムルト云フコトハ出來マスマイガ、其ノ不滿ヲ少カラシムルト云フコトハ必要デアルト思フ、過般黨ノ日本ノ社會ノ實勢ヲ通觀致シマスルト、農村方面カラハ一向本法ニ對シテ反對ノ意向ハゴザイマセス、先程全販聯其ノ他ノ不利益デアルト云フ御意向モアツテ、産業組合擁護ノ御意見ガアツタノデアリマスガ、農村方面カラハ唯一本ノ反對電報モ來ナイノデアリマス、此ノ本法ノ内容ガ分ラナイノデ、鬱憤ヲ如何ニ晴ラスベキカ、如何ニ意思ヲ發表スベキカニ迷ツテ居ル者ハ、大體ニ於テ之ヲ面白カラザル立法デアルト考ヘテ、有ユル手段ヲ以テ本法反對ノ策動ヲ行ツテ居ル、此ノ一事カラ見テモ、本法ハ消費階級ト同時ニ、米ヲ商ツテ居リマシタ所ノ多クノ中間及ビ小賣商人ニ及ボス影響ノ甚大デアルコトヲ、常識ニ依ツテ想定出來ルノデアリマス、農林省トシテハ是等ノ點ニ付テ相當ニ御考ニナツタ案デハゴザイマセウガ、只今御話ガアリマシタトハ、正反對ノ現象ガ社會實勢ノ上ニ現ハレテ居リマス、之ニ對シテ農林大臣ハ如何様ニ御考下サツタデアリマセウカ、固ヨリ現農林大

臣ハ有ユル社會實勢ニ付テ能ク御諒承ノ御方デゴザイマスカラ、吾々ハ大ニ安心ヲシテ此ノ立法ニハ賛成スル者デゴザイマス、併シナガラ御就任間モナイコトデゴザイマシテ、謂ハバ前任者ノ編ンダモノモ相當ニゴザイマセウ、近時ニ至リマシテ、商工省其ノ他ノ方面ノ案ト御折衷ニ相成リマシタ俄作リノ點モナイデハゴザイマセスカラ、ソレ等ニ對スル御所見ト御信念ノ程ヲ伺ヒマシテ、ソレカラ除クニソレニ依リマシテ自分ノ質問ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス、○櫻内閣務大臣 只今福田君ノ御質疑ノ第一點ハ、本案施行ノ結果トシテ中間搾取ガ増加シハシナイカ、ソレハ從來米ヲ取扱ハザリシ所ノ取引員ヲ市場員ニスル、ソレハ不慣レナ者デアツテ、中々圓滑ナ取引モ出來ズ、消費モ多ク掛ルデハナイカ、サウ云フ人々ガ市場ニ入レバ、自然ト市場ニ於ケル取扱手数料ガ増シテ來テ、安ク配給出來ヌデハナイカ、斯ウ云コトヲ第一ニ仰セラレタト思ヒマス、成程本法施行ノ結果、取引所ガ廢止サレマスノデ、其ノ臨時措置トシテ、從來ノ取引所ニ勤メテ居リマシタ取引員ヲ市場ニ收容致シマス、故ニ從來市場員ノ中ニハ清算取引ヲ主トシテ行ツテ居ツテ、實米ノ取引ヲシナカッタ者ガ多少アリ

マス、是等ノ人々ガ實米ノ取扱ヲ致スコトニナツタ場合ニ、旨ク行クカ行カスカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、私モ福田君ノ御心配ト同ジヤウナ心配ヲ持タヌ譯デハアリマセヌ、併シナガラソレハ極メテ少數ノ人デアリマシテ、全體ノ市場員カラ見マス

ト、恐ラク一割ハ儲テ措イテ五分ニモ滿タヌ少數ノ人ダト思ヒマス、是等ノ人々ガ果シテ實米ノ取扱ニ實際從事シテ行ケルカ、行ケヌカハ別問題ト致シマシテ、ソレ等ノ人々ガ米穀業者並ニ新ニ入ル全販聯、及ビ商業團體ノ人々ノ間ニ入ッテ競争ヲシテ行ク關係ニナリマスカラ、其ノ爲ニ中間ノ費用ガ増加スルト云フ風ニハ考ヘナイノデアリマス、ソレカラ本法ニ依ッテ消費者階級ノ利益ヲドウ考ヘルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ先刻北君ニ御答辯申上ゲマシタ通り、又今福田君ノ言ハレタ通りノ本法ノ趣旨デアリマシテ、決シテ是ガ消費者階級ニ利益デアルトカ、或ハ生産者階級ニ利益デアルトカ、即チ特殊ノ方面ニ特ニ利益ダト云フニアラズシテ、全體的ニ價格ノ公正ヲ維持シテ、配給ノ圓滑ヲ期シテ、雙方ノ利益ヲ圖リタイト云フノガ主眼デアリマシテ、決シテ一方ノニドウショウト云フ風ニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、同時

ニ只今御話ノ米穀ヲ取扱ツテ居ラレタ所ノ方々ニモ、此ノ機會ニ於テ更ニ一層ノ御奮發ヲ願ツテ、消費者及ビ生産者ノ間ニ立ツテ、圓滑ナル本法ノ施行ニ對シテ御協力ヲ煩ハシタイ、斯様ニ思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○福田委員 農林大臣ノ御方針御理想ハ多ト致シマシテ、其ノ御理想ノ通りニ一切ガ實現サルコトニ、農林當局ニハ御盡力ヲ願ハナケレバナリマセヌ、次ハ我國ハ長キ戰時下ニアリマスルモ、歐羅巴ノ或ル國々ノ如ク食糧ニ對シマスル大ナル不安ハ少イノデゴザイマス、其ノ結果ト致シマシテ、過般來カラ御精神ハ増産ヲ相當ニ目的トシテ居ルト云フ御話デアアルノデゴザイマスガ、此ノ御政策モ當然シテ戴カナケレバナラスノデゴザイマスルケレドモ、併シ本法デハ私ハ米ノ増産ハ望ミ得ラレナイノデハナイカ、斯ウ思フノデス、是ハ一種ノ附ケタリニナルノデハナイカ、ソレデゴザイマスカラ、私共ノ望ム所ハソレヨリ以上ノ、モウ少シ根本ノ對策ヲ立テ戴イタラドウダラウカ、是ハ私共ニ言ハセルト、一種ノ枝葉末節ノ統制機構デハナイカト思ハレルノデアリマス、農林當局ガ本法提出ノ御理由ニ御述ニナリマシタ趣旨ニア

リマスヤウニ、増産計畫モ重大デアアル、此ノ目的ヲ達成シナケレバナラスト仰セニナルト云フコトハ當然ナコトデ、必要デハゴザイマスガ、併シ農林省ト云フモノト別ニ致シマシテ、現内閣ノ全體政策ト致シマシテ之ヲ通觀シタ時ニ、本法ト反對ナ結果ヲ御實行ニ相成ツテ居ルノデハナイカ、是等ハ農林大臣御就任ニナリマシテ間モナイコトデゴザイマスカラ、色々缺點ノアルコトハ是ハ人間トシテ當リ前デゴザイマシテ、ソレヲ恐レモ致シマセヌ、併シオ互ガ能ク之ヲ練リマシテ、練成シテ以テ後日ニ悔ヲ貽サヌヤウニシテ行クト云フコトガ、立法ノ府ノ責任デアリ、眞ノ本分ト申サナケレバナラスト思ヒマスカラ、吾々ノ氣付ク所ハ相當ニ申上ゲテ、以テ之ニ善處ヲ願ハナケレバナラスノデゴザイマス、ナゼサウ云フコトヲ申スカト言ヒマス、増産計畫ノ中デ、本法ニ依リマスル増産計畫ト致シマシテハ、一反當リノ多收穫ヲ期スルト云フコトハ結構デアリマス、是ハ固ヨリ今日殆ド飽和點デ出來マスマイガ、此ノ上ニモ尙ホ研究シテ實ハナケレバナラス、又全體的増産計畫ト云フコトモ結構デアリマシテ、益シテ戴カナケレバナリマセヌガ、併シ事實ハ不可能デアアル、ドウシテ不能デア

ルカ、現在御承知ノ通り、農村民ハ出征多クシテ勞力ハ不足デアルト云フコト、ソレカラ軍需工業方面ガ有利デアルカラ、家ヲ或ル程度マデ拋棄シテ之ニ從事シツツアルト云フ現象、同時ニ又輸入制限其ノ他ニ因リマスル肥料ノ騰貴、是等カラ立算致シマスルト、今日ノ農業ハ到底收支相償ハヌト云フコトニナル傾向ガゴザイマスルカラ、折角農林當局ノ御骨折デハゴザイマスルガ、私ハ事實ニ於テ眞ノ増産ト云フモノハ不可能デハナイカ、其ノ上ニ飛行場或ハ重工業地帯新設ニ依リマシテ、美田ハ化シテ工場ノ敷地ト相成リマスルノモ、年々相當ナ反數ニ上ツテ居ルコトハ、農林當局デハ明瞭ニ御分リニナツテ居ルト思フノデゴザイマス、斯ク觀ジ來リマスルナラバ、何處ニ據ツテ一反當リノ増産ガ幾ラ出來ルノデアルカ、其ノ外ニハ殆ド増産スルノ見込ハナイ、固ヨリ開墾助成モゴザイマスガ、今ハ中々遅タトシテ、サウ云フコトニ從事シテ居ルコトハ少イノデアリマス、斯ク致シマスルト事實ニ於テソレガ出來ナイ、其ノ上ニ私ガ最モ遺憾ニ感ジマスルノハ、本法ノ出サレタ動機ハサウ云フ動機デハナイノデアリマス、外ニアリマス、ソレハ何處ニアルカ、第一ハ臺灣米ノ管理、是デス、是

ハ三年前カラノ問題デゴザイマシテ、農林省ト臺灣總督府トノ意見ガ對立シタ爲ニ今日マデ延期サレタ、臺灣ハ三年以前カラ之ヲ斷行セント致シマシタガ、農林當局トノ妥協ガ出來マセヌ爲ニ、徒ニ唯延々トシテ今日ニ至ツタノデゴザイマスガ、今回總督府ハ農林省ノ御計畫、御方針ニ盲從スルコトトナツテ、茲ニ初メテ臺灣米ノ專賣案ト云フモノガ計畫サレタノデゴザイマス、私ガ實ハ過般來カラ成ベク控ヘテ居リマスルノハ、臺灣米專賣案ガ衆議院ヲ通過スルコトヲ待ツテ居ツタノデアリマス、ケレドモ是ハ已ムヲ得マセヌカラ、本當カラ申シマスルト、此ノ法案トハ反對ニナルノデス、其處ヲ申上ゲル、日本ノ内地デハ最早増産ハ——ナサルト云フ御努力ハ有難ウゴザイマスガ、事實ニ於テハ殆ド不可能デアアル、ソレト同時ニ増産シナケレバナラスト云フ御理想ガアルニ拘ラズ、此ノ臺灣米專賣案ニ御賛成ニナルト云フコトハ、私ハ此ノ内閣ニ於キマスル政策ト云フモノガ一致シテ居ラスノカ、或ハ其處ニ一ツノ大キナツタノデアアルカドウカト思ヒマス、臺灣ノ米穀管理案ハ、御承知ノ通りハ減反ヲスルト云フ案デゴザイマス、表面ニ

ハサウ云フコトハ書イデアリマセヌ、私ハ此ノ米管理案ナリ米穀統制法案ガ出ント致シマスル匂ヒガアリマシタ時ニ、單獨デ昨年ノ九月臺灣ニ參リ、臺灣ノ各地、農村部落ヲ自ラ跋渉致シマシテ、有ニル方面ヲ調査致シマシタガ、驚クベキコトニハ、例ヘバ臺中州知事ト會見シタガ、知事ハ、今日水ヲ當テル所ノ樋口ヲ破リ、挿秧シテ一箇月位ノ苗ヲ引拔ク所ノ有様ハ、内地デハ到底皆サン御覽ニナルコトハ出來マスマイト言ツタ、苗ヲ植エテ一箇月位ノモノヲ命令ヲ以テ引拔カス、同時ニ美田ヲ化シテ甘蔗畑トセヨ、理想ハ軍需工業ニ必要ナル麻ヲ作ラネバナラス、甘蔗ヲ作ルノハ二回ノ米ヲ穫リマス中間デ出來ルノデアリマスカラ、改メテ田地ヲ廢メテ之ヲ畑ニスル必要ハナイノデアリマス、今日無水「アルコール」ヲ多量ニ増産シナケレバナラスト云フ計畫デアルト言フ、米ヲ植エテ、ソレガ許可ナクシテ植エタト云フノデ、ズツト伸ビテ居ルノヲ、官吏ト人夫ヲ以テドシ——引拔イテ居ル有様ヲ見テ、私ハア實ニ出先官憲ト云フモノハ、人間ノ道德的觀念カラ實ニ忍ビ得ザル所ノ行爲ヲスルモノダナ、斯ウ感じマシタ、此ノ臺灣米管理案ニ御賛成ニナルト云フコトト、米ノ増産計畫トハ、

私ハ背馳スルト思フ、斯ウ云フ矛盾ヲ今日ノ時局ニ於テ、モウ少シ御考ヲ願フト云フコトハ出來ナカツタノデアラウカ、米管案其ノモノヲ見マスルト、決シテ減反ト云フコトハ言ツデアリマセヌガ、其ノ目的トスル所ハ今申上ゲマシタコトヲ達成スル爲ニ、此ノ米穀ノ生産ヲ犧牲ニスル、斯ウ云フコトデアリマス、新竹州ニ行キマシテモ、高雄州ニ行キマシテモ、農村ノ方面ハ臺灣總督府ハ全ク專制政治デアアル、米價ニ付テノ可否ハ一言半句モ新聞ニ書カシメナイコトニナツテ居リマス、併シ私ハ其ノ初メノ理想ニハ賛成デアアル、麻ヲ作ル、我ガ日本内地ニハ出來マセヌ特殊ナル所ノ軍需資材ヲ此處デ出來ルトナレバ、一時ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ私ハ思ツタノデアリマス、ソレデ是ガ衆議院ヲ通過シマシタカラ、此處ニ内容ヲ相當種明シヲ致シマデモ、大シタ害ハナイト思ヒマシテ今申上ゲルノデゴザイマスカ、併シ本法ヲサウ云フ風ニ御考デ御通シニナルト、大變ナ結果ガ來ル、又後ニ色々ナ議論ナドガ喧シクナリマスカラ、事前ニサウ云フ方面ヲ能ク考ヘナケレバナラス、我ガ日本ノ政府ハ總括スルト云フト、米ノ増産ノ計畫ハナイ、之ヲ減少セシメヨウト云フ計畫ガアルト云フコトニ取り得ルノデア

リマス、是ハ内閣全體ノ問題デアリマシテ、農林大臣一人ノ御意向ヲ以テシテハ、如何トモ爲シ得ナカツタノデアラウト思ヒマス、若シ本法ニ依リマシテ何處マデモ増産ヲシテ、長期抗戰ニ耐ヘ得ルダケノ素質ヲ培養シナケレバナラスト云フノデゴザイマスナラバ、斯ル政策デハ私ハ出來得ナイト思フノデアリマス、ソレカラ次ニハ先程來農民ノ爲農民ノ爲ト云フコトガ澤山ゴザイマシテ、非常ニ農民カラ見マスルト喜ブベキ御話デアツテ、數日來カラモソレガ多カツタト思フノデアリマスガ、本案デハ大農デア

ル不勞地主ハ非常ニ利益ニナリマスガ、農民ノ八九割ヲ擁スル小農ニハ、何等ノ利益ハナイノミナラズ、却テ今言フ配給機關タルモノノ喰ヒ物ニナルト云フ處ガゴザイマス、何故サウ云フヤウニナルカ、一體此ノ農村々々ト言ツテ、此處ニオ居デニナル方ハ、皆農村ノ爲ニ御盡シ下サルノデアルカラ此ノ限リデハゴザイマセヌガ、全體此ノ農村政策ニ對スル所ノ我ガ日本ノ本當ノ政策ハ、確立シテ居ルカドウカ、本當ニ大多數ノ中産以下ノ農民ヲ救フ所ノ政策ガ何ガアルカ、私ハ農村代表ノ議員デハゴザイマセヌガ、併シ國策樹立ノ上ニ於キマシテハ農村モ都市モ違ヒアリマセヌ、農村ヲ良クシ

ヨウト云フ議論ノ方ニモ私ハ申上ゲタイ、  
農村ニ生レタ子弟ガ五人アレバ、其ノ五人ガ  
農村ニ居ツテ一家ヲ形成シテ永久ニ生存ガ  
出來ルカ、其ノ兄貴一人ガ殘ツテ後ハ女モ  
男モ悉ク何處ヘ逃ゲテ行クカ、其ノ過剩人  
口ハ都會ニ走ツテ此ノ米ノ消費者トナル、農  
村ダケヲ潤ハシテ是等ノ長男ヲ除イタアトノ  
子弟ハ死ンデモ宜シイノカ、斯ウ云フ點ニ  
於テ農村政策トシテ我ガ日本ニハドウ云フ  
ヤウナ政策ガ行ハレテ居リマスカ、此ノ點  
カラ農林省ナドノ今日ノ政策ヲ見ルト、地  
主擁護、資本階級本位ノ政策デ、本當ノ農  
村ノ政策デナイト言ヒ得ル、何故サウ云フ  
コトヲ言フカ、ソレハ事實ガ證明スル、私ハ  
此ノ點ハ非常ニ御考ヲ願ハナケレバナラス、  
殊ニ今ノ非常時ニ一層御考ヲ願ハナケレバ  
ナラスト思ヒマス、ドウ云フ譯デアルカ、  
農村ノ更生々々ト云フ名前デ以テ全販聯、  
購販聯等ガ出來マスガ、ソレハ中間ノ地位  
ノ者ガ皆食ツテシマフ、農民ニドウ云フ  
コトヲ轉嫁シテ居リマスカ、第一農林省ニ  
御考願ハナケレバナラスノハ、今日ノ日支  
事變ノ戰線ノ第一線ニ身命ヲ賭シテ、彈丸  
硝雨ノ中ニ銃ヲ枕トシテ血ヲ流シテ居ル者  
ハ、中産以下ノ農民ガ大多數デゴザイマ  
ス、地主階級ハ其ノ十分ノ一、百分ノ一モ

アリマセヌ、是ダケ家ヲ捨テ、妻子ヲ忘レ  
親ヲ忘レテ、邦家ノ爲彈丸硝雨ノ中ニ犧  
牲トナル所ノ農民ニハ、農林省ハモウ少  
シ同情ヲ以テヤツテ貰ハナケレバナラス、  
ドレダケ斯ウ云フ法案ガ出マシテモ、全販  
聯、購販聯ガ出來マシテモ、米ノ買上ゲハ  
宛ガヒ扶持ナノデス、左様ナコトデ實際  
ノ農村ノ生産者ガ救ハレルデゴザイマセウ  
カ、此ノ點ト尙ホ御尋シタイノハ、地主ト  
小作人ト云フモノノ契約——農民ハ家屋  
ヲ持ツテ居リマス、祖先傳來ノ家屋ヲ持ツ  
テ居ルカラ、何百年モ續イタ農民ガ多イ  
ノデアル、昔カラノ地主小作人ノ契約ハ、  
此ノ田一段ニ付テオ前ノ所ハ何石出セ、斯  
ウ云フ契約ニナツテ居リマス、何石ヲ以テ  
一年間預ケルトナツテ、是ガ永續致シマシ  
テ、今日ハ一種ノ世襲財産ノ如クナツテ居  
ルノガ日本ノ農村ノ實情デアル、一段ニ付  
テ何石ト云フ契約ダケデ、之ヲドウ云フ米  
ヲ持ツテ來イ、容レ物ハドウ云フヤウニセ  
ヨト云フコトノ契約ハナイノデアル、ソレ  
ガ今重大問題デアル、今日農村カラ議員  
諸君ガ澤山出テ居ラレルガ、本當ニ生産者  
デアル三千万農民ノ爲ヲ思召シテ居ル方ガ  
幾人アルデアリマセウ、私共ハ思フ、所謂  
米ノ規格、合格米、斯ウ云フコトハ近代ニ

於テ御作りニナツタ、合格米ノ判ヲ捺シタ  
ノデナケレバ年貢ニ取ラナイ、斯ウ云フ契  
約ハ初メカラノ地主ノ契約ニアリマスカ、  
又此ノ頃ハドウデス、新シイ何重ノ俵ニシ  
テ、ソレニ縄ヲ何廻リ掛ケテ斯ウセヨト云  
フ、尙ホ今日農會及ビ府縣令ヲ以テ縛ル所  
ノ手數ト云フモノハ、ドレダケデアルカト  
云フコトヲ農林省ノ方ハ御承知デアリマセ  
ウカ、悉ク何等ノ法律上ノ義務ノナイ小作  
人ニ對シテ、化粧ヲサシテ米ガ高ク賣レル  
ヤウナ計畫ヲスル、自分デスルノデハアリ  
マセヌ、今日農村政策ヲ高調サレル方ガ、  
同一人殘ラズ本當ノ情ヲ持ツテ、今日第一  
線ニ立ツテ居ル子弟ヲシテ後顧ノ憂ナカラ  
シメ、サウシテ生活ノ安定ヲ與ヘナケレバ  
ナラスト云フ時ニ、家ニ歸レバ地獄デハゴ  
ザイマセヌカ、是等ニ付テ私ハ斯ウ云フ主  
張ヲ致シタコトガアリマス、米ヲ何石ヲ只  
袋ニ入レテ擔イデ持ツテ行ツテ宜シイノダ、  
誰ガ何ト云フテ咎メルコトガ出來ルカ、ソ  
レニ向ツテアアシナケレバナラス、斯ウシ  
ナケレバナラスト云フ所ノ義務ハアリハシ  
マセヌ、法律ヤ經濟ヲ知ラザル小農ニ手數  
ヲ掛ケテ、地主ハ知ラヌ額ヲシテ、是デ米  
ヲ高ク賣ル計畫ヲシ、サウシテ高イ時ニ賣  
ツテモ米ガ變質ヲシナイヤウニ保存ダケヲ

命ズル、我ガ日本ハ非常時ト言ヒナガラ、  
國民精神總動員ト言ヒナガラ、斯ウ云フコ  
トガ今アル、何モ合格米ノ契約ヲシテ居ル  
ノデハナイ、其ノ出來タモノヲ持ツテ行キ  
サヘスレバ宜イ、賣ラウト思ヘバ地主ガ唐  
箕ニ掛ケルトカ、紐摺リニ掛ケルトカ、サウ  
シデ米ヲ出シ、ソコデ初メテ府縣令ヲ以テ  
スル検査ヲスベキデアル、一體農民ノ賣  
ル米ガ幾ラアリマスカ、私ハ農林省ニ御願  
シタイノデアリマス、二石以上販賣シ得ル  
小農ガ日本全國ニ幾人アルカ、五石以上ヲ  
販賣シ得ル小農ガ幾人アルカ、十石以上ヲ  
賣リ得ル農村ノ生産者ガ幾人アルカ、十五  
石以上ヲ賣リ得ル農民ガ幾人アルカノ表  
ヲ、二十石マデノヲ出シテ戴キタイト思ヒ  
マス、私共ハ斯様ナ國家ノ政策ノ矛盾不合  
理ニ對シマシテ、農林大臣御就任間モナ  
イコトデアリマスシ致シマスカラ、斯ウ云  
フコトハ相當困難ナ問題ト思ヒマスガ、併  
シ即時ニ本當ニ農村ノ生産者ノ困苦ヲ救済  
スルト云フコトハ、刻下ノ緊急事ト思ヒマ  
スガ、之ニ對シマシテ農林大臣ハ相當ノ御  
理想モ御持チデアラウト思ヒマスカラ、此  
ノ邊併セテ御伺シテ見タイト思ヒマス  
○櫻内國務大臣 福田君ノ御質問ハ二ツニ  
分ケラレルト思ヒマス、一ツハ増產計畫ガ

今日ノ時代ニ於テ最モ必要デアツテ、有エル努力ヲ致シテ居ル際ニ、臺灣米移出管理ノ問題ニ對シテ同意ヲ致シテ居ルノハ矛盾デハナイカ、即チ増産計畫ニ反スルモノデハナイカ、是ガ一點デアツタト思ヒマス、第二點ハ、農村ノ生産者デアル所ノ小作人ガ、地主ニ對スル所ノ納メ米等ニ對シテ、包裝ナドヲサシテ、サウシテ化粧ヲシタ米ヲ地主ガ取ルガ、是ハ小農者ニ對シテノ、所謂農林行政トシテ何ト見ルカ、斯ウ云フ風ナ御質疑デアツタト思ヒマス、増産計畫ニ付キマシテハ、度々申上ゲマス通り、非常ナ困難ガ伴ツテ居ルノデアリマシテ、之ニハ色々ナ方策ヲ立テテ其ノ増産ヲ致サウト致シテ居ルノデアリマス、即チ此ノ問題ニ對シマシテハ、是モ度々申上ゲテ居リマスガ、所謂勢力ノ不足、肥料配給ノ不圓滑、或ハ舟車、車馬ノ不足、或ハ農具ノ不足、又勞力ガ出征將士竝ニ重工業ニ出テ居ツテ非常ナ不足ヲシテ居ル、斯ウ云フコトニ打勝ツテ生産ノ増殖ヲ圖ルト云フコトハ容易デハナイ、容易デハナイカラ、之ニ對シテノ方策ト云フモノハ、餘程力ヲ入レナケレバナラナイト云フコトハ、度々申シテ居ルノデアリマス、所デ臺灣米ノ増殖ハ容易デアル、是モ私ハ福田君ノ御意見ニ同意致シマス、

併シ日本ニ於ケル所ノ米穀政策ト致シマシテハ、常ニ大局ヲ考ヘ、將來モ考ヘナケレバ相成リマセヌ、今日内外地ニ於ケル生産高ハ約一億石デアリマシテ、消費量モ殆ド是ト匹敵致シテ居リマス、即チ内外地ヲ通ジテ自給自足ノ方針ヲ立テテ、之ニ對シテ百万石ナリ二百萬石ナリノ常ニ餘地ヲ保ツテ行ク、即チ本年ハ九百二十二萬石ノ繰越ニナルガラウト思ヒマスガ、其ノ端境繰越ノ石數ハ多少デモ殖ヤシテ行クト云フ建前ニ於テ、今日進ンデ居ルノデアリマスケレドモ、今日現在ニ於テ此ノ計畫ノ遂行ハ非常ニ困難デアルニハ相違アリマセヌ、故ニ若シ今日ノ實情カラ申セバ、臺灣デ出來得ル限りノ増産ヲシテ戴クト云フ事柄ハ、是ハ私ノ希望スル所デアリマス、又朝鮮ニ於テモ其ノ増産ヲシテ戴イテ結構デアリマス、併シナガラ願ミルト、僅ニ數年以前ニハ臺灣總督府ニ對シテ減反ノ交渉ヲ致シタ時代ガアルノデアリマス、朝鮮ニ對シテモ内地ニ對スル所ノ米ノ移出ヲ制限スル時代モアツタノデアリマス、何ガ爲カト云フト、内地ノ農村民ノ生産シタ米ノ價格ガ非常ニ暴落シテ、農村ノ米ノ生産費維持ガ出來ヌ結果デアツテ、政府モ米ヲ買入レ、日本内地ニ於テスラ減反ト云フ說モアツタノデアリ

マス、若シ假ニ何等ノ事モ構ハズシテ増産ノ方針ヲ立テルト致シマスナラバ、或ハ滿洲國ニ交渉ヲ致シテ、滿洲國ノ田地ヲドン開發スル、朝鮮デモドンノ増殖ヲシテ貰フ、又臺灣モ増殖シテ貰フ、是ナラバ相當ナ石數ガ出ルト私ハ思ヒマス、併シナガラ出征シタル將士ガ日本内地ヘ歸ツテ來タ時ニ、其ノ人々ガ耕ス所ノ土地カラ出ル米ガ、又今日以上ニ非常ナ増産ヲ致シテ、是ガ爲米價ノ暴落ヲ來スト云フガ如キコトガアルト、是亦考慮ニ入レテ置カナケレバナラヌ一ツダト思ヒマス、故ニ今日ノ實情カラ致シマス、日本ノ内地ヲ通ジテ、日本デ消費スル所ノ石數ヲ確保シテ、將來多少ノ餘裕考アルト致シマスナラバ、其ノ程度ヲ擷ンデ生産計畫ヲ立テルコトガ、一番宜イノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、日滿支ヲ通ジテ一體トシタル所ノ、此ノ米穀生産計畫ト云フモノハ、是ハ自ラ立テナケレバナリマセヌ、即チ其ノ生産ノ價格ヲ考ヘ、又消費ノ狀態ヲ考ヘテ、所謂海外ニ輸出ノ出來ルヤウナ現狀デ出來ルノナラバ、是ハ又其ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、今企畫院ニ於テ折角調査ヲ致シテ、滿洲ニドウ云フ計畫ヲ立ツテ行クカ、支那ニハドウ云フ計畫ヲ立ツ

テ行クカト云フコトヲ考究致シテ居ルノデアリマス、勿論今日ハ滿洲ハ許可制度ニ致シマシテ、滿洲ノ生産ニ對シマシテモ一定ノ統制ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ日本内地ノ増産ガ絕對ニ出來ヌ、若クハ増産ガ非常ニ困難ダ、斯ウ云フ場合ニハ、何トシテモ是ハ確保シナケレバナラヌ米デアリマスガ故ニ、臺灣、朝鮮ニ向ツテ協力ヲ求メルコトハ當然デアリマス、是ハ固ヨリ其ノ通りデアリマス、ソレデ臺灣米ノ移出管理ニ付キマシテ、臺灣ニ於ケル米穀生産計畫ト云フモノハ決シテ減産シナイ、年々一定率ノ増加ヲシテ、一定率ノ増加シタル石數ダケハ、内地ニ之ヲ持ツテ來ル、而シテ若シ内地ニ於テ一朝不作ノ憂ガアリ、或ハ懸念ノアル場合ニ於テハ、特別ノ非常手段ヲ以テ増産ヲ圖ツテ、サウシテソレダケノ石數ヲ持ツテ來ル、斯様ナ話合ノ下ニ、臺灣ノ米穀計畫ニ同意ヲ致シタノデアリマシテ、私就任以來尙ホ一層ノ米ノ増産ノ必要ヲ認メマシタガ故ニ、更ニ五十萬石臺灣カラ増産ヲシテ貰ヒタイト云フ交渉ヲ致シテ、既ニ内諾ヲ得テ居ルヤウナ譯デアリマス、隨ヒマシテ臺灣ニ於ケル今御話ノ、所謂計畫ノ内情ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ私ハ知リマセヌケレドモ、私ノ聽キ得タ所、私ガ

之ニ對シテ反對ヲセザル所ノモノハ、所謂米穀ニ對シテハ減産ヲシナイ、同時ニ此ノ米穀以外ニ更ニ苧麻デアルトカ、黃麻デアルトカ云フ、即チ今日國際收支ノ上ニ於テ、ドウシテモ輸入シナケレバナラス品物ヲ、即チ金ヲ以テ輸入シナケレバナラス品物ヲ臺灣ニ於テ作ル、斯様ナ意味合デアリマシテ、私ハ臺灣方此ノ國際收支ノ關係上ソレニ貢獻シテ呉レルコトハ、甚ダ結構ナコトデアツテ、延イテハ臺灣ノ島民ガ將來非常ナル利益ヲ蒙ルヤウニナルドラウト云フ見地カラ、之ニ贊成ヲ致シタヤウナ譯デアリマス、勿論内地ノ米穀ノ増産計畫ガ容易ナモノデアアルカト云フト、決シテ容易ナモノデアアリマセヌ、故ニ之ニ對シテハ極力吾々ノ豫定シテ居ル數量ダケハ收穫ヲ得タイト考ヘマシテ折角努力ヲ致シテ居リマス、併シナガラ勿論天候ノ關係其ノ他モアリマスカラ、相當ノ豫備ヲ見テ今計畫ヲ立テテ居ルノデアリマシテ、是ガ臺灣ノ今日ノ計畫ニ對シテ全ク矛盾シテ居ルトハ私自身ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、ソレカラ俵裝ノ問題デスガ、此ノ問題ハ中々一俵ニ對シテ少カラヌ金ガ掛ルノデアリマシテ、此ノ俵裝代ヲ地主ノ方面ニ於テ負擔スルト云フ事柄ハ、地方ニ依ツテハ適當デアラウト思

ヒマス、併シナガラ小作人ト地主トノ關係ハ昔カラ溫情主義ト申シマスカ、色々ナ慣習デ圓滿ニ話合ガ付イテ居ルノデアリマシテ、米何石ト云フ小作米デ契約シテ居ル所モアリマセウシ、或ハ收穫高ノ何割ト云フ所デ契約シテ居ル所モアリマセウ、或ハ又俵裝シタ何俵ト云フモノデ契約シテ居ル所モアルト思ヒマスガ、大部分ハ俵デ契約シテ居ルノデアリマシテ、俵デ契約シテ居ル以上ハ、米ヲ俵ニシテ持ツテ來ルト云フコトモ亦當然デアアルカノ如ク考ヘマス、併シナガラ是等ノ點ニ付キマシテ實際ノ小農、中農以下ノ人々ノ今日ノ困苦ニ顧ミテ、是等ノ人々ノ負擔ノ減少ニ對シ、若クハ増産ニ對シテ相當ナ施設ヲ致スコトハ當然ノコトデアリマスガ故ニ、是等ニ對シテハ出來ルダケノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○福田委員 只今申上ゲマシタ中デ小農ト見マスル者ノ收穫高、自分ノ一年間ノ飯米ヲ差引キ、肥料代トシテ米ヲ拂ヒ、其ノ殘リトシテ賣却シ得ル所ノ數量ハ、此ノ場合デハ一寸御答ハ無理カト思ヒマスクレドモ出來レバ御示シ願ヒタイ

○周東政府委員 只今直グニハ勿論出來マセスガ、實際調査ノ上カラ致シマシテモ、

先程御話ガアリマシタヤウニ五石以上、十石以上、二十石以上ノモノト云フヤウナ區別ヲ致シテノ調査ハ困難カト思ヒマスガ、是ハ能ク農務當局トモ連絡ヲ致シマシテ、出來マスナラバ出來ルダケ早ク差上ゲタイト思ヒマス

○福田委員 左様ニ願ヒマス、——只今農林大臣ノ小作農ニ對シマスル施設トシテ、本員ノ申上ゲマシタコトニ對シテ何トカサウ云フ小農ノ負擔輕減ノ方法ヲ執ルコトニ盡力サレルヤウナ意味ノ御答辯ガアツタコトヲ、私ハ國家ノ爲ニ洵ニ喜ブ者デゴザイマス、其ノ他ニマダモウ一ツ殘ツテ居リマスルコトハ、此ノ借地者デアアル小作人ガ納メマスル米、合格米ト稱セラレル一二三等ト云フ米デゴザイマスガ、其ノ點モ今申上ゲマスヤウニ、非常ニ不條理ナコトヲ強ヒテ居ルノデゴザイマスルカラ、其ノ邊ヲヤハリ御考慮ノ中ニ入レテ戴クコトガ出來ルカドウカ、今日府縣令及ビ農林省ノ認メテ居ラレマスル所ノ規格ト云フモノハ、是ハ移出致シマスルモノナリ、或ハ販賣致シマスルモノガ、其ノ土地ニ出來ル米ノ聲價ヲ維持スル方法デゴザイマス、本當ヲ申セバ自分ノ家デ出來タ米ヲ千石筵デアルトカ、唐箕ニ掛ケテ之ヲ拵ヘテ、而シテ販賣スベキ

デアアルノニ、何等理由ナク農民ニ悉ク之ヲ嫁シテ、或ル等ノ等級ノ米ニアラザレバ之ヲ年貢トシテ取ラスト云フガ如キコトハ、今日全國津々浦々マデ是ガ實行サレテ居リマス、是等ニ對シマシテ農林大臣ハ此ノ不條理、此ノ矛盾、而モ此ノ非常時下ニ於キマスル出征將士ノ家族ニ御同情下サレマスル農林大臣トシテハ、是等ニ對シマスル對策ハ如何ニシテ戴クノデゴザイマスガ、改メテ御伺シテ置キタイノデアリマス

○櫻內國務大臣 只今ノ問題ニ付キマシテハ十分方法ヲ研究致シテ見タイト思ヒマスガ、第一番ニ私共ハ出來ル限リ速ニ検査ノ方法ヲ國營ニシテ、即チ國營検査ノ法ニ依ツテ行キタイト云フコトヲ、今日研究致シテ居ルノデアリマス、是等ノコトガ出來ルヤウニナリマスレバ、多少其ノ點ニ貢獻スルデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス

○福田委員 一體産業組合ナドト云フモノガ、先程來カラ農村民ノ爲ニ非常ニ利益ヲ爲シテ居ルヤウナコトヲ御強調ニ相成ル、又産業組合設立ノ根本趣意モ農村民ノ生産者ニ對スル救済ノ一助トシテ、社會政策的ニ本法ハ成立致シタモノデゴザイマスガ、未ダ會テ産業組合或ハ全販聯ノ如キガ、斯

ウ云フ小農ニ對シテ搾取ハシテ居ルケレドモ、未ダ曾テ之ヲ救済スルノ途ニ出デナイコトハ、今日ノ産業組合ト云フモノガ如何ニ地主ト一部官吏ノ古手ト財閥ノ集團デア  
ルカト云フコトガ窺ハレル、是ハモウ一點疑ナキコトト私ハ信ズル、今後産業組合ハ宜シク自制シテ本當ノ、産業組合設立ノ本義ニ鑑ミマシテ、社會政策的ノ見地ニ立ツテ、生産者ノ味方デアラナラバ之ヲ事實ニ現ハシテ貰ヒタイ、失禮ダケレドモ、農村民ハ經濟的ナ知識ハゴザイマセヌ、同時ニ世ニ疎ウゴザイマス、サウシテ地主ニ對シマシテハ殆ド頭ハ上ラナイノデアリマス、此ノ永年ニ互ル所ノ奴隸ノ如キ境遇ニ置カレタ人々ニ、當然ナルベキ所ノ民法上ノ權利ヲ默ツテ教ヘズニ置イテ、何デモ強ヒテ來タ所ノ産業組合ノ無責任ト云フモノハ大ナルモノデア  
ル、農村生産者カラ言ヘバ産業組合ハ搾取階級デア  
ル、眞實ニ三千万農民中ノ大部分ヲ搾取シテ居ルノハ産業組合デア  
ル、ナゼ斯ウ云フヤウナ不條理ヲ説イテ、本當ニ多數生産者ノ爲ニ御盡シニナラナイノカ、彼等ノ生産シタモノヲ取上ゲテ、其ノ間ニ搾取ハ爲シテ居ルケレドモ、斯ウ云フ事實ニ付テ何等貢獻セヌト云フ所ニ、産業組合ガ農民多數ノ利益ニアラザルコト

ヲ私ハ宣言シテ置キタイノデアリマス、左様ナ點ハ農林省モヤハリ同ジデゴザイマセウ、農林省モ今日マデ斯ウ云フコトヲ御考ヘニナラヌ、此ノ議會ニ國民ノ眞ノ總意ノ發露ニ依ツテ初メテ御動キ下サルト云フコトハ時既ニ遲イ、遲イケレドモ、之ヲシテ戴ケレバ日本ノ農民ノ利益ハ如何バカリデアリマセウカ、私ノ聞ク所ニ依リマスルト、自分ノ息子ガ出征シテ手ガ足ラナイノデ、年取ツテ隱居ヲシテ居ツタオ爺サンガ働キ出シタ、ソコニ於テ秋ハ來ル、朝鮮人ヲ雇ウテ一反幾ラデ請負ハセマシタ、朝鮮人ノ勞銀ハ非常ニ上ツテ居リマス、ソレデモ仕方ガアリマセヌ、雨ハ降ル、日ニチハ來ルカラヤラセルノデアリマス、所ガ俄ヲ編ムコトガ出來ナイ、出來ナイカラ何トカシテ近所界限ヲ買ヒ歩キマシテモ、何處モ皆手ガ足ラナイ、遠クニ出張シマシテ、僅カナモノデア  
リマスケレドモ、其ノ俄ヲ俄ニ買ヒマシタナラバ丁度是其ノ縣ノ規格ニ適合致シマスル繩ト、此ノ俵デ一俵五十錢、俵裝ニ掛ツタト云フコトデゴザイマス、是等ノモノガ永年ニ互ル所ノ負擔デア  
ル、而モ此ノ米ガイケナイカラ良イノヲ持ツテ來イト言フ、サウ云フ契約ガ何處ニシテアルカ、サウ云フヤウナ點ヲ農林省ハ少シモ御考ヘニナラズ

シテ、モノノ分ラヌ者ヲ其ノ儘今日マデ利用シテ來テ、農村ガ苦シイト云フ、農村ガ苦シイト云フノハ彼等ハ發言權ヲ持ツテ居ナイ、何デモ地主ノ言フ通りデア  
ル、サウシテ一面莫大ナル補助金ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、是ガ果シテ農民ノ中以下ノ爲ニナツテ居リマスカ、國家カラ出シテ居ル補助金ト云フモノハ殆ド皆中間ニ搾取サレテ居リマス、ソレデアリマスルカラ、何事モ知ラシメズ由ラシムベシノ政策ヲ執ツタ徳川時代ト同ジ政策ヲ、購販聯、全販聯デ執ツテ居ラレマス、斯ルコトハ、私共ハ攻撃スル譯デハゴザイマセヌガ(笑聲)諸君ハ皆是等ノ小農家カラ御選出ナサレタ方デアリマセウ、アナタ方ハ投票ハ得テ居ルガ、彼等ノ利益ヲ圖ラヌト云フノデハ、今日所謂議會スカラ、ドウカオ互ハ——此處ニ居ラレル方々ハ皆御盡シニナツテ(笑聲)一生懸命ニヤツテ居ラレマスルケレドモ、多クノ議會人ニ斯ウ云フ方ガ多數デアリマセヌカラ、斯ウ云フコトガ實現サレナカツタノデゴザイマス、今後オ互ハ非常ニ考慮シナケレバナラヌ、私共ハ農村選出デハゴザイマセヌ、都會選出デハゴザリマスルケレドモ、兎ニ角日本ノ今日ノ非常時下ニ於ケル國策ト致

シマシテハ業者ヲ考ヘ、米ガ餘リ高クデモイケマセヌ、又安クテハ農村ガ立チマセヌ、高ケレバ消費者ハ如何ニスルカ、農民ハ米ヲ高ク買ツテ下サイト言ツテ陳情ニヤツテ來ル、都會ニ行ケバ、米ガ高クテドウシテ生活ガ出來ルカト言フ、其ノ間ニ處シテ政治家ハ兩者ノ中庸ヲ得ルヤウニ政策ヲ執ラレルノガ、本當ノ政治デゴザイマス、ソレデアリマスルカラ私共ハドチラニモ加擔ハ出來マセヌ、同ジ 陛下ノ平等ナル赤子デゴザイマスルカラ、其ノ赤子ニ不平等ナル所ノ同情ヲシテハナリマセヌ、ドチラニモ最良スベキデアリマセヌ、併シナガラ今日マデ農林省ノ御執リニナツタコトハ、ドウモ残念ナガラ資本家擁護ニ流レテ居リマス、今ノヤウナコトヲ御氣付ニナラヌト云フコトハ洵ニ遺憾デアリマスカラ、今後ハサウ云フ觀念ヲ御捨テニナツテ、本當ニ全販聯ト云フモノガ生産者ノ團體デアリ、三千万農民ノ爲ニナルヤウニ、大體國家カラ出シマス莫大ナ金ガ中間ニ搾取サレナイヤウニ、是非私ハアナタ方ニ御願シタイ、國家ノ爲ニ御願シタイ、是ガ出來マシタダケデモ、出征將士ガ目出度ク凱旋ヲシテ歸ツタ時ニ、歸ツテ見レバ、今マデノアレダケノ大ナル負擔ガ輕減サレテ居ルカラト言

ツテ、是レ一ツデモ彼等ニ對スル感謝ノ意ヲ表スル一助ニナルト思フノデス、ドウカ非常時下ニ於キマスル政策トシテハ、此ノ點ダケハ、必ズ米ヲ喧シク言ハナイコト、其ノ田デ出來タモノヲ納メルコト、同時ニ俵裝ニ付テ一俵五十錢、六十錢ト云フ金ヲ掛ケテ、サウシテ地主ガ負フベキモノヲ小作人ニ轉嫁スルコトハ此ノ次カラ御止メヲ願ヒタイノデアリマス、併シ櫻内農林大臣ハ其ノ邊ニ對シマスル非常ナ御理解ガアリ、私ハアア云フ御答辯ハ一寸難カシイカト思ウタノデアリマス(笑聲)ソレハ中々容易ナルコトデハアリマセス、併シ即座ニサウ云フ御答辯ヲ得マシタト云フコトハ、此ノ三千万農民ノ爲ニ如何ニ滋雨ノ如キ感ヲ與ヘタカト云フコトヲ、私ハ此ノ席カラ喜ブ者デアリマス、次ハ肥料ノ問題デゴザイマスガ、先程一言申上ゲマシタヤウニ、肥料ガ今日騰貴シテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、正貨流出ヲ防グ爲ニハ輸入ノ防遏ヲシナケレバナラスコトハ當然デゴザイマス、是ハ今日國策上已ムヲ得マセス、此ノ結果ト致シマシテ、肥料ノ輸入防遏ヲ致シマスルカラ、ソコデ需給ノ關係ガ不均衡ヲ來シマス、不均衡ノ結果ガ茲ニ騰貴ハ免レマセス、免

レマセスガ、私ガ御伺シタイノハ、今日肥料ノ輸入ノ爲ニ三四千万圓ヲ此ノ非常時ト言ヒナガラ、ヤハリマダ使ツテ居ルノデアリマス、輸入ノ金額三四千万圓ヲ使ツテ居ルト云フコトハ、正貨ノ流出ヲ來シテ、今日ノ日本ニ取ツテハ全ク非常ナ苦痛デゴザイマス、御承知ノ通り各家庭ニアリマスル耳搔ノ金屬マデモ取上ゲヨウト云フヤウナ時局デゴザリマスルノニ、肥料ダケニ一年間三四千万圓、之ヲ餘程切詰メテ切詰メテ殆ド無キガ如キ所マデ節シテモ三四千万圓ハ輸入ニ仰ガナケレバナラス、是ダケノ貴キ金ガアリマスナラバ、此ノ金ヲ以テ他ノ資材ヲ買入レ、或ハ平和産業ノ資材ト致シマシテ振向ケタナラバ、多クノ今日ノ平和産業デ職ヲ失ツテ居ル者ガドレ位助カルカ分リマセス、ソレ等ヲ考慮致シマスルナラバ、茲ニ私ハ農林當局及ビ現内閣ニ對シテ御注意ヲ御願シナケレバナラスコトガアルノデアリマス、今日ノ肥料會社ノ多クヲ見マスルト、肥料ノ値下ヲシナケレバナラス、管理ヲスル位ニ行カナケレバナラス、物動計畫ノ上カラ言ヒマシテモ當然ナ歸結デゴザイマスルガ、ドウモ肥料ニ對スル所ノ方面ノ御干涉ハ少イト思ヒマス、ソレハ何處ニアルカト云フト、肥料會社ノ株主ト云フ

モノハ——ソレハ一般モアリマスガ、主トシテ農村ノ財閥ガ多イ、農村ノ財閥ガ多イカラ、自分等ノ經營シテ居ル肥料ガ餘リ安クテモ困ル、ソコデ或ル程度ノ肥料ノ價格ハ維持シテ貫ハナケレバナラスト云フコトガ、ロニ言ハズ、以心傳心ニ現ハレテ來ルノデアリマス、是ガ證據ニハ農村ノ人ガ多クノ株ヲ持ツト云フ傾向ニナルト云フコトノ事實ハ、先般御計畫ニ相成リマシタ滿洲國ニ於ケル所ノ肥料工業株式會社ノ件デアリマス、滿洲國ト日本トガ半々ノ株ヲ持チマシテ、オ互ガ之ヲ出シ合フ、約五千万圓デゴザイマシタカ、其ノ半分ハ日本ノ農民ノ力ニ依ツテ之ヲ出シテ貫フド云フコトニナツテ居リマス、農民ト言ツタツテ今私ノ申上ゲマシタヤウニ生産者タル者ハ一厘モ出ス餘裕ハ持チマセス、サウ致シマスルト、是ハ悉ク地主階級ノ地方ニ於ケル財閥デゴザイマス、日本内地ニ於ケル各種ノ肥料財閥デアリマス、イマ日本デ使ヒマスル滿洲カラ輸入シテ來ルモノガ、是ガヤハリ地主ノモノデアアル、是等ガドウシテ肥料ノ値下ヲ斷行出來マセウカ、配當ヲ今日五分ニ制限スル、肥料ハ特有ナルモノデアアルカラ他ノ平和産業ト違ツテ特ニ五分ニ制限シ、有ユル積立、留保、其ノ他ヲ制限シテヤツタ

ラ、非常ナ問題ガ起リマセウ、所デ茲デ御考ヲ願ハナケレバナラスノハ、サウ云フ風ニ肥料代ガ上リマス、上ツタ所ノ負擔ハ生産者ガ出スノデゴザイマス、サウシテ其ノ生産者ガ出シタモノハ自分ノ使ツテ居ル小作人ガ之ヲ使フノデアリマス、米價ヲ上ゲテ地主ハ儲カリ、高イ肥料ヲ賣ツテ地主ガ又個々ノ生産者カラ之ヲ搾取シテ居ルト云フコトガ日本ノ現在ノ實際デゴザイマス、是ハ悉ク農村ノ地主及ビ資本家トハ申シマセヌヨ、所ガ滿洲國ニ於ケル肥料工業會社ノ如キハ、其ノ半分ト云フモノハ日本ノ農村ノ方面カラ之ヲ取ルト云フ規則ニナツテ居リマス、斯ウ致シマシテ、肥料會社ヲ地主ガ作り、其ノ肥料ハ自分ノ子デアリ、子飼ヒデアル所ノ小作人ニヤリ、肥料ヲ賣ツテ莫大ナ利益ヲ受ケ、同時ニ又小作料ニ依リマシテ不當ナ利益ヲ得ルト云フ二重ノ搾取ヲシテ居ルノガ、我ガ日本ノ現狀デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ハ兎ニ角斯様ナ次第デアアルノデアリマスカラ、今度滿洲デ出來マスモノニ付テモ、非常ナ考慮ヲ拂ハナケレバナラス、サウシテ肥料ノ如キ、特有ナル物デアリマスカラ、假令平和産業デアリマシテモ、私ハ之ニ對シテ何故ニモウ少シ物動計畫ノ下ニ此ノ深刻ナル方法ヲ御執リ

ニナラヌカト云フコトヲ御伺シタイ、其ノ次ニハ其ノ肥料ヲ多クサセナイ、輸入ニ仰グ位ニ拂底ヲ見セテ、或ル程度價格ヲ上ゲヨウト云フ計畫ガアルノデハナイカト私ハ思フ、是ハ餘リ行過ギタ疑カモ知レナイガ、事實ニ基イテ類推スルトサウナル、肥料ヲ多カラシムレバ價格ガ下ルカラ、之ヲ或ル程度マデニ制限シテ、サウシテソコニ多少ノ輸入ヲ仰イデ、日本ノ内地デハ到底供給シ切レヌト云フコトヲ知ラシメテ、多クノ増産ヲ防グト云フ計畫ガアルノデハナイカ、其ノ事實ハ何處ニアルカト申シマス、私ハ臺灣ニ參リマシテ、臺灣ノ新竹州、竹東郡ニハ御承知デゴザイマセウケレドモ、九九%ノ含有量ノ無素藏ナ瓦斯ガ發生致シテ居ルコトハ、御承知ノ通りデゴザイマス、今日新竹州ノ如キハ、人民ハ皆瓦斯ヲ使ツテ居リマスケレドモ、「メートル」ヲ使ツテ居リマセヌ、朝カラ晩マデ使ヒ放題デアアルカラ、勞働者ニ至ルマデ朝風呂ヲ立テテ居ル、私ハソレヲ見テ來タノデアリマス、サウシテ此ノ無素藏ナル天然瓦斯、而モ其ノ含有量ハ九九%デ、世界ノ天然瓦斯ノ中ニモ類ノナイ程ノ優良ナルモノガアルノデアリマス、普通ノ瓦斯ノ生産ニハ非常ナ燃料ヲ要シマス、其ノ燃料ガ生産費ノ大部分ヲ

占メルノデゴザイマスカラ、茲ニ大ナル會社ヲ拵ヘテ、此處デ約五万坪、畑モ美田モゴザイマスガ、之ヲ平原ト致シマシテスツカリ地均シヲシタ、地均シヲシタガ、之ニ必要ナル所ノ肥料製造ノ機械ヲ亞米利加カラ買ハナケレバナラスコトニナツタ、ソコヘ爲替管理ニ引ツ掛ツテ、ソレヲ買フコトハ相成ラスト云フコトデ、美田ハ化シテ徒ニ平野トナツテ居ル、サウシテ其ノ儘放置シテアルノデゴザイマス、是ニ於テ私ハ現内閣ノ方針カラ見マシテモ、惡ク考ヘレバ肥料財閥ヲ擁護スル爲ニスウ云フコトヲシテ居ルノデハナイカ、一年間ノ輸入ノ額ガ三四千万圓デゴザイマス、一會社ガ肥料製造ノ機械ヲ買フノニ幾何ノ金ヲ要スルト御覽デゴザイマセウカ、此ノ物ハ一時デ宜シイ、肥料ノ輸入ハ永年ニ互ツテ居リマス、一時其ノ機械ヲ亞米利加ナリ何處ナリカラ買ツテ、サウシテ臺灣ノ無類ノ燃料ヲ以テ作業ヲ開始致シマシテ肥料ヲ供給シ始メタナラバ、日本内地ニ於ケル肥料ノ相場ハドウナリマス、ソレニ依ツテ安イ肥料ヲ供給スルコトガ出來ル、本當ニ日本國民及ビ生産者、三千万農民ノコトヲ親心ヲ以テ思召ニナルナラバ、斯ウ云フ政策ヲナゼ行ヒナサラヌカ、コンナ僅カナ金デ濟ムモノヲ其

ノ儘放ツタラカシテ、投資シタバカリデ仕事ヲシナイデ遊ンデ居ラナケレバナラス現狀ニアリマス、斯様ナコトハ櫻内農林大臣ハ御就任ニナリマシテ間ガゴザイマセヌカラ、ソシナニ事務的ナ所マデ頭ヲ御使ヒニナレスコトハ當リ前デ、又ソシナコトデハ大キナ政策ハ實行出來マセヌ、併シ本法ヲ實施スルニ當リマシテ、已ムヲ得ズ斯ウ云フ事實問題ニ付テ申上ゲタ譯デアリマス、肥料統制ハ所謂米ノ増産ヲ圖ル所以デゴザイマスシ、農村生産者ノ生活安定ヲ圖ル所以デゴザイマスカラ、之ヲ實行致サナケレバナラスノデゴザイマス、之ニ對シマシテ私ハ農林當局ガ如何ナル御考ト、如何ナル御決意ヲ御持チニナツテ居ルノデアラウカ、サウシテ此ノ肥料ノ拂底ヲ緩和シ、輸入スル物ヲ防遏スルト云フ、其處ニ所謂一舉兩得ノ策ニ御出デニナル考ガゴザイマスカドウカ、御伺致シタイと思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今肥料ノ問題ニ對シテ福田君ノ御意見ガゴザイマシタガ、或ル點ニ於テハ私共鳴スル點モアリマスケレドモ、大體ノ實情ヲ一應御話シテ御賢慮ヲ煩ハシタイと思ヒマス、肥料ノ中デ俗ニ謂フ金肥ト堆肥トノ關係ヲ勘定シテ見マス、總體デ七億二三千万圓デアリマシテ、其ノ中ノ丁度半分位ノ三億五六千万圓ガ金肥デアリマス、アトハ堆肥即チ自給肥料デアリマス、有機質肥料デアリマス、金肥ハ大體ニ於テ無機質肥料デアリマスガ、其ノ中デ硫酸肥料ハ、可ナリ長イ間商工農林等ノ間ニ議論ノアツタ問題デ、難カシカツタ問題デアリマスケレドモ、現在ハ幸ニシテ漸ク自給自足ガ出來ルヤウニナツタノデアリマス、而シテ此ノ硫酸ニ付キマシテハ、硫酸ノ販賣會社ヲ拵ヘテ、之ヲ統制致シテ其ノ値段ヲ一定サセテ居リマス、隨ヒマシテ戰爭ガ始マリマシテカラ今日マデ、マダ其ノ騰貴率ハ勿論一割ニ達シテ居リマセヌ、ソレカラアトハ加里ト過燐酸デアリマスガ、過燐酸ニ對シテハ約百万噸位要リマシテ、時價ニシマシテ三千五百万圓位デアリマス、此ノ中低度ノ過燐酸ハ内地ニアリマスケレドモ、高度ノ過燐酸ハアリマセヌ、已ムヲ得ズ輸入ニ俟タナケレバナラスモノガアルノデアリマシテ、是ハ私共ガ深ク今心配シテ居ル所デアリマスガ、幸ニシテ物動計畫ノ中デ、取敢ズ一番先ニ此ノ七月マデノ分ヲ今日確保スルコトガ出來タノデアリマス、其ノ値段モ幸ニ統制ヲシテ居リマシテ、是ハ二月ノ二十三日、ツイ先日之ヲ一元のニーツノ會社ニ致シマシテ統制ヲ致シテ居ルノデアリ

マスガ、是亦サウ大シタ値上リハ致シテ居  
リマセヌ、加里ハ日本ニ於テ殆ト出来マセ  
ヌ、隨ヒマシテ多ク輸入ニ俟ツノデアリマ  
スガ、此ノ方ハ今一ツノ會社デ取扱ツテ居  
リマスケレドモ、實ハ外國ノ人ガ主トシテ  
ヤツテ居リマス、併シナガラ値段ハヤハリ  
農林省ノ意向ヲ酌ミマシテ、殆ト上ゲテ居  
リマセヌ、僅ニ何「パーセント」ト云フモノガ  
上ツテ居ルダケデアリマス、有機質ノ肥料  
ハ、ドウモ鯁其ノ他ノ魚ノ不漁、又其ノ他  
勞力ノ不足等ニ依リマシテ、二割三割、多  
イノハモツト上ツテ居ルノデアリマス、此  
ノ點ニ付キマシテハ甚ダ遺憾デアリマシテ  
何トカシナケレバナラスト思ツテ居リマス  
ガ、是ハ國內デ出来ル物デアリマスガ故ニ、  
金肥程重要デハアリマセヌケレドモ、農家  
トシテハ重大ナ問題デアリマスノデ、出来  
ルダケ安クシタイト考ヘテ居リマス、臺灣  
ノ例ヲ御取リニナリマシタガ、臺灣ニハ硫  
安工場ノ出来掛ツテ居ルノガアリマシテ、  
是ガ開業シマスレバ、硫安ノ製造ガ非常ニ  
多ク殖エルノデアリマシテ、洵ニ結構ナコ  
トデアリマスケレドモ、物動ノ關係カラ今  
御話ノ如ク進行セズニ中途ニナツテ居リマ  
ス、ナツテ居リマスガ、是モ出来ル限り、  
速ニ進行セシメテ、サウシテ御話ノ如ク一

時要ル金ハ少クシテ、ソレガ永遠ニ日本ノ内  
地ニ於テノ肥料トナルバカリデナク、是  
等ノ肥料ハ賣レルノデアリマシテ、對外的  
ニ賣ツテサウシテ外國カラ金ヲ持つて來ル  
コトモ出来ルノデアリマスガ故ニ、其ノ方  
策ニ付テモ今考慮致シテ居リマス、單ニソ  
レバカリデハナクテ、硫安ニ付キマシテハ  
モウ少シ積極的ナ考ヲ以テ、實ハ今私ヤリ  
ツツアルノデアリマス、外國カラ相當ナ代  
金ノ機械ヲ買ハナケレバナリマセヌガ、買  
フ機械ハ出来レバ「クレデット」デ入レテ、  
サウシテ製品ガ出来テ其ノ「クレデット」ノ  
金ヲ拂フ、斯ウ云フ方法ガ何トカシテ出来  
ルノデヤナカラウカト云フノデ、實ハ當業  
者ノ人々ニモ集ツテ貰ツテ協議ヲ致シテ居  
リマスガ、恐ラク此ノ硫安ニ對スル所ノ増  
產計畫ト云フモノニ付キマシテハ、相當ナ  
考ガ運ラサレテ、隨テ國內ノ硫安肥料ガ騰  
貴ノ狀態ニアツテモ騰貴セズニ濟ンデ行ク  
ノデヤナカラウカト思ツテ居リマス、要ス  
ルニ肥料ガ稍、値上リ氣味デアリマスコトハ  
甚ダ遺憾デアリマスノデ、是ガ値ノ上ラヌ  
ヤウニ出来ルダケノ努力ヲ致シテ居リマス  
ノデ、金肥ノ方ニ付キマシテハサウ非常ナ  
暴騰ヲスルト云フガ如キコトハナイ、斯様  
ニ信ジテ居ル次第デアリマス

○添田委員長 福田君ニ一寸申上ゲマス、  
アナタノ御質問ハ非常ニ熱心ナル御質問デ  
アツテ、其ノ點ハ洵ニ敬意ヲ表シ結構ダト  
思ヒマスガ、成ベク本法ニ直接關係アル問  
題ニ付テノ御質疑ヲ願ヒタイ、肥料ノ問題  
ハ別ニ統制法ガアリマスカラ、此ノ法案ニ  
成ベク直接ノ問題ヲ簡單ニ願ヒタイと思ヒ  
マス  
○福田委員 モウ少シデゴザイマス——只  
今農林大臣ノ御答辯洵ニ御尤デ、現在ハサ  
ウデナクテハナラナイと思フノデアリマス  
ガ、唯本案ヲ鵜呑ニ致スコトノ出来マセヌ  
原因ハ、有ユル觀點カラ本法案ノ性質ト其ノ  
成立ト、將來トヲ考慮致シマシテ斷案ヲ下  
サナケレバナラストデゴザイマシテ、洵ニ  
御手數ヲ掛ケルヤウナ次第ハゴザイマス  
ルガ、私ハ所謂農村民タル生産者、同時ニ  
消費者タル人ノ之ニ依リマシテ蒙リマスル  
利害ガ重大デアリマスルカラ、其ノ根本ニ  
入ツタ所ノ御理想ヲ承ラナケレバ、本法ノ  
審議ハ出来ナイと思フカラ申上ゲタノデア  
リマス、尙ホ本法ノ創設ノ動機ト云フモノ  
ハ、私共考ヘマスル所ニ依ルト、農林大臣  
ガ過般本會議案ヲ提案ノ理由ヲ御述べニナツ  
タヤウナコトノ外ニモ、大切ナ原因ガアル  
ト思フ、サウシマスルト本法ノ目的ガ何處

マデニ行クノデアアルカト云フコトガ是デ分  
ルノデナイカ、創設ノ動機ハ 要スルニ永  
年ノ目的デアアル、先程言ツタ所ノ臺灣ノ米  
管問題、其ノ取扱ヲ如何ニスルカ、サウシ  
テ愈々管理案ガ出来マシテ、米ノ賣方ヲ農  
林省ニ託スル、託スルノデハナイ、農林省  
其ノモノハ商賣ガ出来ヌカラ、茲ニ於テ斯  
ウ云フモノヲ作ラナケレバナラスト云フコ  
ト、一ツハ米專賣ノ前提條件デハナイカ、  
昨日ノ御答辯デハサウデハナイト云フヤウ  
ナコトヲ言ハレタ、マダ速記録ヲ拜見致シ  
マセヌガ、新聞デ見タノデアリマス、併シ  
過日ノ本會議ニ於キマシテハ、專賣ノコト  
モ考ヘナケレバナラスト云フヤウナ御答辯  
ガアツタヤニ私ハ記憶致シテ居ルノデアリ  
マス、サウ致シマスルトハ一層考慮シナ  
ケレバナラスト、其ノ次ニハ是マデノ取引所  
ト云フモノガ、主食物ヲ授機ノ對象トスル  
コトハ非常ニ面白クナイト云フノデ、此ノ  
取引所ヲ改廢シナケレバナラスト、改廢致シ  
マスルニ付テハ其ノ處分ヲシナケレバナラ  
スト云フコトニナツタ、苟モ政府ガ保證金ヲ  
取ツテ、今日マデ公認致シテ居リマスル者  
ノ業ヲ廢スルト云フコトニ對シテハ、國家  
トシテ相當ナル處置ヲナサルノハ當リ前デ  
ゴザイマス、其ノ當時ノ農林省ノ御企圖ナ

サレタモノデハ、其ノ救済方法トシテ約五千万圓ヲ之ニ出スト云フコトガ、私共ハ其ノ當時輿論的ナ農林省ノ御意見デアツタと思フノデアリマス、之ガ改廢ヲスル時ニハ、今日ノ取引所員ヲ五千万圓程度ヲ以テ救済シナケレバナラヌト云フ案デアツタ、ソレガ段々年月ヲ經ルニ從ツテ、今度ハ三千万圓ニ減ジテ來タ、サウシテ本法ガ出來マスル前後ニハ一千二百万圓位ハドウカト云フコトニナツタ、ソレガ今度變化シテ一文モヤラスト云フヤウニナツテ來タノデアリマス、是等ハ農林當局ノ御決定トシテ御發表ニナツタノデハナイノデゴザイマスガ、斯ウ云フヤウニ、實際ニ商行爲ヲ爲シテ居ツタモノニ對シテ、一部官憲ノ御理想ヲ實現ナサル爲ニ、斯ウ云フ政府ノ公認シテ居ツタ者ノ業マデモ取上ゲルコトニ付テ、何等賠償ヲナサラスト云フコトハ、果シテ情理ヲ盡シタル所ノモノデアルカドウカ、此ノ結果本法トナツテ現ハレタモノデアリマスルコトハ私共ノ疑ハヌ所デゴザイマス、サウシマスト本法制定ノ動機ト云モノハ、多少私共ハ疑ハナケレバナラヌ點ガナイトハ致サナイノデアリマス、サウシテ賠償ハシマセヌガ、取引所員ト云フモノヲ市場員ニスルノデアルト云フ御話デゴザイマシ

タ、併シ市場員ニ致シマシテモ、先程申上ゲマシタヤウニ、是等ノ人々ハ本當ハ米穀ノ取扱ヲシタコトガナイ人々デアリマス、此ノ者ガ産地ノ實際生産者ト直接スル所ノ産業組合トカノ進出デ、コ、デ共同作業ヲ致シマシタ時ニ、果シテ如何ナル結果ヲ來スデアリマセウカ、結局私ハ一厘ノ賠償金ヲヤラズシテ是等ノモノヲ自然消滅ヲセシムル所ノ前提條件トシテノ本法デハナイカト疑フノデゴザイマスガ、農林大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス

○櫻内國務大臣 本法ガ米ノ專賣ニ關スル前提デアアルカナイカト云フコトニ付テ御質問デゴザイマスガ、米ノ專賣若クハ國營ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ私研究ノ價值ノアル問題ダと思ツテ居リマス、併シナガラ本案ガ其ノ前提デアルト云フコトハアリマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、左様御承知願ヒマス、ソレカラ取引所ガ許可ヲ得テ商行爲ヲ完全ニヤツテ居ルノニ、之ヲ取上ゲル場合ニ於テハ相當ナル賠償ヲ致スコトガ至當デハナイカ、曾テハ五千万、三千万、千万ト云フヤウナ賠償金ヲ出スト云フ説ガアツタノニ、此ノ度ハソレヲ一厘モ出サヌ、是ハ餘リニ穩カデナイデハナイカト云フ風ナ御意見デアリマス、普

通カラ申セバ、先ツ斯ウ云フ場合ニハ鐵道國有法ノ例ニ依ルトカ、或ハ其ノ他ニモ例ガアリマス、土地收用法ノ例ニ依ルトカ、サウ云フ民業ヲ官ニ於テ買收スル場合ニ於テハ幾多ノ前例ガアルノデアリマス、或ハ市場法——京都、大阪、東京ノ如キ場合モアリマス、サウ云フ手續ヲ取ツテ然ルベキデハナイカト云フコトハ一應考ヘラレルコトデアリマス

即チ本法施行ノ結果取引所ヲ廢止致スノデアリマスガ故ニ、今御話ノ點ニ付キマシテハ是ハ一應考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、併シナガラ法案ガ出來マシタ結果之ヲ廢止致スト云フ事柄ハ、事變以前ハ知ラズ、最近ニ至リマシテハ澤山例ガアルノデアリマス、即チ皮革ノ統制ニ依ツテ靴屋ノ方々ガ倒レル、綿絲ノ統制ニ依ツテ綿絲布ノ營業ノ人ガ業ヲ奪ハレタ、或ハ鑄物屋ノ方々ガ原料ノ鐵ノ配給ガ無クナツテ倒レタ、或ハ鐵ノ配給ガナイノデ鐵瓶ノ製造家ガ全部倒レタト云フヤウニ澤山例ハアルノデアリマス、是等ノ人々ニ對シマシテモ國家ト致シマシテハ、此ノ事變ニ依ツテ業ヲ失ハレテ洵ニ氣ノ毒千萬デアルト思フカラ何トカ致スベキ筈デアリマス、併シナガラ總テ是等ノ人々ガ全部國家ノ爲ニ御

忍ビ下サツテ、此ノ際我慢ヲシテ戴イテ居ル場合デアアルノデアリマスカラ、茲ニ大キナ金額ノ賠償金ヲ出スト云フコトニ付キマシテハ餘程研究ヲシナケレバナラヌ點ガアルノデアリマシテ、私共其ノ研究ノ結論ヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ他ノモノト違ツテ、此處ニ是ダケノ會社ガ出來テ、取引所ノ仕事ヲ行フノデアリマスルガ故ニ、隨デ丁度民間間言ヘバ合併ノ形式ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、從來ノ取引所ノ株主ヲ此ノ株主ニ致シマシテ、サウシテ從來ソレ等ノ人ノ市場ニ使ツテ居ツタモノヲ適當ナ値段デ買上ゲテ、サウシテ此ノ會社ノ株券ヲ御持チ願フト云フ事柄ガ丁度合併若クハ買收シタト同ジヤウナ形式ニナリハシナイカ、斯様ナ見地カラ、要スルニ取引所ノ株主諸君ニ、此ノ會社ノ株券ヲ優先的ニ御持チ願フ、又米穀ヲ扱ツテ居ル方々ニ優先的ニ御持チ願フ、斯ウ云フ風ニ此ノ機構ヲ持ヘタノデアリマス、先刻モ御話ニナリマシタ取引員ノ問題モ、兎ニ角茲ニ後繼ギ會社ノヤウナモノガ出來テ、一方ニ於テ失業サレル人ガ氣ノ毒デアアルカラ、其ノ立チ行ク方法ノ一助トモナルコトヲ考ヘナケレバナラス、斯様ナ見地デ此ノ法案ノ上ニ於テ措置ヲ爲スト云フコトニシテ、勅令、

命令ニ於テ別ノ規定ヲ拵ヘマシテ、官民カラソレトノ權威ノアル方ニ出テ戴イテ、其ノ審議ヲ俟ツテ是等ノ問題ノ解決ヲ致サウト致シテ居ルノデアリマシテ、私ハ現在ノ時代ニ於テ是ガ不法ナル、亂暴ナル案トモ考ヘテ居ナインデアリマス

○福田委員 御趣意ノアリマスル點ハ諒承スルノデゴザイマスガ、時局デアルカラト云フ一言デ簡單ニ片付ケマスレバ、今日ノ忠良ナル國民ハ一人モ反對スル者ハゴザイマス、併シ其ノ時局ト云フ一言デ以テ有ユル多數ノ人民ノ業ヲ奪ツテ顧ミスト云フヤウナコトガ他ニアツテハ、私ハ大變ダト思フノデアリマス、長期應戰ノ實力培養ハ、内地ニ於キマスル有ユル國民生活ノ安定ト、其ノ潑刺タル勇氣ヲ保有サシテコソ、長期應戰ノ本分ヲ全ウスルコトガ出來ルト思フノデゴザイマスカラ、今日ノ時局ガカラ我慢セヨト言ウテ、斯ル平和的ナ、殆ド戰争ニハ必要ナルモノニマデ統制ヲ進出サルト云フコトハ、少シク私ハ履キ違ヘテ居ラレル政策ダト思フ、今日日本デハ臺灣デ米ガ作レルノデ、米ハアリ餘ル、先程御話デゴザイマスガ、臺灣ノ米管法ハ減反ノ方策デゴザイマス、米價ノ規制ノ爲ニ出來タノデアリマス、其ノ内容ハ時間ガ掛カル

カラ申シマセヌ、臺灣總督府其ノ他ノ意向モ悉ク詳細ニ私ハ盡シテ居リマス、其ノ目的ハ悉ク減反ニアル、米ノ所謂生産制限ニアル、此ノ事ハ申シマセヌ、併シ今御話ノコトハ、是ハ禁止シテマデモ止メサセルノデハゴザイマセヌカラ、多少寬恕スル所ガゴザイマシテ、又辛抱シナケレバナリマス、併シ今日ノ官僚ガ何モ彼モ悉ク統制シテ、俺ニ頭ヲ下ゲルニアラザレバ事ガ出來ズト言ツテ、非常時局ノ波ニ乗ツテ斯ウ云フ不必要ト認メラルモノマデ干涉壓迫ニ出ルト云フコトハ、餘程考ヘテ戴キタイ、獨逸ヤ伊太利ヤ英吉利ノ如ク足ラヌ國デアリマスナラバ、是ハ相當ニ方法ヲ講ジナケレバナラス、ソレガアリ餘ルカラ臺灣デハ米ヲ作ツテ吳レルナト云フ法律ガ出來タ、非常時局デアツテモ其ノ通り、斯ウ云フモノマデモ私ハ統制スル必要ハナイト思フ、先程申シマシタヤウニ、本法ノ目的ト云フモノハ要スルニ他ニアリマセヌ、之ヲ專賣ノ前提トサレタモノデアリマシテ、取引所ノ整理ト、ソレカラ其ノ結果ト致シマシテ、彼等ニ補償金ヲヤラズシテ「カムフラージュ」スル所ノ一ツノ案デアリマシテ、本當カラ申シマスト是ハ立派ナモノデナイト云フコトヲ残念ニ思フノデアリマス、

一種ノ糊塗策デアルト思ヒマス、今マデモ從業シテ居ツタ者ガ職ヲ失ハズ、本法デ所謂市場員トナツテ業ヲ續ケルコトガ出來ルト云フ建前ハ、此ノ法文デハ餘程立派デゴザイマス、立派デアリマスガ、事實ヲ述ベテ私ハ農林當局ニ少シク御參考ニ供シテ見タイト思フノデアリマス、全國ヲ色々ト調べマシテ、是ハ澤山アリマスガ、澤山申上ゲマス、京都ノ伏見ニ於キマシテ、今マデ實際ニ米ヲ取扱ツテ居ツタ所ノ卸問屋デゴザイマス、ソレハ數人居リマシテ、其ノ一年間ノ米ノ取扱高ハ平均約四十万石デゴザイマシタ、所ガ數年前カラ此處ニ全販聯ノ出張所ナルモノガ出來マシタ、伏見ハ京都市ニ編入サレテ居リマスカラ、今日デハ京都市ノ一部デゴザイマス、所ガ三四年前ニ全販聯ノ出張所ガ出來テ、今日卸業者ハドウ云フヤウナ實體ニナツタカ、私ハ大阪或ハ名古屋ナド、其ノ方面ヲ悉ク調べマシタガ、其ノ事ヲ申上ゲマスト大變ナ時間ニナリマスカラ、此ノ一番手ツ取り早イ、一番新シイ實例ヲ申上ゲマス、四十万石取扱ツテ居リマシタモノガ、今日ニ至ツデドウナツテ居ルカ、直接生産者カラ持ツテ出デニナツテ、是等ノ農村ト接觸シテ居ル

所ノ者デゴザイマス、其ノ者デサヘモ遂ニ是ト對抗スル能ハズ、オ情ヲ以テ今日ハ四十万石ノ中ヲ四分六ト云フ約束ニシテ、六分ヲ全販聯デ奪ツテ、四分デ以テ、詰リ今マデ四十万石取扱ツテ居ツタ所ノ業者ガ、僅カ十六万石ヲ賣ツテ生活ヲシテ居ルノデゴザイマス、ナゼ對抗出來ナイカ、全販聯ハ幾百万ノ金額ノ商ヒヲシテモ、一厘ノ税金モ出シテ居リマセヌ、コチラノ方ハ四十万石ヲ扱ツタ時ト比ベルト十六万石シカ取扱ハナイデ、二十四万石ヲ奪ハレテ、奄々トシテ僅ニ業ヲ續ケテ居ルノデゴザイマスガ、稅務所ハ中々聽カナイデ、元ノ納稅シテ居タ時ヲ思ツテ、之ニ苛斂誅求ヲシテ居ルノデゴザイマス、ナゼ斯様ナ莫大ナ負擔ヲ取ラレルカ、有ユル特權ヲ持ツテ居ル所ノ全販聯ハ、國家ニ納ムベキ所ノ義務ヲ果サズ、橫暴ヲシテ、サウシテ民間ノ正當ナル、神聖ナ業ヲ奪ツテ居ルノガ事實デゴザイマス、今此ノ人等ハ議院ノ内ニ來テ居リマス、斯ウ云フコトデ實際米穀ヲ取扱ツタコトノナイ、紙ノ上ノ取引ヲシタ所ノ今マデノ市場員ニ對シテ、米ヲ取扱フコトノ専門家デアリ、自分ハ產地ノ生産者ト直接接觸シテ居ル所ノ全販聯ガ進出シテ來レバ、是等ノ業者ハ何年續クト思召ニナリマスカ、農林大

臣ハ先程カラ申シマスルヤウニ、就任御匆々ノコトデゴザイマスカラ、此ノ邊御承知ゴザイマスマイ、ケレドモ今マデ農林省ノ御計畫ニナツタコトヲ其ノ儘御繼ギニナリマシテ、斯ウ云フ矛盾撞著ノ實際ヲドウナサルノデゴザイマスカ、私ハ此ノ「カムフラージュ」シタ法文ヲ見テ今日ノ帝國議會ハ宜イ加減ニ之ヲ御認メスルコトハ出來マセヌ、民意ヲ體セラレ農林大臣デ、人情ニ御厚イ方デゴザイマスカラ、斯ウ云フ所ハドン／＼今カラ修正ニ御賛成下サルコトハ疑ハヌノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ事實カラシテ實際ヲ御推察願ハナケレバナリマセヌ、税金ヲ出サヌデ直接産地ノ人ト接觸シテ居ル所ノ全販聯ト、米ヲ扱ツタコトモナイ所ノ市場員トガ對抗シテ、然モ税金ハ一厘モ出シマセヌ、有ユル官憲ノ援助ガアリ、補助金マデモ貰ツテ居ル者ト、税金ヲ拂ツテ行カナケレバナラスシ、何等ノ援助ガナイ、其ノ上ニ壓迫ヲ受ケルノデアリマスカラ、私ハ之ヲ補償シテ差支ナイ、斯様ナコトデハ、將來我ガ日本ノ思想上ニモ影響シ、如何ニ非常時トハ言ヒナガラ、今日ノ憲法、今日ノ民法デ育ツテ來タ今日ノ國民デアリマスカラ、餘リ非常時ニ名ヲ藉リテ一方ニミ好意的便宜ヲ與ヘルヤウナ

偏頗ナ政策ヲ執リマシタナラバ、戦後ニ於ケル日本國民ノ思想上、恐ルベキモノガ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ今カラ十分ノ戒心ヲ要スルコトデアリマシテ、若シ我ガ日本ノ實體ガ西伯利亞出兵ノヤウナ有害無益ニ終ツタナラバドウシテ治マリマスカ、ソレデアルカラ假令非常時トハ言ヒナガラ、物動計畫ニ付テハ、物心兩方面ニ互ツテ慎重ノ上ニモ慎重ヲ期セラレマシテ、眞ノ立法院ノ權威ト、百年ノ安泰ヲ確立スルノ本旨ニ基イテ法案ヲ立テ貰ヒタイ、ソレ等ノ人ハドウカト拜ンデ、オ情ヲ以テ十分ノ四ヲ貰ツテ、今マデ通りノ家ニ居リ、氣息奄々タル生活シテ居ルノデアリマス、今度モ此ノ通りニナルト云フコトハ當然デ、無稅デアツテ直接産地ヲ相手ニシテ居ル者ト、片一方ノ机上ノ空論ガドウシテ對抗出來マセウカ、若シ農林省ガ出來ルト思召スナラバ、社會ノ實態、社會ノ實生活ヲ御承知ナイ、商行爲ノ本義ヲ御承知デナイト云フコトニナリハシナイカト思フ、斯ウ云フコトハ實際問題ニ御觸レニナリマシテ此ノ法ヲ立テテ、先程申上ゲタ通り生産者タル三千万ノ農民ト、四千万ノ消費階級ガ和氣霽々トシテ、眞ニ舉國一致態勢ヲ以テ生存權ヲ確保セシメルコトガ、眞

ノ今日ノ善政ト申サナケレバナラスノデアリマス、私ハ泣イテ此ノ點ニ付テ御考慮願ヒタイノデアリマス、併シ私ハ是等ノ人ニ賠償金ヲヤツテ呉レノ、補償金ヲヤツテ呉レト言フノデアアリマセヌヨ、是等ノ者ガ職ヲ失フコト斯ノ如シト云フ事實ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、今ノ京都市伏見ニ於ケル全販聯ノ實績ヲ御調ニナツタナラバ、是ハ釋然トシテ直グ分リマス、私ハ一言半句虛偽モ駈引モ申上ゲテ居ルノデアアリマセヌ、實際ガ斯ウナツテ居ルノデアリマス、四十万石ヲ取扱ツテ居ツタ者ガ十六万石、而モ之ヲオ情デ貰ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアルカラ、此ノ法案ガ成立致シマシタ三四年後ニハ、恐ラクスノ如キ結果ガ生ジテ來ルト思フノデアリマス、是等所謂全販聯及ビ購販聯ニ對シテ、英國ノ如キハ課稅シテ居ルノデアリマス、今日ハ所謂非常時局デアルカラ、是等購販聯、全販聯ト雖モ一箇ノ國民トシテノ義務ヲ果シ、此ノ非常時財政ヲ救助スルノハ當リ前デアルト思フ、之ニ對シテ農林大臣ハ、國民トシテ平等ナル義務ト責任ヲ果サセルノガ當然デアアル、英國ノ如キハ敢然トシテ産業組合ニ對シテ課稅シテ居リマス、ソレヲ低利資金ヲ貸與ヘルダケデ結構デアアルニ

其ノ上ニ多額ノ商買ガアツテモ税金ヲ徴ラナイト云フヤウナ、サウ云フヤウニ國家ノ義務ヲ果サナイト云フ一面、多數農民、生産者ハ搾取サレテ、益スル者ハ、單リ全販聯、購販聯ノミデアアル、斯様ナモノヲ無稅ニシテ置イテ特權ヲ與フルガ如キハ、時代ノ逆行デアリ、我ガ日本國民精神ノ惡化ヲ來ス根源トモアル政策デアルト思ヒマスカラ、之ニ對スル農林大臣ノ御信念ト御處見ヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 名ヲ時局ニ藉リテ特別ナル負擔ヲ國民ニ負ハスト云フヤウナ考ハ持つテ居リマセヌ、隨ヒマシテ本法案ニ於テモ取引所方面、其ノ他ノ方面ニ付テ相當考慮ヲ拂ツテ居ル積リデアリマス、ソレカラ全販聯ニ對シテノ只今ノ御話デアリマスガ、是ハ地方々々ニ於キマシテ今ノ御話ノヤウナコトヲ耳ニ致サナイノデアアリマセヌ、併シナガラ今ノ御話ハ本法案ニ關係ノ無イ事態ノ話デアリマシテ、若シ本法案ガ出來ナイト致シマシテモ、左様ナ事態ガアルダラウト思ヒマス、此ノ問題ニ付テハ私十分ニ調査ヲシ、研究モシテ見ル考デアリマスケレドモ、本法案ニ依ツテ産業組合ガ市場ニ進出シテ來テ、ソレニ依ツテ多クノ人ガ迷惑ヲスルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセ

又、先程來申ス通り、ドウシテモ消費者ト、生産者ト、第三者タル米穀取扱業者トガ三建テナツテ、相協力シテ行ツテ初メテ圓滿ニシテ圓滑ナル配給ガ出來ルノデアリマス、私ハソレニ對シテ必ズシモ今ノ福田君ノ仰シヤルヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、唯、今御話ノヤウナ點ニ付キマシテハ、十分ニ調査ヲ致シマシテ、本問題トハ別デアリマスケレドモ、研究ハ致ス考デアリマス、併シ本法案ニ依ツテ左様ナコトガ起ルヤウニハ考ヘテ居リマセヌ

○福田委員 農林大臣ニハ大變御疲勞ノ所ヲ洵ニ恐縮デゴザイマス、唯私共ハ此ノ案ノ出來マシタ爲ニ、生産者、消費者共ニ喜ンデ貰ヘルヤウニ、吾々立法者トシテノ責任ヲ全ウセンガ爲ニ此ノ言ヲ爲スノデアリマス、其ノ邊ヲ御諒承ノ上デ御聽キテ願ツタコトト思ヒマス、只今伏見ニ於ケル全販聯ノ進出ニ依ツテ生ジタ卸賣業者ノ窮迫ニ付テハ、ソレハ今度出來ル法案ニ依ルモノトハ違フカラ、サウ云フコトハナイダラウ、又ソレニ對シテハ十分ニサウ云フコトノナイヤウニ注意ヲ致ス積リダト云フコトノ御答ハ一應諒承致シマス、サリナガラ假令此ノ法ガ出來マシテモ、實際ノ活用上ニ於ケル結果トシテハ、今ノ伏見ニ於ケル所

ノ事實ト少シモ變ラヌ結果ガ生ジテ來ルト云フコトダケハ、農林大臣、農林當局ハ能ク腦裡ニ銘記シテ置イテ戴キタイノデゴザイマス、一方ハ莫大ナ取扱ヲシマシテソレニ依ツテ課稅セラレテ、ソレニ對シテハ有ニル附加稅モ來マス、而モ一方ハ何等ノ税金ヲ拂ハヌ、國家ノ特別ナル保護助長ノ下ニアル、是トドウシテ對抗ガ出來マスカ、是ガ對抗出來ルト云フナラバ私ハ是ハ不思議ダト思ヒマス、常識カラ考ヘテモ斷ジテソレ等ト對抗出來ルモノデハゴザイマセヌ、假令此ノ法案ニ依ツテ生ジタコトデハアリマセヌデモ、今日ノ全販聯ノ進出ヲ御認メニナリマス以上ハ、是ト同一結果ニ終ルコトヲ農林大臣ニ能ク御記憶願ハナケレバナラスシ、是ガ重大ナル問題ダト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテモウ一度大臣ノ御信念ヲ伺ツテ、サウシテ速記録ニ留メマシテ、將來ノ結果ヲ私共拜見致サナケレバナラスト思フノデアリマス

同時ニ今度ハ小賣業者ノ方デゴザイマス、小賣業者ニ對シテ第一條ニ於テ要許可制度トナサレタノデゴザイマス、或ハ是ハ結構デゴザイマセウ、今日日本ノ是等小賣業者ハ、之ニ依ツテ特許サレルカラト云フノデ、一種ノ錯覺ニ陥ツテ居ツテ、之ニ對

シテ反對運動ヲスル者ガ少イヤウニ思フノデアリマスガ、今日勅令案、或ハ命令案ノ内示ヲ戴キマシタガ、私ハ此處ニ於テ其ノ點ニ關係アル一ツノ實績ニ付テ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ御承知ノ通り鐵道省ガ一昨年日本通運會社法案ト云フモノヲ御出シニナリマシタ、其ノ當時非公認運送屋ヲ如何ニ取扱ハレルカト云フ吾々ノ質問ニ對シテ、ソレハ丁度此ノ米ノ小賣商人ト同ジヤウニ、許可制度ニシテ之ヲ保護スルノデアルカラ、永遠ニ是等ノ權利ハ消滅スルコトハナイノミデナク、却テ許可シテ當業者ハ非常ナ利益ヲ受ケルデハナイカト云フ政府當局ノ御答辯デアツタト記憶シマス、然ルニ今日ハ如何ニナツテ居リマスカ、此ノ非指定運送店ト云フモノニ對シテ、政府ハ如何ナル行動ヲ執ツテ居ラレマスカ、半官半民ノ政府監督ノ此ノ法案ガ出マシタ結果、要許可事項デアル所ノ小賣業者ハ、所謂是等ノ非指定運送店ト同一ト見ナケレバナリマセヌ、其ノ者ハ永久ニ其ノ營業ヲ認メテ、決シテ御話ノ如キコトハ斷ジテアル筈ハナイ、其ノ代リ濫リニハ殖ヤサナイ、殖ヤサナイカラ自分ノ權利ヲ確保スルコトガ出來ル、ダカラ安全デハナイカト云フ御答辯デアツタノデアリ

マス、然ルニ今日ハ如何デアリマセウ、北海道ヲ初ト致シマシテ、是等ニ對スル干涉ハ、人ガ五人集マルト警察官ガ來テ解散ヲ命ジテ居ル、親代々カラ運送業ヲ營ンデ來テ居ル者ニハ、日本運送會社ガ出來タ其ノ時ニハ特權ヲ與ヘルト云フ答辯デアツタ、ソレト今日ニ於ケル政府ノ答辯ト同ジデス、是等ノ運送業者ニ對シテ、鐵道ハ如何ナル壓迫干涉ヲサレテ居ルカ、北海道デハモウ三十何箇所ノ運送店、是等ノ運送業者ガ今路頭ニ迷ツテ居ル現狀デアリマス、今大阪、名古屋及ビ京都方面ヲ初トシテ、東京ノ非指定運送店ハ、今日ノ白米商ト同一ニ昔カラアツタノデアリマスガ、此ノ壓迫干涉ノ爲ニ已ムヲ得ズ涙ヲ吞ンデ、自然消滅ノ形デ業ヲ廢止スルニ至ツテ居ルノデアリマス、伏見ニアル所ノ取引ノ實際ニ徴シテ、私ハ斷ジテ此ノ法案ト此ノ事實ハ違フノデハナイカト思ヒマス、政府ノナサレマシタ所ノ半官半民ノ會社ニ於テ、斯ノ如キ實績ガ上ツテ、是ガ爲ニ日本全國ノ非指定運送業者ガドレダケ困難ヲ感ジテ居ルカ、立憲政治ノ下ニ於キマシテ、私共ハ櫻内農林大臣ハ民意ヲ能ク御尊重アラセラレマスカラ、斯様ナコトニ付テハ、何レサウ云フコトハナイヤウニシテ戴ケマセウガ、

此ノ點ハ餘程御考ヲ願ヒマセスト、突嗟ノ場合ニ出來タ所ノ法條デ、又農林大臣トサレマシテモ、此ノ邊ハ目ヲ御通シニナル暇モナカツタと思ヒマスガ、是ハ大變ナコトト思ヒマス、此ノ解釋ニ依リマス、現在許可ヲ受ケタ者ガ死ンダ時ニハ、其ノ營業ヲ許可スルカ否ヤ、親父ガ死ンダ時ニ、其ノ後ノ者ニ許可スルカセザルカハ分ラヌガ、ソレマデハ營業ヲ續ケテ居テ宜イ、是ハ即チ是等ノ業ヲ奪フ所ノ前提デアルト業者ガ思フノハ無理ハアリマセヌ、而モ驚クノハ其ノ干涉壓迫デアリマス、昨日ノ新聞ニ依リマシテモ、相當數ノ者ヲ檢舉シテ、一二ノ違反者ガアツタト云フコトデアルガ、是ハ農林當局ノ御精神ノアル所ヲ付度シテ、既ニ之ヲ實行シツツアリマス、斯ノ如キ壓迫干涉ヲ受ケテ、而モ今日ノ小賣商人ト云フモノハ、ドウ云フモノデアルカト云フト、田舎ノ百姓カラ出テ來テ居ル、是ハ皆農村ノ疲弊困憊カラ、農村ニ於テハ生活ガ出來ヌノデ都會ニ出テ來テ居ル、皆農村生レノ人デス、先程購販聯、全販聯カラ行ツテ農村擁護ノ演説ガアツタ、今日ノ都會擁護ハ農村擁護ノ政策デアル、農村カラ出テ來ル者ニ生活ヲ與ヘルノハ都會デアリマス、一方ヲ見テ一方ヲ知ラザル政策ハ偏頗ナ政策

デ、萬遍ナ政策デアリマセヌ、今日第一線ニ立ツテ邦家ノ爲ニ殉ジマス者ハ、吾々中産民衆ノ子弟ガ大多數ヲ占メテ居リマス、私達ガ斯ウ云フ戦死者ノ遺族ヲ訪ネテ見ルト百人中二人位ガ生活ノ安定ヲ得テ居ル、アトハ實ニ憐ムベキ生活ヲシテ居ル、今日は等ノ白米商ハドンナ生活ヲシテ居ルカ、其ノ親父ガ死ンダ時ニ、許可スルカセヌカラ決メルマデ、營業ヲ續ケテ居テ宜イトハ何タルコトデアリマス、其ノ不安、其ノ恐怖、大臣ハ今日ノ陛下ノ赤子ヲ何ト思召スノデアリマセウカ、鐵道省ニ於ケル斯ウ云フ不法ナル法案ヲ立法スル時ニハ、好イ加減ニ答辯シテ置イテ、マダ一二年経タザルニ斯ノ如キ壓迫干涉ヲシテ良民ヲ苦シメテ居ル事實ガアリマスカラ、農林省ニハサウ云フコトハアリマスマイガ、今勅令ヲ見ルト、許可スルカドウカ分ラヌガ、ソレマデ營業ヲ續ケテ居テ宜イ、サウ云フ立法ヲナサルト云フコトハ、道理ヲ超越シテ、眞ニ國家民衆ヲ憂ヘ、國家百年ノ大計ヲ立テル政策デアルカドウカ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、私ハ斯ウ云フ命令ヲ見テ一層驚イタ、今戦争ヲ續ケテ居ル忠良ナル陛下ノ赤子ニ向ツテ、親父ガ死ンデ、許可サヌカヲ決メルマデ、營業ヲ續ケテ

居テ宜イト云フコトハ何タルコトデアリマセウ、國民ニ不安ト恐怖心ヲ與ヘテ、ソレデ戰時體制下ノ國民精神總動員ガドウシテ行ハレマセウ、私ハ是ハ農林大臣ノナサレタルニアラズシテ、事務當局ガ編ミ出サレタ所ノモノダと思ヒマスガ、立憲政治ノ下ニ於キマシテ、斯ノ如キ法案ハ吾々ハ堪ヘ難イ酷ナ法案ダと思ヒマス、斯ウ云フヤウナ命令、親父ガ死ネバ許可サヌカ分ラヌガ、ソレマデ營業ヲシテ居ツテ宜イト云フヤウナコトデ、ドウシテ業者ガ安心出來マス、是ハ段々無償デ是等ノ營業ヲ取上ゲル前提デハナイカと思ヒマス、是等ニ對シテ洵ニ恐縮デアリマスガ、農林大臣ノ御答辯ヨリモ、此ノ案ヲ出サレタ事務當局ガ責任ヲ持ツテ御答ニナツタ方宜イノデハナイカと思ヒマスガ、ドウ云フ目的ヲ以テ斯ウ云フコトヲナサルカ、無論農林大臣ノ御答辯ガアレバ結構デスガ、是ハドウモ餘リ亂暴ナ法案ダと思ヒマス、ドウカ一ツ宜シク御答辯ヲ願ヒタイ、サウシテ國家民衆ニ安心ヲ與ヘテ貰ヒタイと思ヒマス

○周東政府委員 御尤ナ御質問デアリマスガ、是ハ本許可ノ目的ガ人ヲ對象ニシテ居ルノデ、一應戸主ガ死ニマシタ場合ニ、相續人ニ對シテ其ノ手續ヲ執リマス、併シ是ハ大體從來長イ間ノ業ノ經驗ヲ有スル者ガ續ク譯デアリマス、實際問題トシテハ、許可ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、人ヲ對象トスル許可制度デアルガ故ニ、相續人ニ付テハ一應形式上、サウ云フ手續ヲ履ムト云フコトニ致シタイと思ヒマス

○福田委員 親父ガ死ンダ時ニハ又改メテ願書ヲ出サセル、サウシテ許可ヲ與ヘルト云フ御答辯ダト承リマス、ソレデ本法ガ出來マシテ、新ニ許可ヲ致シマシタ者ニアラズシテ、本法ガ出來ル數年前カラ營業ヲ續ケテ來テ居ル者ニ對シテ、其ノ子孫ガ營業ヲ繼續スル時ニ、又改メテ許可ヲ要スルト云フコトデアルト、取消ヲスルコトモ、許可セヌコトモ出來ルガ、サウ云フ意思デナイト仰セニナルナラバ、宜シク斯ウ云フヤウナモノハ、眞ノ相續人ハ之ヲ繼承スト御改メニナルコトガ是等ノ者ニ安心ヲ與ヘル所デアルト思フノデアリマス、何等必要ナイノニ恐怖ヲ與ヘル法案ト云フモノハ、私ノ採ラザル所デアリマスルシ、農林當局モサウ爲スツタ方、餘程國民ノ受ケモ宜シイシ、成程ト云ツテ直チニ常識ニ分ルノデゴザイマスカラ——何レ後ニ是ハ各條ニ就キマシテ讀會ニ於キマシテ御伺申上ゲマスケレドモ、サウ云フ風ニ此ノ勅令ナリ、

命令ナリ、法文ナリヲ發表致シマスルダケ  
デモ、全國ノ當業者ハドレ位恐怖シテ居ル  
カ分ラヌノデスカラ、此ノ際ニサウ云フ意  
味デナイノダ、ヤハリズツト續ケサセル積  
リデアアルカラ、死ンダ時ニハ其處ニ相續人  
ガ決マレバ業務ヲ繼承スルコトヲ得ト云フ  
ヤウニ御改メニナルコトガ、至當デアルト  
思ヒマス、今此處デ直グ改メロトハ言ヒマ  
セヌガ、サウ云フ方針デアアルカドウカラ御伺  
致シマシテ、日本全國ノ當業者ニ安心ヲ與  
ヘテ、此ノ非常時國家ニ貢獻サセルヤウニ  
致シタイト思フノデアリマスガ、モウ一度  
御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員

此ノ點ハ新規ニ許可ヲ受  
ケマス者ト、相續人が續イテ業ヲ繼續スル  
場合ニ於ケル手續トハ、自ラ違ツテ來ルト  
思ヒマス、其ノ點ハ餘程手續上ニ簡便ナ手  
續ヲ執リタイト思ツテ居リマス、手續ダケ  
ハ執ツテ貰フヤウニ致シタイ、斯様ニ思ツ  
テ居リマス

○福田委員

サウ致シマス、新規ノコト  
ハ別デアリマスガ、父ガ死ンデ其ノ正當ナ  
ル相續人が出來テ居リマシテ、其ノ後再ビ  
業ヲ續ケル場合ニハ、申請シテ許可ヲ受ケ  
ルト云フコトニナルノデアリマスガ

○周東政府委員

一定ノ形式ニ依リマシテ、

業務ヲ繼續スルニ付キマシテ、必要ノ事項  
ヲ届出ヲシテ貰フヤウナ考ヲ持ツテ居リマ  
ス

○福田委員

私ハ届出サセテ許可ナサルヨ  
リ、正當ナル相續人ニハ之ヲ繼續スルコト  
ガ出來ルヤウニ、届出ル必要ナシトセラレ  
タイ、然ルニ其ノ許可ハ、アナタノ方ノ活  
殺自在ニナツテ居ルノデアリマスカラ、是  
ガ非常ナ恐怖ヲ懷クノデアリマス、何レ是  
ハ讀會ニ於ケテ修正其ノ他ニ付テ御相談申上  
ゲマスケレドモ、其ノ邊ダケハ國民ノ多ク  
ガ疑ヲ挾マヌヤウナ常識ノ法文ニシテ置  
イテ戴イタ方ガ、私ハ至當デアルト思フノ  
デアリマス、ソレカラ尙ホ一言申上ゲタイ  
ノハ、今日小賣業者ノ如キ者ハ、失禮デハ  
アルガ、簿記其ノ他ノ學問教育ハゴザイマ  
セス、ソレニ對シテ、何時タリトモ必要ガ  
アレバ其ノ帳簿ヲ檢閲サレルト云フ、其ノ  
一項デ以テ今日官權濫用、人權蹂躪ガ行ハ  
レルノデゴザイマス、行政執行法ニ致シマ  
シテモ、此ノ一項ヲ以テ警官ハ自由自在ニ  
檢事ノ令狀、判事ノ所謂召喚狀ヲ要セズシ  
テ、何等ノ犯罪ノ痕跡ナキニ拘ラズ民家ニ  
亂入スルコトガ出來ルト云フコトニナル、  
斯様ナ恐ルベキ原因ヲ作り、人權蹂躪ノ途  
ヲ與ヘルヤウナ法文ハ、何レ御相談申上ゲ

マスガ、斯ウ云フモノハ今カラアナタノ方  
デ削除サレテ御出シニナル方ガ、本當ニ農  
林省ガ一般民衆ニ對シテ親心ヲ持ツテ御掛  
リ下スツテ居ルコトノ實證ニナルト思フノ  
デアリマス、數十石賣ツテ、タツタ一圓五  
十錢カ二圓儲ケル極ク僅カナ利益シカ得ナ  
イ者ニ對シテ、帳簿ヲ臨檢シテ、之ヲ拒ム  
コトヲ得ズ、拒ンダラ直チニ營業ヲ停止ス  
ルト云フ反面ガアリマス、斯ウ云フコトマ  
デ御干涉ニナルト云フコトハ、何處カラ見  
テモ彼等ヲシテ自然ニ止メシムル、恰度煙  
草專賣ノ時ト同一ナ行動ニ出デラレヨウト  
云フ前提ノ方途ガ、茲ニ潛在シテ居ルノデ  
ハナイカト國民ガ疑ヒマスカラ、此ノ法案  
ニ對ツテ如何ナル信念ト、又如何ナル御所  
存ノ結果、斯ウナツタノデアリマスガ、モ  
ウ一度御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員

此ノ點ニ付キマシテハ、  
本法ノ制定ノ趣旨ガ、全國民ノ爲ニ必要ナ  
米穀ノ配給ヲ出來ルダケ圓滑ニ致シマシテ、  
其ノ適正ナ價格ヲ以テ取引サセルト云フコ  
トニ目的ガアリマスノデ、サウ云フ風ナ必  
要上、米ノ取引ヲ致シテ居ル者ノ實情ヲ能  
ク知ル必要ガアリマス場合ガアルト思ヒマ  
ス、サウ云フコトノ爲ニ報告ヲ命ズルト云  
フヤウナ場合ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス

○福田委員

ソレデハ最後ニ一言御伺致シ  
マスガ、斯様ナ紛ラハシイ法文ヲ作ルト云  
フ所ニ、今日謂フ官僚獨善、官僚跋扈ト云  
フヤウナ——アナタ方ハサウデハゴザイマ  
セヌケレドモ、國民ハサウ思フヤウニ今日  
ハナツテ來タノデアリマス、是ガ恐ルベキ  
結果トナツテ來ル、斯ウ云フヤウナ法律ガ  
ナクテサヘモ、今日ノ官憲ハドレダケ良民  
ニ干涉ス、壓迫シ、人權蹂躪ヲシテ居ルカ、  
況ヤ斯ウ云フ米ノ取引、米ノ小賣ニサヘ  
モ官憲ガドン／＼來ル、劍ヲ提ゲテ土足  
デ以テ上リ込ムト云フヤウナコトヲサセル  
ト云フコトハ、何ト云フコトデアリマスガ、  
法文ノ拙劣ニモ依リマスガ、無論農林大臣  
ハ能ク民意ヲ代表シテ下サイマスカラ、何  
レ斯ウ云フコトハ削ツテ貰ヘマセウケレド  
モ、今日農林事務當局ガ今カラ是ハ斯ウシ  
ナケレバナラスト、吾々ガ言ハヌ中カラ、  
豫メ修正シテ御出シ下サイマスヤウニ御願  
致シマス、農林當局ニ私ノ申上ゲタコトハ、  
出過ぎタ言葉モアルカモ知レマセヌガ、併  
シ内外及ビ國民ノ全體ヲ通覽致シマシテ、  
今日國民ハ生活苦ト闘ヒナガラ國家ニ奉仕  
スルノ念ニ燃エ、己ノコトヲ忘レテ居ル、  
斯ウ云フ時ニ當リマシテハ、ヤハリ立法ヲ  
爲サル方モ其ノ邊ヲ能ク忖度ヲサレテ、ド

チラモ完全ニ喜ブト云フコトハ、ムツカシ  
イカモ知レマセヌガ、兩者寄ツテ、アア是  
ナラバト言ツテ法ノ有難サヲ知ルヤウナ立  
法ヲシテ戴キタイノデゴザイマス、サウシ

ナコトニナルト云フ御話モアツタノデアリ  
マスガ、果シテ左様デアリマスカドウデア  
リマスカ、其ノ點ヲハツキリ御答辯ヲ願ヒ  
タイ

テ國家ガ何處マデモ一致團結シテ、東亞新  
建設ノ大事業完成ノ爲ニ持ツテ行キタイト  
云フ志カラ、此ノ言ヲ爲シタノデゴザイマ  
スカラ、農林當局ハ私ノ意ノアル所ヲ、即  
チ吾々微力デハゴザイマスガ、至誠ノアル  
所ヲ御酌取リ下サイマシテ、何卒吾々ノ聲  
ヲ御聽キ下サレ、以テ本法ニ對シテ何人モ

○櫻内國務大臣 ソレハ少シ話ガ違フヤウ  
デアリマス、詰リ取引所ノ財産ヲ買ヒマス  
評價委員ヲ拵ヘマシテ、所謂委員會ノ議ヲ  
經テ買ヒマス、サウシテ其ノ會社ガ新規ニ  
株式ヲ申込ムコトヲ認メルト云フダケデア  
リマシテ、株ト株ヲ取替ヘルト云フヤウナ  
コトハアリマセヌ

恐怖ノ念ヲ懷クコトガナイヤウニ御修正  
ニナリ、善處アランコトヲ御願申上ゲマシ  
テ、私ノ質問ハ大變長ク御清聽ヲ煩ハシマ  
シテ恐入リマシタガ、之ヲ以テ終リト致シ  
マス

○添田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致  
シマス、明日午前十時ヨリ開會致シマス  
午後六時二十分散會

○小山田委員 遅クナリマシテ甚ダ恐縮デ  
ゴザイマスガ……

○添田委員長 關聯シテ居リマスカ

○小山田委員 關聯シテ一寸……先刻福田  
君ノ取引所廢止ニ關スル善後處置ノ問題ニ  
對スル大臣ノ御答辯ノ中ニ、取引所ノ株主  
ノ所有スル株式ヲ其ノ儘ニ新シイ日本米穀  
株式會社ノ拂込株式ニ充當スルト云フヤウ  
ナ意味ノ御話ガアツタノデゴザイマス、結  
果ニ於キマシテ廢業手當ヲ支給シタト同様